

平成20年度

年 報



平成21年10月

九州大学大学院医学研究院保健学部門

はじめに

九州大学大学院医学系学府保健学専攻修士課程は、平成19年度に設置され早くも2年間を経過しました。平成21年3月には修士課程第1期生が修了いたしました。今後研鑽を続けられ、保健学専攻が目指す保健学分野における教育者・研究者や臨床現場における実践的指導者へ発展されることを祈念します。

医学研究院保健学部門に属する我々教員も、彼らとともにこの1年間を進んで参りました。ここに平成20年度の保健学部門および全員の教員の活動を記録し、年報として編集しました。この平成20年度年報には、学年進行が完成する修士課程と、更にそれに引き続く博士後期課程の設置への努力が刻されています。保健学領域の教育・研究拠点を形成するという我々の目標に一步でも近づく上で、貴重な記録となり、さらに、保健学としての自己点検評価や外部評価に資す貴重な資料となることを願っております。

編集にあたり多くの皆様に多大なご尽力をいただきましたことに感謝申し上げます。

平成21年3月吉日

保健学専攻長 加来 恒壽

目 次

はじめに

1. 保健学部門の活動	1
2. 分野の活動	5
3 - 1. 教員の活動（看護学分野）	7
3 - 2. 教員の活動（医用量子線科学分野）	43
3 - 3. 教員の活動（検査技術科学分野）	67
4. 教員組織一覧および委員会一覧	79

1. 保健学部門の活動

■ 保健学部門の活動

1. 沿革に関わる事項

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年7月	平成21年度概算要求において、医学系学府保健学専攻博士課程設置を申請した。	保健学の教育・研究拠点形成および成果の地域社会・国際社会への還元を目的とし、看護・医療技術系領域の統合による保健学の確立と保健学領域における教育・研究・実務上のリーダー養成を目指す。保健学1専攻で1学年の定員10名で、看護学教育者・研究者養成コースおよび医療技術系教育者・研究者養成コースを設けることを申請した。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
平成21年1月21日 保健学部門会議	医学系学府規則の改正	博士後期課程の設置、修士課程におけるがん専門看護師コース開設、大学院教育改革プログラム、医用量子線分野の科目見直しに対応し規則改正を行った。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
平成21年1月21日 保健学部門会議	医学研究院保健学部門代替教員候補者選考内規を改正	教員の育児休業への対応、公募方法の整理、対象とする候補者の変更等への対応のため内規を改正した。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
平成21年1月21日 保健学部門会議	再任審査基準	医学研究院保健学部門教員再任審査基準を改正した。なおこの基準も必要に応じて再検討を行う旨を申合わせた。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
平成21年3月18日 保健学部門会議	平成21年度の委員会組織の見直し	平成21年4月の保健学専攻博士後期課程設置に対応するため、医学研究院・保健学部門における組織運営の見直しを行った。保健学部門内の委員会も整理統合し各委員会で関連事項は審議決定し保健学部門会議等に議題および報告とすることを原則とした。総務委員会は部門内の組織運営等に関わること及び将来構想等の重要事項を審議する委員会と位置付けた、大学院教育の運営は大学院委員会にて行うこととした。	保健学部門会議資料
平成21年3月25日 医学研究院教授会	医学研究院等の運営組織について（博士後期課程の設置に伴う）	医学研究院運営のあり方ワーキンググループにより検討された、新しい医学研究院の運営方法が決定された。これにより医学研究院等の重要事項（研究院長等の選考、教授人事、教員の懲戒、学生の除籍、懲戒等、博士論文の審査等、組織運営に関する重要事項など）は医学研究院等教授会で審議され、他の事項については保健学部門会議等で教授会の決定があったものとみなすこととなった。なお研究院長の選考方法（選挙人・被選挙人の資格等）については、平成22年度上半期をめどに検討を行う。	医学研究院教授会資料

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年4月	平成20年度医学部保健学科新入生合宿研修	教職員・学生あわせて145名の参加者により新入生合宿研修を実施した。	保健学部門学生委員会資料
平成20年10月30日	平成20年度文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」に医学部保健学科の取組が採択され、3年計画で取組を開始した。	平成20年度より3年間の予定で「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」の取組を開始した。この取組は、保健医療現場と教育現場の情報交流の仕組みを作り、保健医療現場からの教育ニーズを収集して新たな保健学教育を創出し、同時に医療従事者への卒後教育・生涯教育などの支援を行うものである。経費：平成20年度2000万円＋九州大学戦略的教育GP支援事業500万円、平成21年度1900万円＋戦略的教育GP支援事業300万円	申請書、採択通知、平成20年度実績報告書

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年10月30日	基礎B棟の改修利用計画を審議する基礎研究B棟運営委員会が設置された。	高柳医学研究院長、池田教授、吉田（眞）教授、古賀准教授、飯田教授、田中教授、加来保健学部門長、川本教授、豊福教授が委員となった。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
	保健学専攻修士論文審査方法	医学系学府の組織のあり方の検討と整合性を持った審査法について検討され決定した。	医学系学府教授会資料、保健学部門会議資料
	がんプロフェッショナル養成に関する情報	医学系学府保健学専攻修士課程のホームページに、がんプロフェッショナル養成課程の情報を掲載した。	保健学部門会議資料
平成20年9月24日	保健学部門FD開催	修士課程教育の質の向上を目指し、「大学院教育の現状と展望」をテーマに、全教員がグループディスカッションを主体としたFDに参加した。	保健学部門FD報告書
	看護学・保健学研究倫理審査専門委員会の再編	病院地区の研究倫理審査委員会（医学、歯学、薬学、病院）を整理統合し、新しい九州大学医の倫理に関する協議会のもと、7つの審査委員会による審査体制を開始した。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料
	平成20年度大学院医学系学府保健学専攻修士課程研究指導教員の決定	修士課程1年生の指導教員を決定した。	医学系学府教授会資料、保健学部門会議資料
	奨学金の返還免除制度	「日本学生支援機構大学院第一種奨学金の返還免除推薦候補者に係る医学系保健学専攻における申し合わせ」を制定した。	保健学部門会議資料
	医学系学府規則改正	保健学専攻修士課程以外の大学院の授業科目を10単位まで取得することができること、修了要件としては認めないこととした。	保健学部門会議資料
	学術研究員の選考方法の決定	学術研究員の採用は、保健学部門人事委員会で選考することとした。	保健学部門会議資料
平成21年3月	学位記授与式	医学系学府保健学専攻修士課程1期生22名が学位を取得し修了した。	医学系学府教授会資料、保健学部門会議資料

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
	九州大学交換留学プログラム	保健学科看護学専攻学生（中村）が1年間ミシガン大学へ留学した。また、韓国高麗大学から2名の学部学生を留学生として保健学科に迎えた。	地域・国際連携推進委員会資料
平成20年5月27日	釜山カトリック大学からの教員訪問	釜山カトリック大学の教員6名が保健学科を訪問し、検査技術科学、放射線技術科学の実験実習室、研究室を見学した。また、今後の共同研究、学生交流について意見交換を行った。	地域・国際連携推進委員会資料
平成20年11月20日	第3回保健学国際フォーラムの開催（百年記念講堂）	テーマ：タイ国マヒドン大学における保健学教育と研究 タイ国における看護学教育：フォンカム教授（マヒドン大学看護学部長） タイ国診療放射線技師の教育システム：卓越をめざして：チラボン准教授（マヒドン大学医療技術学部放射線技術学科） アジアにおけるサラセミア：スータット教授（マヒドン大学サラセミア研究センター） 出席者：約250名	地域・国際連携推進委員会資料
	教員海外派遣制度による教員の国際交流	保健学科に設置している海外留学制度を利用して、2名の教員を海外に派遣した。	地域・国際連携推進委員会資料
	訪問教授の受け入れ	シカゴ大学、土井邦雄教授に訪問教授の称号を付与した。	地域・国際連携推進委員会資料
	日本臨床検査学教育学会保健学教育講演会	タイ国マヒドン大学のDr.Kulnaree他3名の教員を招聘し、特別講演の依頼など学会活動における交流を行った。	地域・国際連携推進委員会資料

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年8月22日	保健学教育講演会の実施	「アジア医療における臨床検査」：マヒドン大学、スダラート准教授による講演、「Standardization in Analytical chemistry」およびウィジット講師による講演、「Topics in Microbiology in Asia」を実施した。	保健学部門会議資料
平成20年12月18日	保健学教育講演会の実施	第1部：医用画像とコンピューターコンピュータ支援診断の始まり、第2部：学術研究のよりよい進め方と考え方、第3部：感情能力の基礎概念とその重要性（シカゴ大学 土井邦雄教授）	保健学部門会議資料
平成20年9月27日	保健学公開講座	コラボレーションⅠを会場として、メタボリック症候群の制圧に向けて（Ⅱ）のテーマで、生活習慣、栄養管理、生活習慣改善についての講演会。（講演者：鳩野洋子当部門教授、城田 知子中村学園大学・客員教授、足達 淑子あだち健康科学行動研究所・所長）、受講生151名、午後企画として健康チェック	保健学部門会議資料
平成21年2月26日	HP刷新	保健学部門・保健学科のホームページの全体の構成を刷新し、より親しみやすいものに改善した。	保健学部門会議資料
平成21年2月26日	HPへ大学院博士課程追加完了	ホームページへ大学院博士課程を追加した。	保健学部門会議資料
平成21年3月14日	文部科学省大学教育改革支援事業「質の高い大学教育推進プログラム」採択取組によるキックオフシンポジウムの開催	「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組キックオフシンポジウム「明日を拓く保健学」を平成20年3月14日（土）福岡市中央区天神の天神イムズホールで開催した。有川節夫九州大学総長、加来恒壽保健学部門長の挨拶に引き続き、京都大学附属病院放射線部技師長・廣瀬哲雄氏、九州がんセンター元臨床検査技師長・阿南建一氏、福岡市南保健福祉センター 原田祥子氏、萩市民病院看護部長・原田博子氏をシンポジストとして「保健医療現場からの提言」の題で講演と討論を行った。	シンポジウムのポスターとチラシ シンポジウム収録動画はインターネット上へ配信中
	高校への出張授業を実施した。	明善高校1名（看護）、戸畑高校1名（看護）、若久小学校2名（看護・放射）	保健学教務委員会資料

5. その他

年月日	事項	活動の概要	資料
	名誉教授の選出	退職する看護学分野壬生隆一教授が、名誉教授に推薦され教育研究評議会（全学）で決定された。	医学研究院教授会資料、保健学部門会議資料

2. 分野の活動

分野の活動

2. 教育活動

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年6月3日	九州大学病院実習指導者研修会	1. 大学における臨地実習指導のめざすもの 2. 臨地実習における看護評価 3. 指導者と教員の役割	看護学分野会議資料
平成20年6月24日 平成20年10月6日 平成20年12月8日 平成21年1月22日	検査技術科学専攻学生支援セミナー	医学部保健学科検査技術科学専攻学部生を対象に各分野で活躍する卒業生を講師に招き就職支援セミナーを行った。	検査技術科学分野会議資料
平成20年9月19日	臨地実習説明会	医学部保健学科検査技術科学専攻学部4年生に対して九州大学病院検査部での臨地実習について説明会を行った。	検査技術科学分野会議資料
平成20年9月20日	学内模試（臨床検査技師国家試験）	医学部保健学科検査技術科学専攻学部4年生を対象に模試を行った。	
平成20年9月25日～26日	九重合宿研修	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生と教員がともに1泊2日の研修を行った。	放射線技術科学分野会議資料
平成20年9月26日	検査分野FD	保健学部門検査技術科学分野のFDを行った。「アカデミックハラスメント」	検査技術科学分野会議資料
平成20年12月24日	卒業研究発表会	医学部保健学科看護学専攻4年生の卒業研究成果発表会を行った。	看護学分野会議資料
平成20年12月26日	卒業研究発表会	医学部保健学科検査技術科学専攻4年生の卒業研究成果発表会を行った。	検査技術科学分野会議資料
平成21年1月10日	教員研修	Actual works of the Nurse Practitioner in the U.S.A. (Joseph Saladino, RN, MSN, NP Psychiatry. Hunter Bellevue-School of Nursing New York, U.S.A.)、参加者26名。	看護学分野会議資料
平成21年2月6日	看護学分野FD	医学系学府博士課程開設にともなう看護学教育の展望：Nursing education in Australia；comparisons with Japan (Sue Turale DEd)、参加者26名。	看護学分野会議資料
平成21年2月9日	九州電力玄海原子力発電所見学	医学部保健学科放射線技術科学専攻3年生が九州電力玄海原子力発電所見学を行った。	放射線技術科学分野会議資料
平成21年2月19日	九州大学病院実習指導者研修会	実習指導の振り返りと望ましい指導の在り方	放射線技術科学分野会議資料

3. 国際交流

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年7月1日より平成21年2月28日	タイ国特別研究生の受入	タイ国マヒドン大学医療技術学部博士後期課程4年生、Kanitta Srinoun氏を特別研究生として受け入れ、「サラセミアにおけるmicroRNA解析」に関する共同研究を実施した（梅村教授）。この研究は、日本学術振興会アジア研究教育拠点事業：「造血障害の研究・教育拠点の形成とアジア血液学の創出」より支援を受けた。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成20年10月～	特別聴講学生の受け入れ	キム ミンジョン君（高麗大学）を学術交流協定に基づく交換留学生として1年間の予定で受け入れた。指導教員：佐々木雅之、小坂克子、杜下淳次	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成20年11月3日～6日	タイ マヒドン大学交流訪問	タイ、マヒドン大学検査技術科学部との交流を目的に検査分野の教員が現地を訪問した。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成20年10月20日～22日	釜山カソリック大学訪問	加来部門長、豊福地域国際連携推進委員長が招聘により、釜山カソリック大学を訪問し、施設見学を行った。また、今後の学術交流協定締結の打ち合わせをおこなった。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成20年12月18日	土井邦雄先生講演会	国際交流協定を締結しているシカゴ大学カートロスマン研究所の土井邦雄先生を招き、講演会を開催した。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料

年月日	事項	活動の概要	資料
平成21年1月6日	Joseph P. Saladino 講演	ニューヨーク市立大学Hunter-Bellevue School of NursingのJoseph P. Saladino先生を招き、学生に精神看護と米国のナースプラクティショナーに関する講演会を開催した。参加者約50名。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成21年1月15日	Joseph P. Saladino 特別講演	ニューヨーク市立大学Hunter-Bellevue School of NursingのJoseph P. Saladino先生を招き、米国の看護の現状に関する講演会を開催した。参加者約50名。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成21年2月6日	看護学生交流会	Dr Sue Turale を囲み海外における看護教育、看護の国際化を語り合う。参加者12名。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料
平成21年3月24日 ～4月23日		ユタボン先生（マヒドン大学医療技術学部放射線技術学科）が共同研究の為に1ヶ月間滞在した（大喜教授）。	保健学部門会議資料、地域・国際連携推進委員会会議資料

4. 社会連携

年月日	事項	活動の概要	資料
平成20年8月20日 ～22日	日本臨床検査学教育学会学術大会	日本臨床検査学教育学会学術大会を百周年記念講堂で開催した。	保健学部門会議資料
平成20年8月27日 ～28日	第22回日本看護歴史学会	「歴史の中で生きる看護の心」（百年講堂）、参加者220名。	保健学部門会議資料
平成20年11月7日	出前授業	明善高校「保健学科の特徴」、教授1名出席。	保健学部門会議資料
平成20年11月7日	出前授業	戸畑高校「先端医療と看護」、教授1名出席。	保健学部門会議資料
平成20年	理科支援等配置事業：出前授業	若久小学校「単元：体のつくりと働き」、教授2名出席。	保健学部門会議資料

3 - 1 . 教員の活動（看護学分野）

■ 教員の活動

看護学分野

《基礎看護》

1. 著書

【国内】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
編者: 大池美也子, 川本利恵子	根拠がわかる成人看護技術	
編者: 大池美也子	動画でみる新しい注射の技術	
大池美也子編著, 北原悦子, 長家智子, 末次典恵, 道面千恵子, 原田弘枝, 松崎彰信, 大喜雅文, 石橋ふき子	動画でみる新しい注射の技術	「動画でみる新しい注射の技術」, P50-66, 中央法規出版株式会社, 2008.8月
大池美也子, 川本利恵子, 長家智子, 末次典恵, 他	根拠がわかる成人看護技術	
編集: 大池美也子, 川本利恵子, 分担執筆者: 大池美也子, 川本利恵子, 上谷暁子, 井ノ口美和, 浦田秀子, 末次典恵, 高木良重, 原田弘枝, 道面千恵子, 長家智子, 林優子, 金山正子, 川口賀津子, 柴田弘子, 山下千波, 神信美砂, 土井晴代, 山勢博彰	第Ⅱ章 成人看護技術各論; 3. 消化器系の看護、9. 皮膚の看護	「根拠がわかる成人看護技術」, P122-151, 325-349メヂカルフレンド社, 2008年8月
編集: 大池美也子 分担執筆者: 大池美也子, 北原悦子, 長家智子, 末次典恵, 原田弘枝, 道面千恵子, 松崎彰信	PART3 注射の技術; 1) 注射の準備, 2) 筋肉内注射	「動画でみる新しい注射の技術」, P50-66, 中央法規出版株式会社, 2008.8月

3. 総説・その他

【国際会議論文】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Masami Maruyama, Wangyang Guang, Liang Lighi	Truth Telling about Terminal Care Patients: Differences in the Views on Life and Death in Japan, China and Korea	The Collection of Conference paper on The 3rd International Symposium on Promoting Cooperation among China, Japan and South Korea in China's Harmonious Society pp.271-273, 2008

【総説】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
末次典恵, 大池美也子	模擬患者参加による基礎看護技術試験の概要と課題	看護展望33巻5号, P523-528, メヂカルフレンド社, 2008.4

【DVD制作・編集】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
著書編集: 大池美也子, DVD制作・編集: 大喜雅文, 末次典恵, 石橋ふき子	「動画でみる新しい注射の技術」	「動画でみる新しい注射の技術」, P50-66, 中央法規出版株式会社, 2008.8月

【報告書】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
大池美也子, 長家智子, 末次典恵, 北原悦子, 原田広枝, 道面千恵子	看護教員の臨床経験を基盤としたナラティブ, プロダクトによる教育方法の展開	2008.5

4. 学会発表

【国際会議】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
丸山マサ美	第三分科会：医療, 生命倫理 テーマ：「東アジアの移植倫理基準形成に向けて」	第3回日中韓シンポジウム「中国の調和ある経済社会発展と日中韓協力」, 2008.10.18-19, 中国, 青島

【国内会議】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
武富貴久子, 大池美也子	プリセプター研修プログラム構築に関する基礎的研究(1) -プリセプター経験者と未経験者の比較-	第28回日本看護科学学会学術集会, 福岡, 2008
武富貴久子, 大池美也子	プリセプター研修プログラム構築に関する基礎的研究(2) -研修会受講者の比較から-	第28回日本看護科学学会学術集会, 福岡, 2008
武富貴久子, 大池美也子	新人看護師に対するプリセプター経験の特徴 -プリセプター教育研修受講者によるレポートの分析-	第13回日本看護研究学会九州、沖縄地方学術集会, 佐賀, 2008
大池美也子, 長家智子, 末次典恵, 北原悦子, 道面千恵子, 原田広枝	授業の中で看護教員が語る臨床経験の特徴 -看護教員のインタビューから-	第28回日本看護科学学会学術集会講演集, p.551, 2008年12月14日
北原悦子, 末次典恵, 道面千恵子, 原田広枝, 長家智子	臨床看護師の道徳的感性の特徴に関する検討 -経験年数、学歴から-	第28回日本看護科学学会学術集会講演集, p.90, 2008年12月14日
長家智子, 村田節子, 本田裕美	アセスメント過程にみる看護学生の思考の特徴と教育方法	日本看護診断学会第14回学術集会, 2008.7
長家智子, 本田裕美, 村田節子	急性期事例のアセスメント過程における看護学生の思考の特徴	日本看護研究学会九州地方会第13回学術集会, 2008.11
北原悦子, 末次典恵, 道面千恵子, 長家智子, 原田広枝	臨床看護師の道徳的感性の特徴に関する検討	日本看護科学学会第17回学術集会, 2008.12
中村秀敏, 隈本寿一, 長家智子, 末次典恵, 北原悦子, 道面千恵子 福岡e-ラーニング研究会	中間看護管理者のキャリアの節目の経験 ~第一報~	日本看護科学学会, 2008.12
大池美也子, 長家智子, 末次典恵	他施設が共同利用可能な看護教育 e-ラーニングシステムの構築	日本看護科学学会, 2008.12
中村秀敏, 隈本寿一, 長家智子, 末次典恵, 大池美也子 福岡 e-ラーニング研究会	初めて外科的治療法を受ける乳がん患者の経験の意味	日本がん看護学会, 2009.2
丸山マサ美	歴史に見る看護のethos	日本看護歴史学会第22回学術集会, 2008.8.27-28, 福岡
青山和子, 丸山マサ美	九州大学における看護教育の変遷 (第1報) -看護婦養成所開所の経緯と看護婦養成所規則からみた看護教育への期待-	日本看護歴史学会第22回学術集会, 2008.8.27-28, 福岡
丸山マサ美	日本における生命、医療倫理教育の可能性 -米国の経験を踏まえた新たな展開を目指して-	日本生命倫理学会第20回年次大会, 2008.11.29-30, 福岡

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
丸山マサ美	バイオエシックスにおける超学際的視座 ー看護における“humanity”を求めてー	第1回日本統合医療学会, 2008.12.6-7, 福岡
末次典恵, 北原悦子, 長家智子, 大池美也子, 道面千恵子, 原田広枝	体験を先行する学習における学生の看護技 術への視点 ～車椅子移送体験を通して～	日本看護科学学会, 2008.12
中村秀敏, 隈本寿一, 北川明, 中島美津子, 古田雅俊, 長家智子, 末次典恵, 柴田弘子, 児玉幸子, 門司真由美	他施設が共同利用可能な看護教育 eラーニ ングシステムの構築	日本看護科学学会, 2008.12

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
大池美也子	学部講義：9教科	看護学概論(30時間), 看護理論(30時間), 基礎看護学実習Ⅰ(45時間), 基礎看護学 実習Ⅱ(90時間), 生活環境とコミュニケー ション(30時間), 生活援助技術, 症状ケ ア技術(34時間), 看護とIT(7時間), 卒 業研究
	大学院講義：5教科	教育相談論(30時間), 看護情報学(15時 間), 看護研究方法論(15時間), 基礎看護 演習, 看護学特別研究
北原悦子	学部講義：11教科	全学教育：医療の歴史, 学部講義：健康システムとチーム医療, 基 礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 生活 援助技術, 症状ケア技術, 医療法律学Ⅱ, 看護管理, 看護学概論(2時間), 生活環 境とコミュニケーション, 卒業研究
	大学院講義：1教科	基礎看護学演習
長家智子	学部講義：9教科	生活援助技術(50時間), 生活環境とコミュ ニケーション(30時間), 症状ケア技術(54 時間), 看護過程論(45時間), 感染看護学 (10時間), 地域保健管理学(16時間), 基 礎看護学実習Ⅰ(45時間), 基礎看護学実 習Ⅱ(90時間), 卒業研究
	大学院講義：3教科	基礎看護情報学(15時間), 看護教育方法 論(10時間), 基礎看護学演習(30時間)
丸山マサ美	学部講義：8教科	ターミナルケア論(4時間), 症状ケア技 術(34時間), 日常生活援助技術(22時間), 看護学概論(2時間), 医療倫理学(30時 間), 基礎看護実習Ⅰ(45時間), 基礎看護 学実習Ⅱ(90時間), 卒業研究
	大学院講義：2科目	生命倫理学(7時間), 医療と生命倫理 (2時間)
末次典恵	学部講義：8教科	生活援助技術(56時間), 症状ケア技術(34 時間), 看護理論(2時間), 看護学概論 (6時間), 生活環境とコミュニケーション (2時間), 基礎看護学実習Ⅰ(45時間), 基礎看護学実習Ⅱ(90時間), 卒業研究

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
大池美也子	アロマオイルと看護に関する文献検討	20年度卒業研究 安倍梨紗子
	食事・栄養療法がクローン病患者に及ぼす影響	20年度卒業研究 田原明日香
	補完代替医療に関する文献検討	20年度卒業研究 中隈里紗
	口唇口蓋形成術を受けた口唇口蓋裂児の母親の経験	20年度修士課程特別研究 隅川左織
北原悦子	看護業務におけるヒューマンエラーの発生要因に関する文献研究	20年度卒業研究 生駒さやか
	看護学生が臨床実習で感じる患者に対する困難とその対処についての文献研究	20年度卒業研究 大藪由加
	看護師のストレスに関する文献的検討ー経時的な変化の観点からー	20年度卒業研究 古野貴臣
	看護大学生が描く卒業後のキャリアデザインとキャリアアンカーの実態調査	20年度卒業研究 吉富小百合
長家智子	腎不全・虚血性心疾患患者の自己管理行動を継続させるための看護師の関わり	20年度卒業研究 橋川亜紀
	視覚障害者への患者教育における看護師の効果的な関わり	20年度卒業研究 佐平千佳
	慢性疾患患者における自己管理の動機づけに効果的な看護師の関わり	20年度卒業研究 柴田有佐実
丸山マサ美	介護者の在宅介護継続意思を高めるための看護ー介護者の思いに焦点をあててー	20年度卒業研究 稲元みゆき
	小児病棟における付き添いに対する看護	20年度卒業研究 小島雅美
末次典恵	アロマオイルと看護に関する文献検討	20年度卒業研究 安倍梨紗子
	食事・栄養療法がクローン病患者に及ぼす影響	20年度卒業研究 田原明日香
	褥創発生要因「ずれ力」に関する文献検討	20年度卒業研究 村上加奈
	補完代替医療に関する文献検討	20年度卒業研究 中隈里紗

7. 社会貢献

【海外】

教 員	活 動 内 容	資 料・備 考
丸山マサ美	第3回日中韓シンポジウム	第3分科会：医療・生命倫理テーマ「東アジアび移植倫基準形成に向けて」報告・討議 2008年10月18日～10月19日

【国内】

教 員	活 動 内 容	資 料・備 考
大池美也子	福岡県看護協会看護管理者講習会	講師 2008.6.1
	大分県看護協会臨地実習指導者講習会	講師 2008.5.1
	福岡県看護協会臨地実習指導者講習会	講師 2008年6月～7月
	医療関係の学生を対象とした未来プロジェクト	企画と運営 2008.8.1
	ホスピス電話相談	ボランティア活動・講師 2008年
	NPO 法人障害者自立支援花の花	理事 2008年
	NPO 法人ハッピーマンマ	監事 2008年
	日本看護科学学会	編集委員 2008年
	日本看護研究学会	評議員 2008年
	第28回日本看護科学学会学術集会	企画委員、シンポジウム座長 2008.12.1
北原悦子	平成20年度12月13日（土）・14日（日）、福岡市、福岡国際会議場 第28回日本看護科学学会学術集会	企画委員として事前より担当。13日（土）は特別企画厚生労働省医政局看護課ワークショップ「看護師等国家試験の改善と活用～教育活動に活かすために～」の事務局側運営を総括者として担当した。
	平成20年5月31日（日）福岡県ナースプラザ 福岡県看護協会看護管理管理者研修会（ファーストレベル）	看護専門職論「看護関連法規」（6時間）の講義を担当した。
	日本看護学教育学会査読委員 任期：平成18～20年度	査読
	福岡市助産師会 継続～平成20年度	福岡市人権啓発センター主催「ハートフル・フェスタ」参加、助産師の超音波講習会、国際助産師の日等の企画・運営を行った。
	同窓会 継続～平成20年度	1、九州大学看護師同窓会（わかば会）幹事 2、九州大学助産師同窓会（みのり会）事務局（庶務）
	国立看護系大学協議会組織委員会委員 平成20年3月～	国立看護系大学協議会の組織委員会委員として、組織のあり方等について検討。
	九州地区看護理論研究会Dブロック書記 継続～平成20年度	3ヶ月に1回、看護理論、質的研究などの研修などの企画・運営の活動に参加した
	九州地区看護系大学「ケアリング・アイランド」構想メンバー 平成20年度	九州地区看護系大学の大学間コンソーシアムを企画・運営する活動に参加した。
	タイ王国マヒドン大学との交流	2020.11.1 基礎看護学における教育・研究の紹介を行った。
長家智子	日本看護科学学会第28回学術集会	福岡国際会議場、2008.12 査読委員、実行委員、座長を担当
	福岡県主催実習指導者研修会	福岡県ナースプラザ、2008.7 「看護理論と看護過程」の講師を担当
	福岡県看護協会主催 研修会	福岡県ナースプラザ、2008.8 「看護診断の基本」の講師を担当
	日本看護研究学会九州地方会	佐賀大学医学部保健学科、2007.11 査読委員、座長を担当

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
丸山マサ美	平成20年度福岡県教育庁教育振興部高校教育課主催：21世紀人材育成推進事業	平成20年度ハイレベル合宿：講義「医療倫理と生命倫理、会場：九重厚生ホテル
	日本看護歴史学会/第22回学術集会大会長 患者の権利オンブズマン（福岡支部）	第8期理事，査読委員，研究活動推進委員 オンブズマン会議メンバー
末次典恵	福岡県立明善高等学校	平成20年度レインボーアンビシャスプロジェクト 第2学年大学セミナー講師
	九州大学病院看護部院内研究指導	集中治療部・救命ICU；用手換気における換気力学的現状調査 南8階病棟ナースコール調査から予測可能な患者のニーズに対する看護を考える 北9階病棟；内観療法における看護師のストレスマネジメント ー積極的な見守り看護技術を考えるー
	フィジカルアセスメント 平成20年度がん看護に関わる看護師育成研修	担当：九州大学病院、実施；福岡県
	日本看護科学学会第28回学術集会	福岡国際会議場，2008.12月12-14日 実行委員
	「精神科におけるフィジカルアセスメント」	担当：社会法人日本精神科看護技術協会

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
大池美也子	文部科学省科学研究費補助金 平成17年度～20年度，基盤研究(A)，分担者（代表河口てる子），患者教育のための看護実践モデルを用いた実践的教育プログラム開発とその介入研究
北原悦子	文部科学研究費補助金 研究分担者 平成19～21年度，科研費：基盤研究(C)，課題番号19592446 看護実践能力育成に向けたWEB教材の開発と活用に関する研究
	文部科学研究費補助金 研究分担者 平成20～22年度，科研費：基盤研究(C)，課題番号 新卒看護職者の職場適応を支援するキャリア発達モデルの構築
長家智子	文部科学省科学研究費補助金 H19（2007）年度，科研費，基盤研究(C)，代表，看護実践能力育成に向けたWEB教材の開発と活用に関する研究
	文部科学省科学研究費補助金 H19（2007）年度，科研費，基盤研究(C)，分担，看護教員の臨床経験を基盤としたナラティブ・プロダクトによる教育方法
丸山マサ美	アジア総合政策センター 分担，東アジア（日中韓）の新しい地域共通のアイデンティティの形成に関する実証研究
	教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト（P&P）分担，大学院および学部教育改善の支援「生命倫理を主題とする内容重視の言語指導教材・プログラム開発」
	海外短期研修，保健学部地域・国際連携推進委員会委員会資金，Georgetown University，2008年3月18日～3月31日
末次典恵	文部科学省科学研究費補助金 平成19年度～21年度，基盤研究(C)，分担者，看護実践能力育成に向けたWBT教材の開発と活用に関する研究

看護学分野

《臨床看護》

1. 著書

【国内】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
橋本和子編, <u>川本利恵子</u>	時との出会い；時を重ねて出会った人との 触れ合い	ふくろう出版, 東京, 2008
編者： <u>川本利恵子</u> 分担執筆者：宮園真美, 木下由美子, <u>金岡麻希</u> , 鐵井千嘉, 掛田崇寛, 江藤亜矢子, <u>中尾富士子</u> , 林信平, 古賀節子	「感染症の看護」他	看護師国家試験合格チャレンジテスト, 第 98回, 2008年4月、9月、11月
大池美也子, <u>川本利恵子</u> 編	根拠が分かる成人看護技術	メジカルフレンド社, 東京, 2008
編者：鈴木隆雄, 後藤孝 執筆者： <u>樗木晶子</u>	からだの年齢辞典 「血管年齢、心臓・心 電図」	朝倉書店 207-212, 2008年
編者：永淵正法, 安西慶三, 南昌江, 瀧井正人, <u>樗木晶子</u> 執筆者： <u>樗木晶子</u>	コメディカルのための糖尿病治療の基本的 な考え方と心理的アプローチ 「糖尿病と 不整脈」	医学書店, 東京, 198-201, 2009年
<u>中尾富士子</u>	2) チャートで見る 疾患別のアセスメン ト ⑤化学療法中のがん患者	ナースビーンズ Smart Nurse2008秋季 増刊「やり直しのフィジカルアセスメント」, メディカ出版, 136-139, 2008.9
編者：中島恵美子, 山崎智子, 竹内佐智恵 分担執筆者： <u>金岡麻希</u> 他	担当部分「16章臓器移植を必要とする人の 手術, 1 腎移植, 2 肝移植」	「ナーシング・グラフィカEX③周手術期 看護」メディカ出版, 249-256, 2009年2月
監修：川島みどり, 鈴木篤 編集：井上智子, 本庄恵子, 根岸京田 分担執筆者： <u>金岡麻希</u> 他	担当部分「第3部手術中の管理とケア, I 手術室看護の基本, II手術の進行に伴う看 護」	「改訂版外科系実践的看護マニュアル」看 護の科学社, 219-267, 2009年2月

2. 原著論文

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
<u>KAWAMOTO R</u> , <u>MURASE C</u>	Research of Preference of Fragrance	Japanese Journal of applied Psychology 33 (2) : 110-119, 2008
Itsuko Ishihara, Masahiro Nakano, Miharu Ikushima, Yoshiko, Hara, Toshiko, Yoshimine, Junko Nakatani, <u>Rieko Kawamoto</u> , and Hiroshi Kasai	Effect of Work Conditions and Work Environments on the Formation of 8-OH-dG in Nurses and Non- Nurse Female Workers	Journal of University of Occupational and Environmental Health 30(3) : 25-40, 2008
藤田佳代子, 弓削なぎさ, <u>川本利恵子</u> , 米田由美, 村瀬千春	清潔援助の技術習得過程における自己評価 と学習方略との関係	産業医科大学雑誌, 30(1) : 83-95, 2008
長聡子, <u>川本利恵子</u> , 永松有紀, 阿南あゆみ, 竹山ゆみ子, 金山正子	がん患者の家族に関する看護研究の動向と 課題	産業医科大学雑誌, 30(2) : 197-213, 2008
長聡子, <u>川本利恵子</u> , 中野正博	一般病棟におけるがん患者の家族に関する 看護ケアの実践評価指標の作成に向けた基 礎的研究 - 指標項目作成と選定 -	産業医科大学雑誌, 31(1) : 37-49, 2009
Takemoto M, Nishizaka M, Matsuzaka R, Kaji Y, <u>Chishaki A</u> , Sunagawa K	CARTO Images after Heart Transplantation.	Internal Medicine 47, 813-4, 2008

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Inoue H, Fujiki A, Origasa H, Ogawa S, Okumura K, Kubota I, Aizawa Y, Yamashita T, Atarashi H, Horie M, Ohe T, Doi Y, Shimizu A, Chishaki A, Saikawa T, Yano K, Kitabatake A, Mitamura H, Kodama I, Kamakura S	Prevalence of atrial fibrillation in the general population of Japan.	International Journal of Cardiology 137, 102-107, 2009
Takeda k, Takemoto M, Mukai Y, Seto T, Ohwaki K, Chishaki A, Sunagawa K	A Clear Documentation on the Activation Sequence of the His-Purkinje System during Bundle Branch Reentrant Ventricular Tachycardia in a Patient with Myotonic Dystrophy.	J Cardiol 53, 463-466, 2009
Sakai S, Yabuuchi Hi, Chishaki A, Okafuji T, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi Ti, Honda H.	Effect of cardiac function on aortic peak time and peak enhancement during coronary CT angiography.	European Journal of Radiology, 2009, E-pub
Miyuki Tsuchihashi-Makaya, Norihiro Kato, Akiko Chishaki, Akira Takeshita, Hiroyuki Tsutsui	Anxiety and poor social support are independently associated with adverse outcomes in patients with heart failure.	Circulation J 73, 280-287, 2009
西淳一郎, 日浅謙一, 樗木晶子, 小池城司, 竹本真生, 砂川賢二	Brugada症候群によると思われる心室細動に対してAMDの静注が著効下1例	心臓, 40(3), 48-52, 2008
相澤義房, 田邊晃久, ホルター心電図記録中の突然死委員会(樗木晶子ほか)	ホルター記録中の突然死について. ホルター記録中の突然死調査委員会の集計報告(第1報).	心電図, 28, 243-250, 2008
樗木晶子, 長弘千恵, 宮園真美, 前野有佳里, 木下由美子, 中尾久子	高血圧を伴う高齢者における入浴後の体位の違いによる循環動態の変化の検討	日本循環器予防学会誌, 43 : 139-146, 2008
樗木晶子, 宮園真美, 眞茅みゆき, 樗木浩朗, 井上修二郎, 向井靖, 竹本真生, 加治良一, 砂川賢二, 有村達之, 奥澤朋奈, 久保千春	植込み型除細動器におけるQuality of Life	心臓 41, 635-641, 2009
新小田春美, 末次美子, 樗木晶子, 加来恒壽, 西岡和男, 浅見恵梨子, 内村直尚, 神山潤, 加藤則子, 南部由美子, 松本一弥	乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣からみた遅寝の実態とその影響要因の分析	福岡医学雑誌, 99 : 246-261, 2009
中尾久子, 大林雅之, 家永登, 樗木晶子	日本の病院における倫理的問題に対する認識と対処の現状	生命倫理19, 75-82, 2008
Hisako NAKAO, Akiko Chishaki, Masayuki Obayashi	Awareness of ethical issues by Nursing Professionals at a General Local Hospital in Japan	FUKUOKA ACTA MEDICA, 99(8) : 175-183, 2008.
宮園真美, 前野有佳里, 樗木晶子, 橋口暢子, 金岡麻希, 木下由美子, 中尾久子, 中尾富士子, 川本利恵子, 栃原裕	頸下ドームサウナ使用時の高齢者の生理・心理反応	日本循環器看護学会誌 (印刷中)

3. 総説・その他

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
川本利恵子	看護における心理的ケア	臨床看護34(5) : 670-674, 2008.4
島田陽子, 川本利恵子, 井上智子, 栗本澄子	座談会：問題作成経験を積極的に－国試問題 プール制定着のためにできること	看護教育49(8) : 668-673, 2008.8
川本利恵子	国家試験問題作成は教員に必要な能力の一 つ；検討の歩みを振り返って	看護教育49(8) : 658-662, 2008.8
橋木晶子	高齢者における植込み型除細動器の意義	老年医学46(9) : 1043-1049, 2008
中尾久子	「医療倫理と合意形成」医療の場でジレン マに悩むすべての人へ	看護研究41(2), 79, 平成20年4月
Sue Turale, Misae Ito, Fujiko Nakao,	Issues and challenges in nursing education in Japan	Nurse Education in Practice, 8(1), 1-4, 2008

4. 学会発表

【国際学会】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Yoshida M, Chishaki A, Murayama Y, Kimura S, Ando M, Saito T, Shiino T, Shiba K, Todaka K, Sunagawa K	Noninvasive transcutaneous bionic baroreflex system prevents severe orthostatic hypotension in patients with spinal cord injury.	Experimental Biology 2008, San Diego, April 6, 2008.
Yoshida M, Murayama Y, Chishaki A, Sunagawa K	Noninvasive Transcutaneous Bionic Baroreflex System Prevents Severe Orthostatic Hypotension in Patients with Spinal Cord Injury.	IEEE 2008, Vancouver, Canada, August 20-24, 2008.
Yoshida M, Chishaki A, Murayama Y, Kimura S, Ando M, Saito T, Shiino T, Shiba K, Todaka K, Sunagawa K	Reflex Control of the Circulation: Clinical Implications Transcutaneous Bionic Baroreflex System Is Widely Applicable For Preventing Severe Orthostatic Hypotension In Patients With Cervical Cord Injury.	American Heart Association Scientific Sessions 2008, New Orleans, Nov 8-12.
Chishaki A, Makaya M, Chishaki H, Sunagawa K	Long-term survey of risk factors of thromboembolism in the patients with atrial fibrillation in Kyushu University Hospital.	Mongolian-Japanese 6th joint symposium, August 19, 2008.
“Kirameki” Project for Women Medical Workers. Akiko Chishaki	A Support Program for Promotion of Women Medical Workers:A Subset of the Educational Programs of High- Quality Medical Workers for Social Needs Promoted by the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology.	Mongolian-Japanese 6th joint symposium, August 19, 2008.
Hisako NAKAO, Akira AKABAYASHI, Masayuki OBAYASHI, Noboru IENAGA, Akiko CHISHAKI	The present situation of the role of ethics committees in Japan – From the viewpoint of the nurses –	22nd EUROPEAN CONFERENCE ON PHILOSOPHY OF MEDICINE AND HEALTH CARE, Tartu, Estonia, August, 2008
Fujiko Nakao, Hisako Nakao, Shiho Matsui, Rieko Kawamoto, Maki Kanaoka, Yumiko Kinoshita, Mami Miyazono	The outcome of Complex Decongestive Physiotherapy for a patient with arm lymphedema.	10th Annual National/International Evidence-Based Practice Conference Translating Research into Best Practice with Vulnerable Populations: Innovations in Evidence-Based Practice, 2009.2.19-20

【国内学会】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Yoshida M, Chishaki A, Murayama Y, Kimura S, Ando M, Saito T, Shiino T, Shiba K, Todaka K, Sunagawa K	Noninvasive transcutaneous bionic baroreflex system prevents severe orthostatic hypotension in patients with spinal cord injury.	第47回日本生体医工学会, 平成20年 5月 8日~10日, 神戸
徳永えり子, 樗木晶子, 塩谷聡子, 掛地吉弘, 前原喜彦, 水田祥代	女性外科医として 一生涯現役をめざして一	第108回日本外科学会学術集会, 平成20年 5月15-17日, 長崎
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 外園栄作, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 東田善治	超音波検査室における適切な環境照度の検討	第81回日本超音波学会学術集会, 2008年 5月23日, 神戸
向井靖, 竹本真生, 井上修二郎, 樗木晶子, 加治良一, 砂川賢二	心臓手術後の切開線心房頻拍のカテーテルアブレーションにおけるCARTO mappingの有用性についての検討	第23回日本不整脈学会学術大会, 2008年 6月 2日
井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 西淳一郎, 伊藤浩司, 樗木晶子, 臼井真, 加治良一, 砂川賢二	後壁側左房-左肺静脈間接合部(LSPV前庭部)を起源とする心房性期外収縮への局所焼灼が奏功した発作性心房細動、心房頻拍の一例	第23回日本不整脈学会学術大会, 2008年 6月 2日
伊藤浩司, 竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	左心からの通電が有効であった稀有型房室結節回帰性頻拍の一例	第23回日本不整脈学会学術大会, 2008年 6月 2日
竹本真生, 井上修二郎, 向井靖, 樗木晶子, 加治良一, 砂川賢二	左房後壁単一起源のトリガーAPCへのfocal ablationが著効した若年の発作性心房細動	第19回九州不整脈研究会, 2008年 7月19日, 福岡市
向井靖, 竹本真生, 的場哲哉, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二	頻脈性不整脈に対する緊急電気生理学検査、アブレーションの経験	第 9 回九州重症不整脈研究会, 2008年 7月 26日, 福岡市
樗木晶子	心房細動のメディケーション	心房細動を語る夕べ, 2008年 7月30日, 福岡市
樗木晶子	市民公開講座, 高血圧、高脂血症と臨床検査 一動脈硬化の予防を目指して一	第 3 回日本臨床検査学教育学会, 2008年 8月22日, 福岡市
井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	特殊な副伝導路の存在が疑われたnarrow QRS頻拍の1例	第 3 回 Team Tsuchiya EP Conference, 2008年 9月 6日
井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 樗木晶子, 砂川賢二, 加治良一	特殊な副伝導路の存在が疑われたnarrow QRS頻拍の1例	第20回カテーテルアブレーション関連秋期大会, 2008年10月13-15日, 仙台市
向井靖, 竹本真生, 武田宏太郎, 井上修二郎, 樗木晶子, 砂川賢二, 加治良一	筋ジストロフィーに合併した脚枝間リエン トリー性心室頻拍にアブレーションを行った1例	第20回カテーテルアブレーション関連秋期大会, 2008年10月13-15日, 仙台市
Shujiro Inoue, Masao Takemoto, Mari Nishizaka, Tomomi Ide, Akiko Chishaki, Kenji Sunagawa	Acute beneficial effects of leg thermal therapy for heart failure patients.	第12回日本心不全学会, 2008年10月16-18日, 横浜
樗木晶子	モーニングセミナー, 重症心室性不整脈に対する塩酸ニフェカランツの有用性	第12回日本心不全学会, 2008年10月16-18日, 横浜
樗木晶子	すぐに役立つ心電図と不整脈のお話	不整脈の治療戦略2008, 2008年10月22日, 高知県, 丸亀市
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における環境照度と画像表示モニタの輝度比との関係	第 3 回九州放射線医療技術学術大会, 2008年11月 1日- 2日, 宮崎市
樗木晶子, 社本篤, 竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 砂川賢二	多剤抵抗性の発作性心房細動における塩酸ベプリジルの有効性と安全性	第25回日本心電学会学術集会, 2008年11月 1- 2日, 新潟市
的場哲哉, 向井靖, 瀬戸拓, 竹本真生, 樗木晶子, 小田代敬太, 砂川賢二	心停止例を含む重症心室性不整脈に対するニフェカランツと循環補助療法の有効性	第25回日本心電学会学術集会, 2008年11月 1- 2日, 新潟市
井上修二郎, 竹本真生, 向井靖, 篠原啓介, 西淳一郎, 舩元浩章, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	薬剤により顕性化しVT stromを来たした先天性LQTSの一例	第 8 回福岡山口先端不整脈治療研究会, 2008年11月14日

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
藤野ユリ子, 武富貴久子, 中畑高子, 樗木晶子, 平野裕子	看護職の精神健康状態および首尾一貫感覚と人的サポート資源の関連について	第8回福岡県看護学会, 2008年11月15日, 福岡市
竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	nSiteを用いたinappropriate sinus tachycardia (IST) に対するカテーテルアブレーション: 当院で施行した5症例での検討	24. 第4回Team Tsuchiya EP Conference, 2008年11月15日
藤野剛雄, 的場哲哉, 向井靖, 多田英生, 竹本真生, 江島健一, 肥後大基, 西坂麻里, 井上修二郎, 井手友美, 戸高浩司, 山元充孝, 稲生哲治, 樗木晶子, 砂川賢二	DorおよびMaze手術後も上室性不整脈を契機に心不全を繰り返した症例	第105回日本循環器学会九州地方会, 2008年12月6日, 熊本市
橋口暢子, 樗木晶子	冬季の低湿度環境が及ぼす清拭・入浴後の生理・心理反応	第27回日本看護科学学会, 2008年12月7-8日, 福岡
藤野ユリ子, 武富貴久子, 中畑高子, 樗木晶子, 川本利恵子	女性医療人の臨床現場定着及び復帰支援九州大学病院きらめきプロジェクトの取り組み	第27回日本看護科学学会, 2008年12月7-8日, 福岡
樗木晶子	不整脈の治療: ICD治療と薬物治療	九州地区第5回ICD勉強会, 2008年12月14日, 福岡市
樗木晶子	「心臓の不思議」	鳥飼小学校, 九州大学出前授業 2008年12月17日, 福岡市
船越公太, 向井靖, 中野貴史, 井上修二郎, 竹本真生, 江島憲一, 多田英生, 肥後大基, 樗木晶子, 砂川賢二	多彩な経時的心電図変化を示し、PCPSにても救命し得なかった激症型心筋炎の症例	第21回心臓性急死研究会, 2008年12月20日, 東京
竹本真生, 向井靖, 井上修二郎, 宗内淳, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	先天性心疾患開心術に関連した心房頻拍に対するCARTOシステムを用いたアブレーション治療の有用性	第11回日本成人先天性心疾患研究会, 2009年1月10日, 岡山市
井上修二郎, 竹本真生, 宗内淳, 中島淳博, 向井靖, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	徐脈頻脈の治療によりたんぱく漏出性腸症が改善したファロー四徴症の1症例	第11回日本成人先天性心疾患研究会, 2009年1月10日, 岡山市
向井靖, 竹本真生, 井上修二郎, 的場哲哉, 香月俊輔, 樗木晶子, 砂川賢二	3回のアブレーション、ICDを含む集学的治療により、軽快した心サルコイドーシスを基礎疾患とする難治性心室頻拍の一例	第21回臨床不整脈研究会, 2009年1月10日, 東京
樗木晶子	すぐ役立つ心電図と不整脈のお話	高血圧セミナー, 2009年1月29日, 北九州市
樗木晶子	入浴時の血行動態の変化について	平成20年度保険医学会九州支部総会, 2009年2月17日
竹本真生, 伊藤浩司, 向井靖, 井上修二郎, 加治良一, 樗木晶子, 砂川賢二	診断と治療に困ったnarrow QRS tachycardiaの一症例	第5回Team Tsuchiya EPカンファレンス, 2009年2月28日, 福岡
安藤誠, 井手友美, 樗木晶子, 戸高浩司, 砂川賢二	虚血時の迷走神経刺激は心室頻拍を劇的に抑制する	平成20年度日本生体医工学会九州支部学術講演会, 2009年3月7日, 福岡
Inoue S, Takemoto M, Ide T, Nishizaka M, Chishaki A, Sunagawa K	Leg Hearting Using Far-infra-red Radiation in Patients with Chronic Heart Failure Acutely Improves Hemodynamics, Vascular Endothelial Function and Oxidative Stress,	The 73rd Annual Scientific Meeting of The Japanese Circulation Society, 2009. 3.22, 大阪
Takemoto M, Chishaki A, Inoue S, Mukai Y, Tuchihasi M, Chishaki H, Sunagawa K	Post-Traumatic Stress Disorder (PTSD) and ICD Related Problems in the Patients with ICD	The 73rd Annual Scientific Meeting of The Japanese Circulation Society, 2009. 3.22, 大阪
Chishaki A, Chishaki H, Sunagawa K	"Kirameki"Project for Women Medical Workers as a Support Program for Women Promotion	The 73rd Annual Scientific Meeting of The Japanese Circulation Society, 2009. 3.22, 大阪
Makaya M, Chishaki A, Takeshita A, Kato N, Tsutsui H	Anxiety and Poor Social Support are Independently Associated with Adverse Outcome in Patients with Mild Heart Failure	The 73rd Annual Scientific Meeting of The Japanese Circulation Society, 2009. 3.22 大阪
中尾久子, 樗木晶子	倫理的問題への組織的取組の現状と課題ー看護倫理委員会の全国調査結果からー	第27回日本看護科学学会, 2008年12月7-8日, 福岡

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
中尾久子, 宮園真美, 木下由美子, 金岡麻希, 中尾富士子, 川本利恵子	ターミナルケアの学習に関するホスピス見 学実習の学習効果	第8回福岡県看護学会, 福岡市, 2008年11 月
西田佳世, 中尾久子, 田辺恵子	高齢者を看護・介護する職員のBurnoutと 雇用管理の取り組みの関係	第4回日本看護研究学会学術集会, 神戸市, 平成20年 8 月
中尾久子, 樗木晶子	倫理的問題への組織的取組みの現状と課題 ー看護倫理委員会の全国調査結果からー	第28回日本看護科学学会, 福岡市, 平成20 年12月
中尾富士子, 鈴木志津枝, 中尾久子, 川本利恵子, 木下由美子, 宮園真美	リンパ浮腫患者に対する複合的理学療法を 基盤とした外来で行うプログラムの効果	第8回福岡県看護学会 2008年11月
金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美, 中尾富士子, 川本利恵子, 中尾久子	高齢者シミュレーションゲームによる心理 社会的特性、個別性・多様性の理解とその 学習効果	第 8 回福岡県看護学会, 福岡市, 平成20年 11月15日
木下由美子, 中尾久子, 中尾富士子, 西田佳世, 田辺恵子	高齢者をケアする看護・介護者のバーンア ウト傾向とその関連要因	第28回日本看護科学学会, 福岡市, 平成20 年12月13日
宮園真美, 前野有佳里, 橋口暢子, 樗木晶子, 柝原裕	首下ドーム型サウナ使用時の生理・心理反応	第58回日本生理人類学会, 2008年 6 月 7 日- 8 日
宮園真美, 樗木晶子	入浴とサウナ使用時の循環動態の変化に関 する基礎的研究	日本循環器看護学会, 2008年10月17日-18 日
宮園真美, 前野有佳里, 樗木晶子, 橋口暢子, 柝原裕	首下ドーム型サウナ使用による高齢者の生 理・心理反	第 8 回福岡県看護学会, 2008.11.15
宮園真美, 樗木晶子, 前野有佳里, 橋口暢子	ドーム型サウナ使用による温熱療法の有用 性の検討 ～看護の視点での活用～	第28回日本看護科学学会, 福岡市, 2008年 12月13日-14日

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
川本利恵子	学部講義：7教科	成人看護の対象と方法,急性期看護論,周 手術期の看護方法の展開,成人看護学実習, 成人・老年看護学Ⅰ・Ⅱ共通,成人・老年 看護学実習Ⅱ),卒業研究
	大学院講義：5教科	クリティカルケア論,セルフケア論,がん 医療支援論,臨床看護学演習,看護学特別 研究
	看護技術	福岡大学医学部看護学科非常勤講師
	看護学原論	産業医科大学産業保健学部看護学科
樗木晶子	学部講義：10教科	人体の構造と機能IA,B (60), 臨床生理学 Ⅰ (30), 臨床生理学Ⅱ (45), 生理学実習 (45), 臨床生理学実習 (45), 超音波検査 学 (30), 成人老年看護学Ⅰ (12), 成人老 年看護学実習 (12), 医学総論 (6), 卒業 研究
	医学科講義：2教科	臨床医学群 (6), 臨床医学基本実習 (4)
	研修医臨床指導	
	大学院講義：3教科	保健医療とソーシャル・サポート (8), セルフケア支援論 (8), 地域高齢者支援 論 (8)
中尾久子	学部講義：9教科	老年看護学概論,慢性期看護論,老年看護 学Ⅱ, 臨床老年看護学,慢性期看護論,成 人・老年看護学Ⅰ・Ⅱ成人・老年看護学実 習Ⅰ,老年看護学実習,卒業研究
	大学院講義：4教科	医療と生命倫理 (8時間),看護倫理 (15 時間),看護組織・マネジメント論 (8時 間),臨床看護学演習 (30時間)
	医療系統合教育：2科目	インフォームドコンセント,臨床倫理
	生命倫理	福岡大学医学部看護学科非常勤講師

教 員	講 義	資料・備考
中尾久子	看護倫理	久留米大学大学院医学研究科・非常勤講師 (専門看護師教育課程)
	看護倫理	久留米大学認定看護師教育センター講師 (認定看護師コース)
	看護倫理	大分県立看護科学大学看護研究交流センター (認定看護師コース) 講師
中尾富士子	学部講義：5教科	講義：慢性期看護学(90分×2コマ), 成人看護の対象と方法(90分×2コマ), 老年看護学概論(90分×1コマ), 実習：老年看護学実習(90時間), 成人・老年看護学実習Ⅰ(180時間)
	1教科	講義：国際社会とチーム医療(90分×1コマ)
金岡麻希	学部講義・実習：8教科	急性期看護論(6時間), 成人看護学Ⅱ(2時間), 臨床老年看護学(6時間), 老年看護学概論(2時間), 成人・老年看護学実習Ⅱ(270時間), 老年看護学実習Ⅰ(30時間), 基礎看護学実習(2日間), 卒業研究
木下由美子	学部講義・実習：9教科	急性期看護論(2時間), 成人看護学Ⅱ(2時間), 臨床老年看護学(6時間), 老年看護学概論(2時間), 成人・老年看護学実習Ⅰ(270時間), 老年看護学実習Ⅰ(30時間), 基礎看護学実習(90時間), 救急蘇生学(2時間), 卒業研究
宮園真美	学部講義・実習：8教科	急性期看護論(6時間), 成人看護学Ⅱ(2時間), 臨床老年看護学(6時間), 老年看護学概論(2時間), 成人・老年看護学実習Ⅱ(270時間), 老年看護学実習Ⅰ(30時間), 基礎看護学実習(2日間), 卒業研究

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

教 員	研究テーマ	資料・備考
川本利恵子, 金岡麻希	病院における死後の処置への家族参加が及ぼす効果について	20年度卒業研究 奥野桃子 (B4)
	一般病棟で看護師が日常的に行う意図的タッチの効果	20年度卒業研究 高松梨絵 (B4)
	事例研究にみるターミナル期の患者は看護師の声かけが及ぼす影響	20年度卒業研究 野田薫 (B4)
	一般病棟における入院中の患者家族への看護師の配慮についての評価 ー家族・患者・看護師,それぞれの視点からー	20年度卒業研究 安田紗貴 (B4)
川本利恵子	一般病棟におけるがん患者の家族に対する看護ケアの実践評価と看護師の「個人要因との関連の検討	20年度修士論文 長聡子 (M2)
	交代制勤務に従事する看護職の食生活に影響を与える要因の検討	論文指導中 白井ひろ子 (M1)
	オイルマッサージの継続的な介入によるリラクゼーションおよびフレッシュメント効果、SOCの検討	論文指導中 弓削なぎさ (M1)
栲木晶子, 宮園真美	非糖尿病性血液透析患者のQOL ー透析歴、自己管理行動との関係性ー	20年度卒業研究 永松佐和子 (B4)
	糖尿病腎症患者の自己管理行動と家族支援との関連 ー食事療法に焦点を当ててー	20年度卒業研究 原嶋直子 (B4)
	労働者のストレスに関する研究 ー職業性ストレス簡易調査票を用いてー	20年度卒業研究 福崎春奈 (B4)
	虚血性心疾患患者の自己管理意欲を高める退院後の介入 ーお便りと電話による定期的アプローチの有効性ー	20年度卒業研究 澁上加奈子 (B4)

教 員	研究テーマ	資料・備考
中尾久子	高齢者の生きがい内容と生きがいの有無に関する要因	20年度卒業研究 赤峰由理絵 (B4)
	在宅高齢者に対する配食サービスの研究 －北九州市の住民参加型配食サービス活動のケースを通して－	20年度卒業研究 池田有紀 (B4)
	看護師の能力の違いが高齢者の転倒リスクアセスメントに与える影響	20年度卒業研究 早田美由紀 (B4)
	患者を癒すタッチング －よりよい信頼関係を築くために－	20年度卒業研究 宮崎祐里香 (B4)
	中堅看護師の役割ストレスと負担感の関連	20年度修士課程特別研究小野久美子 (M1)
中尾富士子	「がんサバイバーシップ」の視点から見る乳がん患者への看護の現状	20年度卒業研究 竹熊由衣
	海外との比較に見る、日本の乳がん看護の専門性	20年度卒業研究 二牟禮恵
	乳がん術後リンパ浮腫患者に対する看護の現状 －日本と欧米との文献比較から－	20年度卒業研究 福田陽子
木下由美子 (壬生隆一)	声かけ・タッチングによる術後の除痛援助について	20年度卒業研究 井上麻衣 (B4)
	遷延性意識障害患者に対する音楽運動療法について	20年度卒業研究 三戸真美愛 (B4)
	ターミナル患者における蘇生術施行の有無に関する意思確認について	20年度卒業研究 伊藤えり (B4)
	終末期におけるスピリチュアルケア	20年度卒業研究 梅木智恵子 (B4)

7. 社会貢献

教 員	活 動 内 容	資料・備考
川本利恵子, 金岡麻希, 宮園真美	米国ニューヨーク市立大学に国家試験に関する情報収集と教育方法の打ち合わせのため訪問	2008年 9 月
川本利恵子, 樗木晶子, 中尾久子, 中尾富士子, 金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美	米国ニューヨーク市立大学ハンター校のNPであるジョセフサラディーノ教授を招き、研究打ち合わせと研修会を行った。	2009年 1 月 5 日～17日
川本利恵子, 樗木晶子, 中尾久子, 中尾富士子, 金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美	第6回九州大学医学部保健学科公開講座「メタボリック症候群の征圧に向けて」	担当：講演座長、血糖測定検査, 骨密度検査 2008年 9 月 27 日 コラボポスターセッション
川本利恵子, 中尾富士子, 金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美	日本消化器病学会市民公開講座	担当：受付、マイク係 2008年 8 月 30 日 エルガーラホール
川本利恵子	日本看護協会看護師職能委員	委員 2007年 5 月～
	日本老年行動科学会	理事 2008年
	日本応用心理学会	理事 2008年
	日本看護協会総会職能委員長会シンポジウム	シンポジウム座長, 2008年 5 月 22 日, 埼玉
	日本看護協会看護学会	看護教育査読委員 2008年
	日本看護研究学会誌	査読委員 2008年
	山口大学医学部附属病院看護部講習会	講師 2008.10.1
	国立病院機構関門医療センター看護部研修会	講師 2008年
	日本看護研究学会	評議員 2008年
日本看護科学学会誌	査読委員 2008年	
川本利恵子, 木下由美子, 宮園真美	福岡県看護協会臨床指導者研修会	講師 2008年

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
川本利恵子	皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程入学試験	副委員長 2008年
	福岡県看護教員養成講習会	講師 2008年
	北九州市情報公開審査会	委員 2008年
	日本手術看護学会誌	査読委員 2008年
	全国保健師教育協議会研修会	講師 2008年
	厚生労働省 診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業	運営委員会委員 2008年
川本利恵子	女性医療人きらめきプロジェクトの諮問委員会	委員 2008年
	九州がんプロフェッショナル養成プランの協議会看護作業部会	委員 2008年
	がん看護セミナー	座長 2008年エルガーラホール
	第23回日本がん看護学会学術集会	学会座長 2008年2月8日
	厚生労働省の看護専門官と共同主催 看護師等国家試験に関するプール制導入に関する交流集会	第18回日本看護教育学会, 講師, 2008年8月
	厚生労働省の看護専門官と共同主催 看護師等国家試験に関するプール制導入に関する交流集会	講師, 日本看護科学学会, 2008年12月
	九州大学病院 看護部主催 福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修	講師(看護理論)
梶木晶子	学校心臓検診心電図判読委員会・委員	委員(平成16年4月から現在に至る)
	福岡県教職員身体検査審議会・委員	委員(平成20年4月から)
	福岡県市公務災害補償等認定委員会	委員
	第1回~18回 九州不整脈研究会	世話人
	第1回~3回 九州アミオダロン研究会	世話人
	第23回~27回 ホルター心電図研究会	世話人
	第2回~6回 ニフェカレント研究会	世話人
	日本内科学会内科専門医制度研修医	指導医
	日本循環器学会	査読委員
	日本心電学会	査読委員
	日本循環器予防学会誌	編集委員
	中尾久子	福岡徳州会病院研修会
愛媛看護協会研修会		講師「看護倫理」
山口赤十字病院看護部研修		講師「看護倫理」
中四国ブロック赤十字医療施設看護師長研修会		講師「看護倫理」
九州大学病院がんセンター研修会		講師「看護倫理」
九州大学病院看護部研修会講師: clinical ladder III		講師「看護倫理」
日本生命倫理学会第20回年次大会		事務局長 2008年
日本看護科学学会		査読委員 2008年
第28回日本看護学会		実行委員 2008年
女性きらめきプロジェクト内部評価委員会		内部評価委員 2008年
川本利恵子, 中尾富士子, 金岡麻希, 木下由美子, 宮園真美		日本生命倫理学会第21回年次大会
中尾富士子	Sigma Theta Tau International	Tau Nu Chapter: Secretary (2008.4~現在に至る)
	第23回日本がん看護学会学術集会	査読委員
	第23回日本がん看護学会学術集会	学会座長 H21年2月8日 第35群(サポートケア)に於いて

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
中尾富士子	九州大学病院 看護部主催 福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修	講師 (H20.11.26) 1.5時間 演習1. リンパマッサージ
	九州大学病院 看護部主催 福岡県がん看護に関わる看護師の育成研修	講師 (H20.11.27) 1.5時間 家族看護
	山口大学公開講座「女性のいきいき健やかライフのための健康講座」	講師 (H20.6.7) 2時間 乳がんの自己検診について、演習含む
	山口県看護協会 看護実践能力養成Ⅱ研修会	講師 (H20.8.23) 3時間 手術や治療に伴う続発性リンパ浮腫ケア入門編
	大分大学 がんプロフェッショナル養成講座	講師 (H20.9.3) 1.5時間 リンパ浮腫のケア(病態編)
	福岡県病院協会 看護研修会	講師 (H20.9.4) 3時間 続発性リンパ浮腫患者の看護 ～複合的理学療法の考え方に基づいて～
木下由美子	福岡県看護協会 5 地区支部役員	書記
宮園真美	第28回日本看護科学学会学術集会	実行委員 2008/12/13-14 福岡国際センター

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
川本利恵子	厚生労働省科学研究費補助 (地域医療基盤開発推進総合研究事業) (H20~21), 実践能力向上に資する看護師国家試験等の改善に関する研究
樗木晶子	科学研究費補助金, 基盤研究(B), 代表 (H18-21), 入浴・サウナ浴を用いた心疾患患者における治療的患者ケアプログラムの開発
	科学研究費補助金, 基盤研究(S), (H18-22), 脊髄損傷患者の血圧調節失調を克服するためのバイオニック圧制御システムの開発
	大学改革推進等補助金, (大学改革推進事業), (H19-21), 地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム
	厚生労働科学研究費補助金, (H19-21), 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究
中尾久子	科学研究費補助金, 基盤研究(C), (H18-21), 我が国の倫理委員会における症例コンサルテーション機能の現状と課題
	科学研究費補助金, 基盤研究(B), 分担者 (H18-21), 入浴, サウナ浴を用いた心疾患患者における治療的患者ケアプログラム
中尾富士子	文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究(C), (H18-20), 女性の続発性リンパ浮腫に対する外来看護システム構築
金岡麻希	文部科学省科学研究費補助金若手研究 (スタートアップ), (H20-21), 生体肝移植のレシピエントとドナー間の相互作用と両者対象の全人的支援に関する研究
	九州大学男女共同参画推進室女性研究者支援プログラム, 出産・育児期研究助成 (H20), 生体移植におけるレシピエントとドナーに対する看護ケアの構築
九州がんプロフェッショナル養成プラン	1,000千円 総額105,461千円 2007年4月から
女性医療人きらめきプロジェクト	22,550千円 総額67,500千円 2007年4月から
質の高い大学教育改革プロジェクト	20,000千円 総額60,000千円 2008年10月から

看護学分野

《発達看護》

1. 著書

【国内】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
加来恒壽, 渡邊寿美子, 川上千普美	子宮がんの病理	臨床腫瘍プラクティス Vol.4 No.4 2008年
編者: 岩崎和代, 及川裕子, 大澤豊子, 小笹由香, 加藤章子, 熊澤美奈子, 斉藤益子, 佐藤喜美子, 関島瑛子, 植原洋子, 野々山未希子, 濱崎真由美, 平田伸子, 藤本薫, 松永佳子, 三島みどり, 宮崎文子, 渡辺知佳子	担当部分「性役割とジェンダー、性行動と 性機能障害、発達段階とセクシュアリティ、 地域母子保健－在日外国人の母子保健制度、 子ども虐待への対応、働く女性の保護と法 律」	「助産師国家試験予想問題2009」助産師資 格試験研究会, クオリティケア, 2009年 8 月
松崎彰信	小児の注射と採血	大池美也子編: 動画で見る新しい注射の技 術, P102-110, 2008
編者: 濱田裕子, 幸松美智子 分担執筆: 三国久美, 幸松美智子, 森友和仁, 濱田裕子, 井出紀子, 日沼千尋, 宗村弥生, 田中克枝, 川島美保, 岡田洋子, 藤田紋佳	担当部分「4章. 子どもの障害と生活支援」 「7章. 血液疾患をもつ子どもと家族」	場面でまなぶ小児看護学, メディカ出版, 71-80, 106-118, 2008年 4月
編集: 小野正子, 草場ヒフミ 分担執筆: 草場ヒフミ, 藤丸千尋, 蛭名美智子, 猪股千代子, 福良薫, 濱田裕子, 平田美佳, 藤田捻子他	担当部分「I章 5. 病児を抱える家族に対 する援助」	根拠がわかる小児看護技術, メジカルフレ ンド社, 47-59, 2008年10月
編者: 小田正枝 執筆: 窪田恵子, 森田敏子, 穴井めぐみ, 青山和子, 村山由紀子, 井出裕子, 藤田紋佳, 濱田裕子, 唐崎愛子, 藤田捻子, 小野正子, 三橋睦子, 下舞紀美代, 山口哲郎, 山本真弓, 海田真治子, 中島洋子, 梶原江美	悪心・嘔吐	看護学生必修シリーズ 症状別アセスメン ト・看護計画ガイド, 第1版, 照林社, 132- 142, 2008年11月
編者: 濱田裕子, 幸松美智子 分担執筆: 三国久美, 幸松美智子, 森友和仁, 濱田裕子, 井出紀子, 日沼千尋, 宗村弥生, 田中克枝, 川島美保, 岡田洋子, 藤田紋佳	担当部分「5章. 先天性障害をもつ子ども と家族」	場面でまなぶ小児看護学, メディカ出版, 82-91, 106-118, 2008年 4月

2. 原著論文

【国外】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Yoshihiro Ohishi MD, PhD, Tsunehisa Kaku MD, PhD, Hiroaki Kobayashi MD, PhD, Masazumi Tsuneyoshi MD, PhD	CD10 Immunostaining Distinguishes atypical polypoid adenomyofibroma (stypical polypoid adenomyoma) from endometrial carcinoma invading the myometrium	HUMAN PATHOLOGY Vol.39, No.10, p1446-1453, October2008

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Shigeto Kawauchi, MD, Tomoko Kusuda, MD, Xu-Ping Liu, MD, Yutaka Suehiro, MD, Tunehisa Kaku, MD, Yoshiki Mikami, MD, Morishige Takeshita, MD, Motonao Nakao, PhD, Yasuyo Chochi, MD, and Kohsuke Sasaki, MD	Is Lobular Endocervical Glandular Hyperplasia a Cancerous Precursor of Minimal Deviation Adenocarcinoma? A comparative Molecular-genetic and Immunohistochemical Study	Am J surg Pathol, Volume32, Number12, p1807-1815, December2008
Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Hattori H, Hara T	Expression of cytokine-associated genes in dendritic cells (DCs):Comparison between adult peripheral blood- and umbilical cord blood-derived DCs by cDNA microarray.	Immunol Lett, 116 : 55-63, 2008
Suminoe A, Matsuzaki A, Hattori H, Koga Y, Hara T	Immunotherapy with autologous dendritic cells and tumor antigens for children with refractory malignant solid tumors.	Pediatr Transplant, in press
Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Tajiri T, Washitoh N, Hara T, Taguchi T, Hara T	Treatment-related acute myelomonocytic leukemia with t(11;19) in a child following chemotherapy for hepatoblastoma.	Pediatr Blood Cancer, 50 : 943-944, 2008
Matsuzaki A, Suminoe A, Koga Y, Kusuhara K, Hara T, Ogata R, Sata T, Hara T	Fatal visceral varicella-zoster virus infection without skin involvement in a child with acute lymphoblastic leukemia	Pediatr Hematol Oncol, 25 : 237-242, 2008
Matsuzaki A, Suminoe A, Koga Y, Shiraishi T, Hara T	Lung transplantation after hematopoietic stem cell transplantation from the same living donor in a child with juvenile myelomonocytic leukemia and bronchiolitis obliterans	Pediatr Blood Cancer, 51 : 567, 2008
Saito Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Koga Y, Kurata H, Oda Y, Tsuneyoshi M, Hara T	Congenital Ewing sarcoma in retroperitoneum with multiple metastases.	Pediatr Blood Cancer, 51 : 698-701, 2008
Koga Y, Matsuzaki A, Suminoe A, Hatano M, Saito Y, Kinoshita Y, Tajiri T, Taguchi T, Kohashi K, Oda Y, Tsuneyoshi M, Hara T.	Long-term survival after autologous peripheral blood stem cell transplantation in two patients with malignant rhabdoid tumor of the kidney.	Pediatr Blood Cancer, 52 ; 888-890, 2009

【国内】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 古賀裕子, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	子宮頸部病変におけるN/C比の検討 ー特に上皮内癌についてー	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌, 第39巻, p45-50, 2008年
中嶋カツエ, 平田伸子, 福嶋恒太郎	ローリスク妊婦の受療動態	久留米医学会雑誌, 第71巻, 第9-12号, 別 冊, 2008.12.
赤井由紀子, 近藤信子, 青野淳子, 中島敦子, 永井由美子, 平田伸子	家族介護への不安と負担感に関する研究	第39回日本看護学会誌 (老年看護), 2008, 246-248
新小田春美, 松本一弥, 浅見惠梨子, 末次美子, 内村直尚, 加藤則子, 橋木晶子, 加来恒壽, 神山潤, 南部由美子, 西岡和男	乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣か らみた遅寝の実態と影響要因の分析	福岡医学会雑誌, 99(12), 246-261, 2008

3. 総説・その他

【総説】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
加来恒壽, 大石善丈, 小川伸二, 川上千普美	卵巣粘液性腫瘍には転移性腫瘍が含まれる?	産科と婦人科, Vol.75, No.12, p1761-1765, 2008年
加来恒壽	卵巣癌の組織型と内膜症および臨床像との関連 (教育セミナー)	日本婦人科腫瘍学会雑誌, 第26巻, 第4号, p465-471, 第43回日本婦人科腫瘍学会誌
加来恒壽, 小川裕明, 小川伸二, 八幡秀昭, 川上千普美, 園田顕三, 上岡陽亮	子宮頸癌 I a 期の妊孕能温存治療	産婦人科の実際, 58(3), p331-336, 2009.3
松崎彰信	血管腫・血管肉腫	別冊日本臨牀 新領域別症候群シリーズ No.6, 循環器症候群III (第2版), 444-448, 2008
Koichi Harada, Chang-Nian Wei, Kunio Hara, Kosuke Noda, Asako Hasegawa, Osamu Matsushita, Yukari Noguchi, Shoko Ohmori, Keiko Minamoto, Qingjun Wei, and Atsushi Ueda,	A review of sick-house syndrome from the viewpoint of environmental medicine	Occupational and environmental allergy, 15(2) : 12-23, 2008.5
松本八千穂, 野口ゆかり	福岡市東保健福祉センターにおける思春期保健教育の現状と課題	思春期学, Vol.26, No.3, 297-304, 2008
末次美子	書評『サイコセラピューティックな看護』	臨床心理学, 第8巻, 第3号, 115頁, 2008年
末次美子	橋渡し役という看護の専門性	日本生殖看護学会誌, 第5巻, 第1号, 33-34頁, 2008年

【報告書】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
平田伸子	ジェンダー分析による働く女性の周経期症候群とその健康支援開発	科学研究補助金 (H18-19), 基礎B 報告書2008
平田伸子, 野口ゆかり, 仲道由紀	「生活モデル」導入による子ども虐待予防に向けた周産期医療現場への教育プログラム構築	三菱財団事業報告書
福嶋恒太郎, 嘉村敏治, 大田俊一郎, 中嶋カツエ, 中野仁雄, 和氣徳夫, 平田伸子, 上岡陽亮	分娩拠点病院の創設と産科2次医療圏の設定による産科医師の集中化モデル事業	厚生労働科学研究費補助金, 子ども家庭総合研究事業
新小田春美, 神山潤, 加藤則子, 浅見恵梨子, 内村直尚, 末次美子, 加来恒壽, 橋木晶子, 西岡和男, 松本一弥	平成20年度厚生労働科学研究費補助金 総括・分担研究報告書 夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究H19-こころ-一般-015 (19231001)	厚生労働省科学研究補助金, こころの健康科学事業報告書, 平成21年3月
濱田裕子, 藤田紋佳, 松崎彰信	子どものターミナルケアに関わる看護師の家族看護の認識のプロセスと困難性に影響する要因	笹川医学医療研究財団, 平成20年度, ホスピス緩和ケアにおけるQOLの向上に関する研究助成報告書, 平成21年2月

4. 学会発表

【国際会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Nobuko Hirata	Relation between Gender-role Awareness of Working Women and PMS in Japan	ICM : International Confederation of Midwives, 28th Triennial Congress2008 (Glasgow)
Chang-Nian Wei, Yukari Noguchi, Jiwei Wang, Zhang Shi-Chen, Luyinga Kalay, Keiko Minamoto, Shoko Omori, Koichi Harada, Atsushi Ueda	Health promoting lifestyle and body mass index among university students in Japan	The 6th East Asian Congress of Health Promotion October, 2008.10, Taipei

【国内会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
加来恒壽	子宮頸部悪性腺腫および頸部腺癌初期病変の病理	第5回婦人科がん会議, 2008.5.23-24
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 古賀裕子, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	長期観察可能であった子宮頸部異形成症例の検討	第49回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2008.6.6-8
高橋詳史, 竹井裕二, 藤原寛行, 嵯峨泰, 高澤環志, 鈴木智子, 金井信行, 加来恒壽, 大和田倫孝, 鈴木光明	Peutz-Jeghers症候群を合併し子宮頸部悪性腺腫との鑑別を要したLEGHの1例	第49回日本臨床細胞学会総会 (春期大会), 2008.6.6-8
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 杉島節夫, 宇藤満昭, 寺戸信芳, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫	子宮頸部細胞診におけるPair Cellの意義	第24回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 2008.7.12-13
笹島ゆう子, 津田均, 三上芳喜, 加来恒壽, 清川貴子, 濱田智美, 大石善丈, 長谷川匡	異型を伴う子宮頸部分葉状内頸部腺過形成 (LEGH) の組織学的診断基準についての検討	第44回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2008.7.17
上岡陽亮, 兼城英輔, 矢幡秀昭, 小川伸二, 大石善丈, 堀絵美子, 加来恒壽, 小林裕明, 和氣徳夫	子宮体部hepatoid carcinomaの一例	第44回日本婦人科腫瘍学会学術集会, 2008.7.17
篠崎智子, 兼城英輔, 矢幡秀昭, 小川伸二, 奥川馨, 谷口秀一, 井上貴史, 上岡陽亮, 園田顕三, 小林裕明, 和氣徳夫, 加来恒壽	円錐切除術による子宮頸管腺過形成の診断後、子宮頸部腺癌を発症した1例	第137回日本産科婦人科学会福岡地方部会, 2008.9.21
加来恒壽	卵巣癌の組織型と内膜症および臨床像との関連	第43回日本婦人科腫瘍学会
平田伸子	日本助産師会受胎調節ステップアップセミナー講師	2008.8
綿貫圭介, 羽田野美穂, 實藤雅文, 古賀友紀, 住江愛子, 吉良龍太郎, 松崎彰信, 原寿郎, 佐竹宏之, 花井敏男	オプスクロウニス・ミオクローニス症候群を契機に診断された神経芽細胞腫の1例	第452回日本小児科学会福岡地方会, 2008.12.13, 福岡
井上友香, 木下義晶, 田尻達郎, 羽田野美穂, 古賀友紀, 住江愛子, 松崎彰信, 原寿郎, 孝橋賢一, 小田義直, 恒吉正澄, 田口智章	EWS-ERGキメラ遺伝子を発現したEwing sarcoma family tumorの1例	第24回日本小児がん学会, 2008.11.14-16, 千葉
古賀友紀, 住江愛子, 松崎彰信, 原寿郎, 木下義晶, 田尻達郎, 田口智章	自家末梢血幹細胞移植を含む集学的治療により長期間寛解を維持している腎悪性ラブドイド腫瘍の2例	第24回日本小児がん学会, 2008.11.14-16, 千葉

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
住江愛子, 古賀友紀, 羽田野美穂, 松崎彰信, 原寿郎	抗がん剤投与に伴う悪心・嘔吐に対するミ ダゾラムの有効性および安全性	第24回日本小児がん学会, 2008.11.14-16, 千葉
深野玲司, 堀田紀子, 松原知代, 古川漸, 鎌田綾, 古賀友紀, 住江愛子, 松崎彰信	治療抵抗性を示したランゲルハンス細胞組 織球症の3か月女児例	第14回九州山口小児血液腫瘍研究会, 2008. 7.5, 福岡
住江愛子, 古賀友紀, 高柴朋子, 後藤多奉, 松崎彰信, 原寿郎, 川崎弘詔, 神庭重信	小児悪性腫瘍終末期の緩和医療におけるハ ロペリドールの有効性	第6回日本臨床腫瘍学会学術集会, 2008.3. 20-21, 福岡
住江愛子, 古賀友紀, 松崎彰信, 原寿郎	同種骨髄非破壊的移植後に再発した難治性 悪性リンパ腫において免疫抑制剤急速中止 により再寛解を得た1例	第6回九州BMT研究会, 2008.2.23, 福岡
鎌田綾, 古賀友紀, 住江愛子, 松崎彰信, 原寿郎, 播磨谷勝三, 松田秀一, 岩本幸英, 小田義直, 恒吉正澄	右頬部横紋筋肉腫の治療終了9年後に発症 した右大腿骨骨肉腫の1例	第37回九州地区小児固形悪性腫瘍研究会, 2008.2.23, 福岡
浅見恵梨子, 新小田春美, 松本一弥	奈良県における3歳児の睡眠事情と健康支 援に関する基礎調査	第16回日本健康教育学会(大阪)
新小田春美, 浅見恵梨子, 内村直尚, 西岡和男, 末次美子, 樗木晶子, 加来恒壽, 松本一弥, 神山潤, 南部由美子, 加藤則子	乳幼児の発達年齢および親子の睡眠習慣か らみた遅寝の実態とその影響要因の分析	第33回日本睡眠学会(福島)
浅見恵梨子, 新小田春美, 末次美子, 西岡和男, 南部由美子, 加藤則子, 内村直尚, 大久保一郎, 早川和生, 加来恒壽	乳幼児の睡眠問題と成長発達および精神気 質との関連に関する横断研究	第67回日本公衆衛生学会(福岡)
加藤則子, 新小田春美	公衆衛生学会 交流集会 子育て支援トリ プルP	第67回日本公衆衛生学会(福岡), 公衆衛 生学会交流集会
新小田春美, 浅見恵梨子, 末次美子, 加藤則子, 松本一弥, 神山潤, 内村直尚, 西岡和男, 樗木晶子, 加来恒壽, 大久保一郎,	平成20年度厚生労働科学研究 心の健康科 学研究成果発表会(精神分野)	3. 平成20年度 厚生労働科学研究 こ ころの健康科学研究成果発表会(精神分野), 平成21年2月2日
藤田紋佳, 濱田裕子	学生の主体的な看護を育む実習指導の検討 -受け持ち児との関わりの中で変化した事 例を通して-	2008年8月第9回九州小児看護教育研究会
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 外園栄作, 東田善治	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本超音波医学会, 第81回学術集会, 2008 年5月
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本放射線技術学会, 第64回総会学術大会, 2008年6月
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における環境照度と画像表示 モニタの輝度比との関係	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008 年11月

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
加来恒壽	学部講義：7教科	母子保健, 母性看護学Ⅱ, 基礎助産学, 健 康障害特論Ⅰ, 臨床医学総論, 卒業研究, 泌尿・生殖器
	大学院講義：1教科	先端医療論(4時間)
	佐賀大学医学部看護学科講義	周産期医学

教 員	講 義	資料・備考
平田伸子	学部講義：8教科	助産学概論学（15時間）、助産診断技術学Ⅰ（8時間）、助産診断技術学Ⅱ（15時間）、地域母子保健（15時間）、基礎助産学（8時間）、母性看護学Ⅱ（10時間）、全学教育：女性学男性学（2時間）、卒業研究
	大学院講義：5教科	保健学におけるチーム医療（30時間）、広域看護学研究方法（15時間）、母子発達看護学演習（30時間）、リプロダクティブヘルス論（30時間）、特別研究
松崎彰信	学部教育	小児疾病論Ⅰ、小児疾病論Ⅱ、小児保健、小児看護実習、卒業研究、臨床医学群「血液」
	大学院教育	先端医療論、がん疾病治療論、母子発達看護論、各種がんの管理・治療
新小田春美	学部講義6教科	母性看護学（30時間）、母性看護学演習（45時間）、母性看護学実習（90時間）、助産診断技術学Ⅰ（30時間）、助産管理（11時間）、卒業研究（60時間）
	大学院講義：1教科	母子発達看護論（6時間）
	島根県立大学看護大学 助産課程専攻	助産に活かす積極的傾聴法（15時間）
	広島県立大学看護福祉大学	助産学概論（2時間）、助産学方法論（2時間）
濱田裕子	学部講義：4科目 学部実習：1科目	小児看護学総論（30時間）、思春期保健論（6時間）、卒業研究（60時間）、コアセミナー、小児看護学実習（90時間×8）
	修士講義：3科目	母子発達看護論（6時間）、ヘルスプロモーション支援論（16時間）、発達看護学演習（6時間）
	九州大学統合新領域学府ユーザー感性学プレ講義	実践子ども学vol21「看護のなかの子ども—家族まるごとケアするという—」
	西南学院大学人間科学部非常勤講師	小児保健学実習（30時間）
	産業医科大学産業保健学部非常勤講師	小児看護学総論（2時間） 小児看護学各論（2時間）
野口ゆかり	学部授業：9科目	全学教育科目（3科目） コアセミナー（8時間）、性科学（4時間）、人間性：生命と身体（8時間） 保健学科医療系基礎教育科目（1科目） 医療法律学（4時間） 看護学専門教育科目（5科目） 母性・疾病援助論（4時間）、助産診断・技術学Ⅰ（36時間）、助産診断・技術学Ⅱ（20時間）、助産学実習（270時間）、卒業研究（60時間）
	大学院：演習1科目	20年度修士課程特別研究 演習－発達看護分野，2008.10-2009.3，週1回＋α
末次美子	学部講義3教科	母性看護学Ⅰ（4.5時間）、母性看護学Ⅱ（1.5時間）、基礎助産学Ⅰ（1.5時間）
	学部演習1教科	母性看護学演習（1単位45時間）
	学部実習3教科	母性看護学実習（90時間×8）、基礎看護学実習（2単位）、基礎看護学実習（2単位）
仲道由紀	学部講義：3教科	助産診断・技術学Ⅰ（30時間）、助産診断・技術学Ⅱ（17時間）、母性疾病・援助論（2時間）
	学部実習：1教科	助産学実習：270時間

教 員	講 義	資料・備考
藤田紋佳	学部講義：1科目	小児看護学総論（2時間）
	学部実習：2科目	小児看護学実習（90時間×8） 基礎看護学実習Ⅰ（2単位） 基礎看護学実習Ⅱ（2単位）
	福岡医療福祉大学総合臨床福祉学科非常勤講師	小児保健実習（30時間）
	西南学院大学人間科学部非常勤講師	小児保健学実習（10時間）

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
加未恒壽	不妊治療が出産後の対児感情に及ぼす影響について	H20年度卒業研究 黒河奈菜
	死産を経験した母親、家族にとって必要なケアとは	H20年度卒業研究 上田幸枝
	乳癌検診受診に対する関心を高めるために－若年者に焦点をあてて－	H20年度卒業研究 戸根遥
	下肢リンパ浮腫の客観的評価法の検討	H20年度修士課程特別研究 嶋田嗣子(M1)
平田伸子	乳幼児ふれあい体験学習の親準備性発達における有効性について	H20年度卒業研究 八木祥子
	母子の触れ合いを通じた母親から児への愛着－母子分離を経験した低出生体重児・早産児の母親を対象にして－	H20年度卒業研究 山口万里子
	虐待ハイリスク群に対する、妊娠期・周産期における児童虐待予防の現状と課題	H20年度卒業研究 日高美穂
	子育て支援としての病児保育	H20年度卒業研究 安慶田万里子（21世紀P4年）
	産後1か月・4か月時点の母親の育児ストレスコーピング方略－育児生活肯定的感情に焦点をあてて－	H20年度修士課程特別研究 永田真理子(M2)
松崎彰信	思春期における慢性疾患児が抱える問題と援助	H20年度卒業研究 尾崎瑞妃
	入院中の子どもが抱えるストレスその援助について：遊びに焦点をおいて	H20年度卒業研究 田原祥子
新小田春美	母子分離した極低出生体重児の栄養方法の検討－正期産児と早産児における比較－	H20年度卒業研究 上矢碧
	子育て支援について－生活スタイルの変化が子どもの成長発達に与える影響－	H20年度卒業研究 竹内久乃
	産科におけるアロマセラピー導入への試案－代替医療としてのアロマセラピーの変遷とその評価法に着眼して－	H20年度卒業研究 菅真由美
	女子大学生の避妊行動と経口避妊薬（ピル）に対する意識についての検討－ピルの理解と避妊意識を高めるために－	H20年度卒業研究 出端瞳
濱田裕子	NICUから小児病棟へ継続入院する慢性疾患児をもつ母親への援助－障害受容と愛着形成の視点から、受け持ち事例を通して－	H20年度卒業研究 飯盛陽子
	障害をもつ子どものきょうだいの体験－成人きょうだいへの面接を通して－	H20年度卒業研究 一ノ瀬覚子
	母親が子どもの入院に付き添うことによる家族への変化－家に残されたきょうだいへの影響に着目して－	H20年度卒業研究 田代絵理
	障害のある子どもをもつ親が直面する困難を乗り越えていく過程－親の会の意義－	H20年度卒業研究 麻那古郁美

指導教員	研究テーマ	資料・備考
野口ゆかり	緊急帝王切開を受けた産婦、褥婦の心情とその援助について - 時期別に見た心情の特徴と援助の方向性 -	H20年度卒業研究 白石ゆか
	産む人目線で考える分娩体位の自由さ	H20年度卒業研究 高宮佳穂里
	高校生のコンドーム使用の実態とコンドームに関する性教育	H20年度卒業研究 光永祐子
	産後1か月・4か月時点の母親の育児ストレスコーピング方略 - 育児生活肯定的感情に焦点をあてて - Childrearing Stress Coping Strategies in Mothers at 1 and 4 Months Post-Delivery-Positivity in Childrearing-	H20年度修士課程特別研究 永田真理子 (演習 2008.10-2009.3)
	環境照度の違いがCRTモニターの輝度と超音波画像のコントラストに与える影響	H20年度修士課程特別研究 畠中史朗 (共同研究分担テーマ内容のみ 2008.1-2009.3)
末次美子	不妊治療が出産後の対児感情に及ぼす影響について	H20年度卒業研究 黒河奈菜
	死産を経験した母親にとって必要なケアとは	H20年度卒業研究 上田幸枝
	乳癌検診受診に対する関心を高めるために - 若年者に焦点を当てて -	H20年度卒業研究 戸根遥
仲道由紀	虐待ハイリスク群に対する、妊娠期・周産期における児童虐待予防の現状と課題	H20年度卒業研究 日高実穂
	母子の触れ合いを通じた母親から児への愛着 - 母子分離を経験した低出生体重児・早産児の母親を対象に -	H20年度卒業研究 山口万里子
	乳幼児ふれあい体験学習の親準備性発達における有効性について	H20年度卒業研究 八木祥子
	子育て支援としての病児保育に関する研究	H20年度卒業研究 安慶田麻里子 (21世紀プログラム4年)
藤田紋佳	NICUから小児病棟へ継続入院する慢性疾患患者をもつ母親への援助 - 障害受容と愛着形成の視点から、受け持ち事例を通して -	H20年度卒業研究 飯盛陽子
	思春期における慢性疾患児の抱える問題とその援助	H20年度卒業研究 尾崎瑞妃
	入院中の子どもが抱えるストレスとその援助について - 遊びに焦点をおいて -	H20年度卒業研究 田原祥子

7. 社会貢献

【国内】

教員	活動内容	資料・備考
加来恒壽	日本臨床細胞学会評議員 (査読委員・細胞専門医委員会委員・教育委員会委員)	平成7年1月から現在に至る
	日本臨床細胞学会九州連合会理事・編集委員長	平成9年4月から現在に至る
	社会保険診療報酬支払基金審査委員会委員	平成9年4月から現在に至る
	日本婦人科腫瘍学会会員・評議員	平成10年7月から現在に至る
	福岡母性衛生学会理事	平成14年3月から現在に至る
	平成19年度細胞検査士養成講習会 (福岡県)	講師 (平成19年5月)
平田伸子	福岡医学雑誌 (編集委員)	平成18年1月～20年12月
	日本看護科学学会誌 (査読委員)	平成20年10月～現在
	日本母性衛生学会誌査読委員, 座長	平成16年10月～現在
	日本母子看護学会理事・査読委員	平成18年8月～現在

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
平田伸子	日本助産学会座長・査読委員	平成18年～現在
	全国助産師教育協議会地区理事、広報委員	平成19年5月～現在
	社団法人福岡県助産師会会長	平成20年5月～22年5月
	社団法人日本助産師会評議員	平成20年5月～22年5月
	福岡県社会福祉審議会委員	平成19年5月～21年4月
	福岡市児童福祉福祉審議会委員	平成20年8月～22年7月
	小郡市男女共同参画審議会委員	平成19年8月～21年8月
	うきは市男女共同参画審議会委員	平成20年11月～22年10月
	福岡県社会福祉協議会研修運営委員	平成21年3月～23年5月
	福岡市思春期懇話会委員	平成17年4月～現在
	ふくおかこどもの虐待防止センター運営委員	平成16年4月～現在
	朝倉市まちづくり健康シンポジウムコーディネータ	平成20年12月14日
新小田春美	平成20年度厚生労働科学研究費補助事業 こころの健康科学事業ChiSCoP講演会(1) 第1回講演会開催	平成20年4月奈良文化会館 講師：神山潤
	平成20年度ChiSCoP講演会(2) 第2回講演会開催	平成20年5月九州大学 総合研究棟 講師：内村直尚
	平成20年度ChiSCoP講演会(3) 第3回講演会開催	平成20年10月26日九州大学 総合研究棟 講師：新小田春美
	平成20年度ChiSCoP講演会(4) 第4回講演会開催	平成20年11月24日九州大学 総合研究棟 講師：内村直尚
	こどもKIDS “眠育すなわち睡眠教育”	平成20年5月10日掲載 毎日新聞社
	睡眠特集 “睡眠の不思議”	平成20年10月3日放映メソッドFBS
	福岡県ピアカウンセラー研究会 ～養成講座・中学校での性教育活動	中学校総合学習への支援 博多女子中学 思春期ピアエデュケーション (九大ピアの指導)
	福岡県ピアカウンセラー研究会 ～養成講座・中学校での性教育活動	2008/9 中学校総合学習への支援 箱崎中学校 思春期ピアエデュケーション (九大ピアの指導)
	早寝早起きが正しいリズムを作る！夜更かし ママが赤ちゃんをダメにする	育児広報誌Happy Angel アーカイブ保存 版関東版、西日本版7周年特別号取材掲載 Happy Angel 取材
	日本母性衛生学会 学会誌査読委員	5報 平成20年2月、4月、8月、11月、 日本母性衛生学会
	日本助産学学会 学会演題査読委員	3報 平成20年8月、第3回日本助産学学会
	日本看護学教育学会学会誌査読委員	2報 平成20年8月、日本看護学教育学会
	日本看護科学学会座長	平成20年11月 福岡国際会場 看護科学学 会示説座長
	全国助産師協議会九州地区理事（個人会員）	広報委員会理事
	福岡母性衛生学会事務局	平成20年6月29日 学会実行委員福岡母性 衛生学会学術担当（事務局幹事）
濱田裕子	高知女子大学看護学会誌	査読委員（平成19年4月から現在に至る）
	家族看護学研究（日本家族看護学会誌）	査読委員（平成19年9月から現在に至る）
	福岡医学雑誌	査読委員（平成20年）
	福岡（看護系）質的研究勉強会	企画（平成20年4月～定例月1回開催）
	福岡県看護教員養成講習会講師	平成20年度福岡県看護教員養成講習会（看 護教育方法：小児看護学）（9時間）、ナース プラザ福岡、2008.9月～10月
	難病の子どもたちへ“絵本カーニバル”企 画運営（九州大学ユーザーサイエンス機構 子どもプロジェクト共催）	九州大学統合新領域学府プロジェクトチ ームラーニング、プレ演習（平成20年5月～ 8月）

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
瀧田裕子	難病の子ども支援全国ネットワーク主催 サマーキャンプ“がんばれ共和国in九州”	難病の子ども支援九州ネットワーク実行委 員（2007年8月から現在に至る）
野口ゆかり	福岡母性衛生学会	2008.6, 福岡母性衛生学会, 幹事（1999年 ～2009年現在）；事務局, 学術企画運営担 当
	生涯を通じた女性の健康を考える会	2008.7-8, 産科勤務看護職のための「子ど も虐待予防」スキルアップ研修会開催
	福岡県ピアカウンセラー研究会－養成講座・ 中学校での性教育活動	2008.9, 平成20年度福岡県思春期ピアカウ ンセラー養成講座 企画・運営・講義 （2007.4-2009.3現在） 中学校での性教育 （ピアエデュケーション）実施, サポート
	福岡県看護学会委員会活動	2008.11, 第8回福岡県看護学会「患者に寄 り添う看護力」, 総合司会福岡県看護協会 学会委員（企画・運営）（2007.7月～現在）
	九州大学助産師同窓会役員活動	2008.12, 九州大学助産師同窓会：役員、 書記・編集委員講演会企画・運営「院内助 産院の開設」・企画運営（1998年～現在） 同窓会ニューズレター作成発行担当
	福岡市助産師会役員活動	2009.2, 平成20年度 福岡市助産師会研修 会「助産師のためのお産のアラカルトー助 産院から院内助産院のお産の実際」企画運 営 福岡市助産師会理事（2007-2009）, 副 会長（200902～現在）
	平成20文部科学省 質の高い大学教育推進 プログラム支援事業「医療現場との情報双 方向性を持つ保健学教育」事業実施委員活 動	2009.3, 「医療現場との情報双方向性を持 つ保健学教育」キックオフシンポジウム、 司会担当。看護・助産領域関連との連携、 HIP企画担当。
末次美子	九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床 心理センター	電話相談員（平成20年4月～平成21年3月）
	九州大学大学院人間環境学府附属総合臨床 心理センター	心理面接相談員（平成20年4月～平成21年 3月）
	福岡母性衛生学会	第18回学会, 平成20年6月29日, 事務局 （庶務担当）・幹事
	日本精神分析学会	第54回大会, 平成20年10月31日～11月2日, 福岡国際会議場, 実行委員
仲道由紀	福岡母性衛生学会 第18回福岡母性衛生学会	事務局（会計・会員管理）幹事
	第28回日本看護科学学会学術集会	実行委員（会場）
	福岡市助産師会主催：助産師のための技術 研修「超音波による胎児画像技術」	浜の町病院にて 平成20年9月27-28日開 催, 技術アシスタント担当
	福岡県看護協会助産師職能委員会主催：超 音波による胎児画像診断技術研修	九州医療センターにて 平成20年10月開催, 技術アシスタント担当
	厚生労働省平成20年度看護師等協働推進研 修モデル事業 助産師のための技術研修 「超音波による胎児画像技術」	浜の町病院にて平成21年3月28-29日開催, 技術アシスタント担当
藤田紋佳	がんばれ共和国（障害児キャンプ） ボランティア	難病の子ども支援九州ネットワーク実行委 員（2007年8月から現在に至る）
	第28回日本看護科学学会	実行委員（受付）
	福岡（看護）質的研究勉強会	企画（平成20年4月～定例月1回開催）

8. 国際交流

教 員	資 料 ・ 備 考
瀧田裕子 藤田紋佳	平成20年度保健学部門短期海外派遣制度, 保健学部門短期海外派遣制度による海外研 修（オーストラリア小児ホスピス研修H20.10月4日～10月12日）

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
加未恒壽	受託研究（臨床病態医学研究所）代表者、「地域医療における細胞診断の意義」
	萌芽研究 研究分担者、夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究（研究代表者名 新小田春美）
	基盤研究(B) 研究分担者、携帯電話を用いた妊産婦のための健康情報コンテンツの構築と評価に関する研究（研究代表者名 平野裕子）
	厚生労働科学研究費補助金（厚生労働省）、研究分担者、夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究（研究代表者名 新小田春美）
	文部科学省科学研究費補助金、平成18年度～19年度、基盤研究(B)、代表、ジェンダー分析による周経期の開発
平田伸子	三菱財団社会福祉、20年度：「生活モデル」導入による子ども虐待予防に向けた周産期医療現場への教育プログラム構築
	朝日新聞厚生文化事業団、20年度：「子どもへの暴力防止プロジェクト助成」：周産期からの子ども虐待予防－育児エンパワメントへ周産期医療機関からの発信
	社会福祉事業研究開発基金助成金、20年度：周産期医療現場からの子ども虐待予防－胎児期からの次世代育成力支援
新小田春美	文部科学省科学研究費補助金、平成20年度～22年度、萌芽研究、代表、夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究
	厚生労働科学研究補助金、平成19年度～21年度、厚生労働科学研究補助事業、こころの健康科学事業、代表、夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究（H19-こころ-一般-015）
瀧田裕子	笹川医学医療研究財団、平成20年度、ホスピス緩和ケアにおけるQOLの向上に関する研究、代表、「子どものターミナルケアに関わる看護師の家族看護の認識のプロセスと困難性に影響する要因」
	文部科学省科学研究費補助金、平成20～22年度、萌芽、分担、夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究
野口ゆかり	産学連携（共同研究）、2007.1～2011.3、共同研究、ヤマギワ、分担、超音波検査室における最適な照明環境の研究
末次美子	文部科学省科学研究費補助金、平成19年度～21年度、若手研究B、代表、不妊治療後早産した母親の母親役割獲得過程
	厚生労働科学研究、平成19年度～21年度、分担、夜型社会における子どもの睡眠リズムによる心身発達の前方視的研究と介入法に関する研究
	文部科学省科学研究費補助金、平成20～22年度、萌芽、分担、夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究
	九州大学教育研究プログラム・研究拠点プロジェクト、平成20～21年度、分担、早産児の親への育児支援方法の検討－NICU看護師の教育プログラム開発における基礎的研究－
仲道由紀	文部科学省科学研究費補助金、平成20～21年度、若手研究(B)、代表、「祖父母となること」の発達測定尺度の開発と影響要因の検討
	九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト、平成20～21年度、分担、早産児の親への育児支援方法の検討－NICU看護師の教育プログラム開発における基礎的研究－
藤田紋佳	九州大学、平成20年度～21年度、九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト、代表、早産児の親への育児支援方法の検討－NICU看護師の教育プログラム開発における基礎的研究
	平成20年度、財団法人笹川医学医療研究財団研究助成、分担、子どものターミナルケアに関わる看護師の家族看護の認識のプロセスと困難性に影響する要因－子どものホスピス緩和ケアにおけるサポートシステムの構築に向けて－
	文部科学省科学研究費補助金、平成20年度～22年度、萌芽研究、分担、夜型両親の遅寝改善にみる乳幼児の生活リズム安定と心身の健康を導く研究

看護学分野

《地域看護》

1. 著書

【国内】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
著者：小田正枝, 井手裕子, 山勢博彰, 藤野成美, 伊東美佐江, 小田日出子, 焼山和憲, 下舞紀美代, 古川秀敏, 宇佐美しおり, 窪田恵子	担当部分：家族看護モデル	「事例でわかる看護理論を看護過程に生かす本」, 照林社, 36-39, 128-142, 2008.7

2. 原著論文

【国内雑誌】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
鳩野洋子, 坂梨めぐみ, 米澤洋美	男性の介護予防活動参加に向けた介護予防ニーズ調査	保健師ジャーナル2008 ; 64(10) : 936-941
Reiko Okamoto, Misa Shiomi, Saori Iwamoto, Yoko Hatono, Yumi Chiba, Toshiyuki Ojima, Yuko Bessyo, Kimiko Nakayama, Kiyomi Inoue	Relationship of experience and the place of work to level of competency among public health nurses in Japan.	Japan Journal of Nursing Science. 2008 ; 5 : 51-59
岡本玲子, 中山貴美子, 塩見美抄, 鳩野洋子, 岩本里織	実践をよりよくしたい保健師への研究者の働きかけと生じた変化 - 6事例へのアクションリサーチを通して -	日本看護教育学会誌, 2008 ; 17(3) : 1-13
Ishii, Yumiko, Hirano O. Yuko	Attitudes on Migration among Filipino Nursing Students: Comparison between the Urban and Rural Areas	九州大学アジア総合政策センター紀要, 第3号, 105-112ページ, 2009年3月
Hirano, O. Yuko ; Wluransari, Sri Ayu	The Japan-Indonesia Economic Partnership Agreement Through the Eyes of Indonesian Applicants: A Survey and a Focus Group Discussion with Indonesian Nurses	九州大学アジア総合政策センター紀要, 第3号, 77-90ページ, 2009年3月
平野 (小原) 裕子, 川口貞親, 大野俊	日本全国の病院における外国人看護師受け入れに関する調査 (第2報) - 病院および回答者の属性別分析 -	九州大学アジア総合政策センター紀要, 第3号, 59-65ページ, 2009年3月
川口貞親, 平野 (小原) 裕子, 大野俊	日本全国の病院における外国人看護師受け入れに関する調査 (第1報) - 結果の概要 -	九州大学アジア総合政策センター紀要, 第3号, 53-58ページ, 2009年3月
平野 (小原) 裕子	日本インドネシア経済連携協定のしくみ - 受け入れまでの流れと今後の展望	看護展望, 第33巻第9号, 36-41ページ, 2008年8月
平野 (小原) 裕子, 長友恵梨, 平木小百合	福岡市における在日コリアン高齢者の生活と福祉サービスの利用に関する調査	Sai, 第59巻, 4-9ページ, 2008年5月
Fujino N, Okamura H	Factors affecting the sense of burden felt by family members caring for mentally ill patients	Arch Psychiatr Nurs 23, 128-137
木原深雪, 大迫充江, 佐藤恵子, 島田亜紀子, 高野和夫, 佐藤るみ子, 宮本真巳	医療観察法指定入院医療機関における看護師の社会復帰支援に関する研究	精神科看護, 35(4), 2008年4月
木原深雪	薬物依存症デイケア施設の機能向上についての検討	KJ法研究第31号, 2008年11月

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
木原深雪, 小野木和昭, 丹山智博, 吉川知里, 高野和夫, 田川理恵, 佐藤るみ子, 宮本真巳	指定入院医療機関に入院した対象者の地域 自立支援に向けた連携の検討	精神科看護, 36(2), 2009年2月
前野有佳里, 馬場香織, 川口貞親, 平野(小原)裕子	日本へのフィリピン人看護師派遣の現実的 な可能性 –マニラにおける看護大学のヒ ヤリングから–	看護教育, 2008; 49(9): 834-840
橋本晶子, 長弘千恵, 宮園眞美, 前野有佳里, 木下由美子, 中尾久子	高血圧を伴う高齢者における入浴後の体位 の違いによる循環動態の変化の検討	日本循環器病予防学会誌 (1346-6267), 43 巻2号, Page139-146 (2008.10)

3. 総説・その他

【総説】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
城本弘子, 鳩野洋子	効果的な保健活動に必要な行政保健師を確 保するためのコツー第1回総論	公衆衛生情報, 2008; 38(9): 24-27
鳩野洋子, 中山貴美子, 金子仁子	地域保健活動の中長期ビジョ ン ー保健師活 動を伝えるために	地域保健, 2009; 40(1): 6-35
平野(小原)裕子	介護現場に新風も インドネシア看護師は “黒船”だ	月刊ケアマネジメント, 26-29ページ, 2008 年11月
平野(小原)裕子	なぜ日本で看護労働力不足が起こるかを踏 まえた上で、外国人看護師導入の是非を問 うべきだ	月刊新医療, 22-24ページ, 2008年12月
平野(小原)裕子	外国人看護師・介護福祉士の導入①経済連 携協定と国際労働力移動	文化連情報, 44-48ページ, 2008年12月
平野(小原)裕子	外国人看護師・介護福祉士の導入②インド ネシア人看護師はなぜ日本を目指すのか	文化連情報, 40-43ページ, 2009年1月
平野(小原)裕子	外国人看護師・介護福祉士の導入③受け入 れ側の声から	文化連情報, 34-37ページ, 2009年2月
平野(小原)裕子	外国人看護師、臨床現場に①なぜ今、海外 から看護師が来るのか	ナーシング・トゥデイ, 78-79ページ, 2009 年1月
平野(小原)裕子	外国人看護師、臨床現場に②インドネシア 人看護師受け入れに当たって留意すべきこ とは?	ナーシング・トゥデイ, 74-75ページ, 2009 年2月
山勢博彰, 立野淳子, 田代明子, 田戸朝美, 山勢善江, 大山太, 藤野成美	心肺蘇生処置中の家族の立ち会いに関する 現状および医療従事者の意識と家族の思い	財団法人 救急振興財団助成研究報告書, 2008.10.
藤野成美	担当部分: 統合失調症、慢性期の統合失調 症患者の看護	「プチナース3」, 照林社, 55-78
木原深雪, 小野木和昭, 丹山智博, 吉川知里, 高野和夫, 田川理恵, 佐藤るみ子, 宮本真巳	対象者の地域自立支援に向けた連携をめぐ る問題の明確化	平成19年度厚生労働科学研究補助金他害行 為を行った精神障害者の診断、治療及び社 会復帰支援に関する研究分担報告書分担研 究者宮本真巳2008年6月

【国内会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
鳩野洋子, 中山貴美子, 飯吉令枝	震災時における地区組織の役割とそれが発 揮されるための要件	日本地域看護学会, 2008.7
鳩野洋子, 家保, 尾島俊之, 佐藤, 瀬川香子, 野呂千鶴子, 山口佳子, 城本弘子	市町村保健師の確保方策に関する検討	日本公衆衛生学会, 2008.10

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
中山貴美子, 鳩野洋子, 飯吉令枝, 尾島俊之	地区組織における地震災害時対応支援ツール	日本公衆衛生学会, 2008.10
坂梨めぐみ, 鳩野洋子	男性にむけた介護予防モデル事業～男塾～を実施して	日本公衆衛生学会, 2008.10
尾島俊之, 原岡智子, 早坂信哉, 村田千代栄, 野田龍也, 船橋香緒里, 三輪真知子, 岩室紳也, 鳩野洋子, 福永一郎, 堀口逸子, 岡野谷純, 洙田靖夫	災害時の地区組織と外からのボランティアの協働	日本公衆衛生学会, 2008.10
嶋津多恵子, 鳩野洋子, 島田美喜, 八幡裕一郎	「5つの『食べる』で育てる、育つ」さいたま市食育推進計画 第一報 計画策定プロセス	日本公衆衛生学会, 2008.10
嶋津多恵子, 鳩野洋子, 島田美喜, 八幡裕一郎	「5つの『食べる』で育てる、育つ」さいたま市食育推進計画 第二報 野菜摂取との関連	日本公衆衛生学会, 2008.10
西山真弓, 鳩野洋子	相模原市における「骨粗しょう症予防事業」について	日本公衆衛生学会, 2008.10
岡本玲子, 小寺さやか, 岩本里織, 田中祐子, 草野恵美子, 鳩野洋子	保健師の学習意欲を高める方法に関する現任教員担当者の意見 - テキストマイニングツールを用いた分析 -	日本看護科学学会, 2008.12 (第28回日本看護科学学会学術集会講演集. 福岡市2008年12月 103)
原田広枝, 道面千恵子, 北原悦子, 長家智子, 末次典恵, 長弘千恵	中間看護管理者のキャリアの節目の経験～第1報	第28回日本看護科学学会, 2008年12月, 福岡
Hirano, O.Yuko	Socio-Epidemiological Study of Depression amongst Ethnic Korean Elderly in Japan	日本うつ病学会, 2008年7月26日
平野(小原)裕子	二国間経済連携協定に基づく外国人看護師の導入 - 受け入れ側及び送り出し側の調査から -	日本保健医療社会学会公開例会, 2008年9月27日
平野(小原)裕子	EPAスキームにおける看護師導入の可能性と課題 - フィリピン及びインドネシアにおける看護関係者へのインタビュー調査から -	日本移民政策学会, 2008年9月28日
平野(小原)裕子	A市B団地における在日コリアン高齢者の精神的健康に関連する要因	日本公衆衛生学会, 2008年11月5日
平野(小原)裕子	多文化共生社会日本の構築は可能か? - 経済連携協定に基づく外国人看護師・介護士の受入枠組検討を中心に -	多文化間精神医学会, 2009年3月28日
藤野成美, 岡村仁	統合失調症患者の家族介護者が抱える苦悩	日本看護研究学会, 2008.8
藤野成美, 山口扶弥, 岡村仁	長期入院統合失調症患者の苦悩評価尺度の作成とその信頼性・妥当性の検討	日本看護科学学会, 2008.12
脇崎裕子, 藤野成美, 福原百合, 深堀浩樹,	精神障害をもちながら老いを生きる高齢者の自己意識	日本看護科学学会, 2008.12
田戸朝美, 山勢博彰, 山勢善江, 大山太, 三上剛人, 立野淳子, 田代明子, 藤野成美, 山崎早苗, 園川雄二	心肺蘇生処置中の家族の立ち会いに関する現状および医療従事者の意識と家族の思い	日本救急看護学会, 2008.11
寺岡佐和, 小西美智子, 原田春美, 小野ミツ	園芸療法での活動が認知症高齢者にもたらす効果について	日本公衆衛生学会, 2008.11
原田春美, 小西美智子, 寺岡佐和	子育て不安の実態とソーシャルサポートの現状 - 第一報 -	日本公衆衛生学会, 2008.11
木村一絵	育児中の母親に対するレスパイトケアのニーズ	日本公衆衛生学会, 2008.11

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
前野有佳里	ミストサウナが生理・心理反応に及ぼす影響	日本公衆衛生学会, 2008.10
後藤智江, 松澤素子, 石井美栄, 岩永正彦, 前野有佳里	福岡市南区における乳幼児の生活リズム向上のための普及啓発事業について	日本公衆衛生学会, 2008.10
後藤智江, 葛原綾子, 石橋淳子, 向山知子, 徳永弥生, 井上尚子, 大久保典子, 松澤素子, 田代多恵子, 岩永正彦, 前野有佳里	乳幼児の生活リズム向上のための普及啓発事業報告	福岡県公衆衛生学会, 2008.4.24
宮園真美, 前野有佳里, 橋口暢子, 樗木晶子, 栃原裕	首下ドーム型サウナ使用時の生理・心理反応	第58回日本生理人類学会, 2008年6月7-8日
宮園真美, 前野有佳里, 橋口暢子, 樗木晶子, 栃原裕	首下ドーム型サウナ使用による高齢者の生理・心理反	第8回福岡県看護学会, 2008.11.15
宮園真美, 樗木晶子, 前野有佳里, 橋口暢子,	ドーム型サウナ使用による温熱療法の有用性の検討 ～看護の視点での活用～	第28回日本看護科学学会, 福岡市, 2008年12月13-14日

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
鳩野洋子	学部講義：5科目	地域看護概論講義（全60時間）、地域看護診断（30時間）、卒業研究（2時間）、疫学・保健統計（4時間）、地域看護Ⅱ実習
	大学院講義：2科目	ヘルスプロモーション支援論（15時間）、地域看護学演習
長弘千恵	学部講義：10教科	チーム医療、疫学・保健統計学、介護福祉論、在宅看護論、地域看護学概論、地域保健管理学、保健福祉概論、地域看護学実習Ⅰ、地域看護学実習Ⅱ、卒業研究
	大学院講義：5教科	教育相談支援論、地域高齢者支援論、地域看護学演習、看護学特別研究、地域看護学特論
平野（小原）裕子	大学院講義：4科目	「保健学研究論」「保健医療とIT」「国際社会と健康」「保健医療とソーシャル・サポート」
	大学全学教育：2科目	「少人数セミナー：健康と医療の社会学」「家族論」
	大学学部専門課程：3科目	「国際保健学」（1年生）「国際保健学」（4年生）「多文化と看護」
	非常勤講師：2科目	「医療人類学」（福岡大学医学部）「医療社会学」（福岡医健専門学校）
藤野成美	学部講義：4教科	こころの病気（30時間）、こころの看護（30時間）、地域精神保健学（15時間）、精神看護学実習（90時間）
寺岡佐和	学部講義：5教科	在宅看護概論（30時間）、個人と家族のケア（28時間）、産業看護論（11時間）、学校保健論（9時間）、地域看護学概論（10時間：前期8・後期2）
	学部実習	地域看護学実習Ⅰ
	非常勤講師：	広島大学医学部保健学科
木村一絵	学部講義：5教科	地域看護学実習Ⅰ・Ⅱ（225時間）、在宅看護論（60時間）、地域保健管理学（30時間）、生活援助技術（4時間）
木原深雪	学部実習	基礎看護学実習・演習、精神看護学実習における学生指導

教 員	講 義	資料・備考
前野有佳里	学部講義：2教科	在宅看護論、卒業研究
	学部実習：1科目	地域看護学Ⅱ実習（135時間）

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
鳩野洋子	虐待予防に着目した質問票の作成－	20年度卒業研究 須河内貴子
	地域の在宅療養者の在宅死に向けた在宅療養に影響する要因の検討－訪問看護師の家族支援を中心に	20年度卒業研究（木村助教との共同） 池本恵美
	双子の一方に障害をもつ母親の養育の困難さ	20年度卒業研究 橋本京子
	独居高齢者の心理的特性についての文献検討	20年度卒業研究 近藤好恵
	地域で暮らす精神障害者にとっての社会復帰施設通所の意義	20年度卒業研究（前野准助教との共同） 藤井郁美
長弘千恵	昭和40～50年代における保健師活動の変遷	20年度卒業研究 鍋田枝里
	Health Belief Modelを用いた禁煙行動の検討	20年度卒業研究 野上知美（B4）
平野（小原）裕子	共依存者に対する看護職による支援の一考察	20年度卒業研究（木原助教との共同指導） 塘聡美
	ハンセン氏病とともに生きるA氏のSOC（首尾一貫感覚）形成過程に関する一考察	20年度卒業研究 渡辺恵利
	タイ国におけるHIV感染患者の精神的ケアに関する研究	20年度卒業研究 渡邊智子
	インドネシア人看護師受け入れについて－EPAの課題と改善点	20年度卒業研究 山口もも
藤野成美	統合失調症患者における音楽療法－合奏活動の効果－	20年度卒業研究 嘉藤沙耶香
	大学生のストレスと対処行動に関する文献検討	20年度卒業研究 成松 慧
	不妊治療中に抑うつ状態となった女性への精神的サポート体制	20年度卒業研究 平野愛結
	精神科入院患者における家族の受け入れの困難さについての検討	20年度卒業研究 山口朋美
寺岡佐和	一般病棟におけるがん性疼痛看護の課題について －一般病棟看護師と認定看護師の立場から－	20年度卒業研究 麻生沙耶佳
	学校保健と地域保健の連携について －養護教諭と保健師の立場から－	20年度卒業研究 荒木千春
	保健室登校生徒の教室復帰に向けた支援のプロセスに関する文献検討 －中学校の保健室登校に焦点をあてて－	20年度卒業研究 田中早季
	職場での問診票を用いたうつ病スクリーニングの検討	20年度卒業研究 宮川たまみ
木村一絵	高齢の在宅療養者の在宅死に向けた在宅療養に影響する要因の検討 －訪問看護師の家族支援を中心に－	20年度卒業研究 池本恵美
木原深雪	共依存者に対する看護職による支援の一考察	20年度卒業研究 塘聡美
前野有佳里	地域で暮らす精神障害者にとっての社会復帰施設通所の意義 －地域活動支援センター通所者へのインタビューを通して－	20年度卒業研究 藤井郁美

7. 社会貢献

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
鳩野洋子	講演 2008/5/29 福岡県国民健康保険組合連合会主催研修会	福岡県国民健康保険組合連合会主催の市町村保健師及び保健分野課長を対象にした研修会において、市町村保健師の確保方策に関して講演を行った。
	パネルディスカッション進行・助言 2008/7/12 福岡県看護協会保健師職能集会	「特定保健指導における保健師の役割」をテーマにしたパネルディスカッションにおいて、進行・助言を行った。
	講演 2008/8/27 厚生労働省主催全国保健師 研修会	秋田県で実施された、全国保健師長会主催、厚生労働省が後援の研修会において「保健師確保方策におけるリーダーの役割」のテーマで講演した。
	講演 2008/9/4 九州ブロック保健師等研修会	鹿児島県で開催された研修会において、「保健師の専門性とは」というテーマのグループワークのファシリテート及び助言を行った。
	講演 2008/11/18 福岡市保健師協議会	福岡市の保健師協議会主宰の保健師を対象にした研修会において、「これからの保健師活動」のテーマで講演を行った。
	講演 2008/11/29 福岡県保健師協議会	福岡県の保健師協議会主催の保健師を対象にした研修会において、「県保健師に期待するもの」のテーマで講演を行った。
	総会運営参加 2008/11/4 日本保健師教育機関協議会	日本保健師教育機関協議会の総会の運営にたずさわった。
	日本公衆衛生学会学術集会	「ヘルスプロモーション」の1セッションの座長を行った。
	2008/7/5 日本地域看護学会学術集会	「行政保健」の1セッションの座長を行った。実行委員として、受付を担当した。
	日本看護科学学会学術集会 平成20年4月～平成21年3月	8編の演題の査読を行った。
	日本看護科学学会学術集会 交流集会の運営 2008年12月13日～12月14日	「ポートフォリオを用いた専門職の学習支援ー保健師教育への活用例より」のテーマの交流集会の企画、及び当日の司会を行った。
	日本地域看護学会 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の編集委員として、査読、編集に携わった。
	聖路加看護学会 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の編集委員として、査読、編集に携わった。
	日本公衆衛生学会査読委員 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の査読委員として、査読を行った。
	日本看護科学学会 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の査読委員として、査読を行った。
	日本地域看護学会 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の評議員として、評議委員会に参加した。
	日本公衆衛生学会 平成20年4月～平成21年3月	標記学会の評議員として、評議委員会に参加した。
	福岡市保健福祉審議会 平成21年1月～平成21年3月	
	保健師CPD研究会 平成20年4月～平成21年3月	現場保健師を対象とした勉強会の運営の一端を担った。2月14日には九州大学コラボセンターで、勉強会を開催した。
	月刊地域保健ホームページ記事連載 平成20年4月～平成21年5月	「地域看護研究者の雑感」のタイトルで、地域看護研究者の日常や現場との連携のありよう等のエッセイを執筆した。全10回であり、8回、9回、10回分が本年度に掲載された。
日本地域看護学会 第11回学術集会	実行委員 2008年7月5日～6日	

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
長弘千恵	平成20年度 第67回日本公衆衛生学会	実行委員 2008年2月～2009年3月
	平成20年度 第28回日本看護科学学会	実行委員 2008年12月13日～14日
	平成18年 聖マリア学院紀要	査読委員
	平成20年度 福岡県実習連絡協議会	事務局責任者として企画、運営をおこなった
	平成20年度 全国保健師教育機関協議会総会	事務局任者として企画、運営をおこなった
平野（小原）裕子	第10回日本健康支援学会学術集会を開催した	事務局 平成20年度4月から現在に至る
	TV出演 NHK World 'What's on Japan'	2008年12月13日
	新聞記事 朝日新聞、看護に外国人・戸惑う現場	2008年4月4日
	新聞記事 朝日新聞、フィリピン人看護師、介護福祉士・応募殺到でも需要低調	2009年2月26日
	新聞記事 朝日新聞、外国人の介護・看護研修どう見る	2009年3月20日
藤野成美	日本精神科看護技術協会	「平成20年度身体合併症トピックス研修会」講師 2008.12.20
	第28回日本看護科学学会	実行委員 2008.12.13～12.14
	第35回日本看護診断会	実行委員 平成20年度4月から現在に至る
寺岡佐和	福岡県地域看護実習連絡協議会	事務局 平成20年4月～21年3月
木村一絵	全国保健師協議会	事務補助、会場準備・運営・片付け、報告書作成等
	福岡県大学協議会	事務補助、会場準備・運営・片付け、報告書作成等
木原深雪	矯正施設における再犯防止教育、各種自助グループ活動への支援	平成20年10月から現在に至る
	国家公務員共済組合連合会千早病院、国立精神・神経センター病院臨床看護師の研究活動に対するコンサルテーション)	平成20年4月から現在に至る
前野有佳里	福祉サービスに関する苦情解決第三者委員(社会福祉法人福岡あけぼの会)	平成20年1月1日から現在に至る
	平成20年度 南区子どもの生活リズムアンケート調査報告書	調査結果分析を行った
	講演 福岡市医師会包括支援センター研修会	平成21年1月 福岡市医師会の包括支援センターケアマネージャーを対象に「情報処理・コンプライアンス研修」の講演を行った
	福祉サービスに関する苦情解決第3者委員(社会福祉法人福岡あけぼの会)	平成20年4月から現在に至る
	平成20年度 全国保健師教育協議会総会	事務局の補助業務を担当
	平成20年度 福岡県実習連絡協議会	事務局の補助業務を担当
	第6回九州大学医学部保健学科公開講座	担当：骨密度測定、会場準備、案内

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
鳩野洋子（分担）	厚生労働科学研究費補助金，平成20年4月～平成22年3月，分担研究者，「特定健診保健指導のアウトソーシング先に対する「保健指導の質の評価ガイド」を利用した質の管理・促進に関する研究
	文部科学研究費補助金，基盤研究(B)，平成20年4月～平成22年3月，「大学院教育を地域貢献に活かす保健師等のコンピテンシー開発」
	厚生労働科学研究費補助金，健康安全・危機管理対策総合研究事業，平成19年4月～平成21年3月，究者7名分担研究者，「地域における健康危機管理におけるボランティア等による支援体制に関する研究」
	平成20年4月～平成23年3月，「保健師等の地域保健従事者の地域住宅からの暴力等に対する危機管理のあり方に関する研究」

教 員	資 料 ・ 備 考
平野（小原）裕子（代表）	平成18年4月～平成21年3月（主任研究者）、「携帯電話を用いた妊娠婦のための健康情報コンテンツの構築と評価に関する研究」 平成19年4月～平成22年3月（分担研究者）、「日本の労働市場開放をめぐる国際社会学的研究－介護・看護分野を中心に－」
藤野成美（分担）	日本精神科看護技術協会助成研究 平成19年4月～平成20年3月、「精神障害を有する長期入院高齢者の老いに関する研究」
寺岡佐和（代表）	文部科学省科学研究費補助金・若手研究(B)，平成17年度～20年度，老人保健施設における痴呆高齢者に対するDT活動としての園芸療法の効果と評価の研究
木村一絵（代表）	平成20年度女性研究者支援プログラム，出産・育児期特別研究費，助成
前野有佳里（分担）	文部科学省科学研究費補助金・萌芽研究，平成20年度～22年度，萌芽研究，分担，植込み型除細動器患者に対する生活の質の向上をめざした看護ケアモデルの開発

3 - 2. 教員の活動（医用量子線科学分野）

医用量子線科学分野

《医用放射線学》

1. 著書

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Kosaka T, <u>Kosaka K</u>	olfactory bulb anatomy.	In:Larry Squire (Ed.) Encyclopedia of Neuroscience, Elsevier, Amsterdam. V7 pp59-69 Oxford academic press
編者：日本核医学会核医学イメージングガイドライン作成委員会 分担執筆： <u>佐々木雅之</u>	担当部分：Ⅷ. 腫瘍	核医学診断ガイドライン 2008 - 核医学診断に関する核医学専門医による提言・勧告 p96-104, 日本核医学会, 東京, 平成20年5月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 A. 核医学とは	核医学検査技術学, 第二版, p2, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 B. 核医学の歴史	核医学検査技術学, 第二版, p3-5, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>桜木允雄</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 C. 放射線物理学	核医学検査技術学, 第二版, p6-14, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>桜木允雄</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 D. 統計学	核医学検査技術学, 第二版, p15-20, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>桜木允雄</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 D. 放射線計測	核医学検査技術学, 第二版, p21-33, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>氷室和彦</u> , <u>桜木允雄</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第1章 核医学の基礎知識 F. 安全管理	核医学検査技術学, 第二版, p34-48, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>林和孝</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第2章 放射性医薬品	核医学検査技術学, 第二版, p49-70, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>大屋信義</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第3章 核医学装置と技術 A. 核医学装置	核医学検査技術学, 第二版, p72-96, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>大屋信義</u> , <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄	担当部分：第3章 核医学装置と技術 B. 撮像原理と画像処理	核医学検査技術学, 第二版, p97-146, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>大屋信義</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第3章 核医学装置と技術 C. 性能評価と保守管理	核医学検査技術学, 第二版, p147-186, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄	担当部分：第4章 インビボ検査各論 E. 消化器	核医学検査技術学, 第二版, p269-284, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>古賀博文</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第4章 インビボ検査各論 G. 骨・関節	核医学検査技術学, 第二版, p293-302, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>古賀博文</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第4章 インビボ検査各論 H. 血液・造血器	核医学検査技術学, 第二版, p303-317, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>馬場真吾</u> , <u>古賀博文</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第4章 インビボ検査各論 I. 腫瘍・炎症	核医学検査技術学, 第二版, p318-337, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者： <u>佐々木雅之</u> , 桑原康雄 分担執筆： <u>山口育子</u> , <u>佐々木雅之</u>	担当部分：第5章 インビトロ検査	核医学検査技術学, 第二版, p339-360, 南山堂, 東京, 平成20年9月

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
編者：佐々木雅之, 桑原康雄 分担執筆：馬場真吾, 古賀博文, 佐々木雅之	担当部分：第6章 核医学治療	核医学検査技術学, 第二版, p361-370, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者：佐々木雅之, 桑原康雄 分担執筆：光元達哉, 佐々木雅之	担当部分：付表	核医学検査技術学, 第二版, p371-397, 南山堂, 東京, 平成20年9月
編者：デジタルメディスン PET Link!編集部 分担執筆：佐々木雅之	担当部分：第Ⅲ章 臨床の立場から 15. 悪性リンパ腫診療におけるPET/CTの 有用性	PET/CT Book PET・PET/CTをもっと 臨床で使いこなす p167-170, DEGITAL MEDICINE, 東京, 平成20年12月
坂井修二	Common Diseaseをおさえる 胸部画像診 断ベスト65 ■基本所見とvariation■ 担当部分「多発筋炎・皮膚筋炎」「シェー グレン症候群、全身性強皮症、全身性エリ テマトーデス」	編者：高橋雅士 メジカルビュー社 2008 年

2. 原著論文

【国外雑誌】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Kosaka T, Komada M, Kosaka K.	Sodium channel cluster, betaIV-spectrin and ankyrinG positive “hot spots” on dendritic segments of parvalbumin- containing neurons and some other neurons in the mouse and rat main olfactory bulbs.	Neurosci Res. 62 : 176-86, 2008.11
Abe K, Baba S, Kaneko K, Isoda T, Yabuuchi H, Sasaki M, Sakai S, Yoshino I, Honda H.	Diagnostic and prognostic values of FDG-PET in patients with non-small cell lung cancer.	Clin Imaging. 33(2) : 90-95, 2009
Kamitani T, Yabuuchi H, Soeda H, Matsuo Y, Okafuji T, Setoguchi T, Sakai S, Hatakenaka M, Ishii N, Honda H.	Optimal gradation processing parameter for soft-copy reading of digital mammogram:Comparison between the parameter recommended for hard-copy and other parameters.	Eu J Radiol. 2008 ; 66 : 309-12.
Yabuuchi H, Matsuo Y, Okafuji T, Kamitani T, Soeda H, Setoguchi T, Sakai S, Hatakenaka M, Kubo M, Sadanaga N, Yamamoto H, Honda H.	Enhanced mass on contrast-enhanced breast MR imaging:Lesion characterization using combination of dynamic contrast-enhanced and diffusion-weighted MR images.	J Magn Reson Imaging. 2008 ; 28 : 1157- 1165.
Mawatari T, Miura H, Hamai S, Shuto T, Nakashima Y, Okazaki K, Kinukawa N, Sakai S, Hoffmann PF, Iwamoto Y, Keaveny TM.	Vertebral strength changes in rheumatoid arthritis patients treated with alendronate, as assessed by finite element analysis of clinical computed tomography scans:A prospective randomized clinical trial.	Arthritis Rheum. 2008 ; 58 : 3340-3349.
Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Okafuji T, Soeda H, Sakai S, Hatakenaka M, Nakashima T, Oda Y, Honda H.	Parotid Gland Tumors: Can Addition of Diffusion-weighted MR Imaging to Dynamic Contrast-enhanced MR Imaging Improve Diagnostic Accuracy in Characterization ? Radiology. 2008 De	Radiology. 2008 ; 249 : 909-16.
Okafuji T, Yabuuchi H, Soeda H, Matsuo Y, Kamitani T, Sakai S, Hatakenaka M, Kuroki S, Tokunaga E, Yamamoto H, Honda H.	Circumscribed Mass Lesions on Mammography: Dynamic Contrast- Enhanced MR Imaging to Differentiate Malignancy and Benignancy.	Magn Reson Med Sci. 2008 ; 7 : 195-204.

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Takayama Y, Yabuuchi H, Matsuo Y, Soeda H, Okafuji T, Kamitani T, Kinoshita Y, Kubokura N, Sakai S, Oda Y, Hatakenaka M, Honda H.	Computed tomographic and magnetic resonance features of inflammatory myofibroblastic tumor of the lung in children.	Radiat Med. 2008 ; 26 : 613-617.
Matsumoto K, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Sakai S, Hatakenaka M, Suminoe A, Yoshino I, Tsuneyoshi M, Honda H.	Nonspecific interstitial pneumonia after peripheral blood stem cell transplantation in an 11-year-old boy.	J Thorac Imaging. 2009 ; 24 : 59-61.
Hiwasa T, Morishita J, Hatanaka S, Higashida Y, Ohki M, Toyofuku F	Need for liquid-crystal display monitors having the capability of rendering higher than 8 bits in display-bit depth	Radiological Physics and Technology, Vol.2 No.1, pp.104-111, 2009.
Yamashita K, Yoshiura T, Arimura H, Yamashita Y, Mihara F, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, Kumazawa S, Higashida Y, Honda.H.	Performance evaluation of radiologists with artificial neural network for differential diagnosis of intra-axial cerebral tumors on MR images	American Journal Neuroradiology, 29 [6],1153-1158, 2008.4.
Kumazawa S, Muramatsu C, Li Q, Li F, Shiraishi J, Caligiuri P, Schmidt R.A, MacMahon H, Doi K	An investigation of radiologists' perception of lesion similarity: Observations with paired breast masses on mammograms and paired lung nodules on CT images,	Academic Radiology, 15 : 887-894, 2008.7
Yoshiura T, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, Nakao T, Nagao E, Kumazawa S, Arimura H, Honda H.	Age-Related Microstructural Changes in Subcortical White Matter During Postadolescent Periods in Men Revealed by Diffusion-Weighted MR Imaging	Human Brain Mapping, 2009, in press

3. 総説・その他

【総説】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
東田善治, 井手口忠光, 大喜雅文, 奥迫謙治, 藤田広志, 水室和彦, 吉田彰, 松本政雄	平成14、15年度学術調査研究班報告 デジタル画像検出システムの画像特性に関する研究班	日本放射線技術学会雑誌 (投稿中)
藪内英剛, 神谷武志, 松尾芳雄, 瀬戸口太郎, 坂井修二, 畠中正光, 本田浩	検診マンモグラフィ読影におけるCAD, 遠隔診断の有用性の検討	医用画像情報学会雑誌, 2008 ; 25 : 1-4
藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 畠中正光, 吉満研吾, 本田浩, 坂井修二, 古屋暁生	領域別に見る64列MDCTの検査と診断 胸部領域 胸部領域における造影64列MDCTの有用性	INNERVISION, 2008 ; 23 : 60-63
坂井修二, 藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎	【胸部画像診断の進歩とピットフォール】 胸部単純X線撮影	日本胸部臨床, 2008 ; 67 : 633-642
藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 坂井修二, 畠中正光, 本田浩	【膠原病の画像診断update】 膠原病肺	画像診断 ; 28 : 1175-1185

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
坂井修二	【呼吸器疾患の臨床検査 up to date】 デジタル胸部単純撮影とコンピュータ支援診断	日本胸部臨床, 2008 ; 67 : S110-S114
坂井修二	胸部単純X線撮影におけるコンピュータ支援診断の臨床実用 (解説/抄録あり)	肺癌, 2008 ; 48 : 741-746
坂井修二	胸部単純X線撮影におけるコンピュータ支援診断の現況	映像情報Medical, 2009 ; 41 : 175-179
坂井修二	モノクログラフ 急性肺塞栓症の画像診断	日本医事新報, 2009 ; 4424 : 53-56
馬場眞吾, 阿部光一郎, 金子恒一郎, 田邊祥孝, 佐々木雅之	特集: 消化器がんにおけるPET診断update 3. 各臓器・疾患におけるPET診断の意義 (6)悪性リンパ腫	臨床消化器内科, 24(3) : 347-353, 2009
坂本肇, 穴戸博紀, 藤原康博, 船橋正夫, 杜下淳次	新春座談会 放射線技術の10年後を語る	日本放射線技術学会雑誌, Vol.65 No.1, P1-P14, 2009.
杜下淳次	これからの病院の方向性と今私たちがすべきこと「医療技術に貢献する学生を育てるために: 変えれば変わる」	日本放射線技術学会雑誌, Vol.65 No.3, P357-P359, 2009.

【国際会議論文】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Arimura H, Yoshiura T, Kumazawa S, Mihara F, Honda H, Tanaka K, Koga H, Sakai S, Toyofuku F, Higashida Y	Computerized method for classification of patients with Alzheimer's disease based on segmentation of cerebral cortical regions including hippocampal regions	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Vol.3(Suppl 1), S201-202, 2008.7.
Morishita J, Hiwasa T, Katsuragawa S, Sasaki Y, Sukenobu Y, Doi K	Development of an automated search method to find lost images in PACS environment by use of biological fingerprints and image-matching technique	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery(CARS), Vol.3(Suppl 1), S150-151, 2008.
Morishita J, Hiwasa T, Katsuragawa S, Sasaki Y, Sukenobu Y, Doi K	Development of a search method to find lost chest radiographs in PACS server	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p.2992, 2008.
Hatanaka S, Morishita J, Higashida Y, Hiwasa T	Comparison of viewing angle performance and observer performance of different types of liquid crystal displays	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p.2655, 2008.
Hiwasa T, Morishita J, Higashida Y, Hatanaka S	Need for liquid crystal displays having the capability of rendering higher than 8 bits in grayscale	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p.2654, 2008.
Morishita J, Hiwasa T, Katsuragawa S, Sasaki Y, Sukenobu Y, Doi K	A solution to find lost chest radiograph in PACS server	ECR2009, European Radiology, Vol.19, Supplement 1, p184, 2009.
Nomoto S, Shioyama Y, Ohga S, Nonoshita T, Ohnishi K, Atsumi K, Terashima K, Nakashima T, Nakamura K, Hirata H, Hiroshi Honda	Preliminary Results of Radiation Therapy for Locally Advanced or Recurrent Adenoid Cystic Carcinomas of the Head and Neck using Combined Conventional Radiation Therapy and Hypofractionated Inverse Planned Stereotactic Radiation Therapy	FUKUOKA ACTA MEDICA 100(2) : 59-66, 2009

4. 学会発表

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
小坂克子, 小坂俊夫	マウス嗅球におけるparvalbumin陽性ニューロン樹状突起にパッチ状に分布する軸索初節部様hot spots	第114回日本解剖学会総会・全国学術集会(JAA) 2009年3月 岡山
小坂俊夫, 小坂克子	嗅覚一次中枢嗅球における情報処理の構造的基盤解明	特定領域研究, 統合脳, 班会議, 領域3 神経回路機能, 2008年8月, 札幌
小坂俊夫, 小坂克子	嗅覚一次中枢嗅球における情報処理の構造的基盤解明	特定領域研究, 統合脳, 班会議, 領域3 神経回路機能, 2008年12月, 東京
佐々木雅之	初心者・卒後研修医コース「消化器・泌尿器の核医学検査」	第8回日本核医学会春季大会, 平成20年5月9-11(10)日, 東京都江戸川区
佐々木雅之	核医学専門医受験者・核医学指導者コース「消化器・泌尿器核医学の基礎と臨床」	第8回日本核医学会春季大会, 平成20年5月9-11(10)日, 東京都江戸川区
Abe K, Baba S, Kaneko K, Isoda T, Sasaki M, Honda H	The impact of FDG-PET on the diagnosis of extranodal lymphoma.	55th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine June 14-18, 2008 New Orleans
Baba S, Abe K, Kaneko K, Isoda T, Sasaki M, Honda H	Clinical significance of abdominal/pelvic PET/CT findings for staging with head and neck malignancies.	55th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine June 14-18, 2008 New Orleans
Kaneko K, Abe K, Baba S, Isoda T, Sasaki M, Honda H	The usefulness of FDG-PET/CT evaluation for residual lymph node metastasis in patients with differentiated carcinoma on radioiodine therapy.	55th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine June 14-18, 2008 New Orleans
Isoda T, Abe K, Baba S, Kaneko K, Nishihara Y, Sasaki M, Honda H	Analysis of FDG-PET potential for detecting lymph node metastasis in the patients with esophageal cancer and comparison of FDG-PET results together with pathological features	55th Annual Meeting, Society of Nuclear Medicine June 14-18, 2008 New Orleans
米澤政人, 阿部光一郎, 馬場真吾, 金子恒一郎, 磯田拓郎, 佐々木雅之, 白日高歩, 本田浩	ヨード治療が奏功した甲状腺癌ホルモン産生性転移の一例	第167回日本医学放射線学会九州地方会, 平成20年6月21-22日, 北九州市
佐々木雅之	シンポジウム I 「悪性リンパ腫の診断と治療ー核医学の役割ー」 2. 悪性リンパ腫の診断 (FDG-PETを中心に)	第48回日本核医学会総会, 平成20年10月24-26日, 千葉市
光元達哉, 杜下淳次, 佐々木雅之, 阿部光一郎, 大屋信義	発症年齢別アルツハイマー型認知症の脳血流SPECTによる診断(2): 脳血流直線化補正効果の検討	第64回日本放射線技術学会総会学術大会, 平成20年4月4-6日, 横浜市
阿部光一郎, 馬場真吾, 金子恒一郎, 磯田拓郎, 藪内英剛, 佐々木雅之, 本田浩	頭頸部癌の診断、予後評価におけるFDG-PETの意義	第67回日本医学放射線学会学術集会, 平成20年4月4-6日, 横浜市
光元達哉, 杜下淳次, 佐々木雅之, 阿部光一郎, 大屋信義	発症年齢別アルツハイマー型認知症の脳血流SPECTによる診断(1): 統計画像解析と自動診断を用いた検討	第64回日本放射線技術学会総会学術大会, 平成20年4月4-6日, 横浜市
光元達哉, 坂口裕一, 大屋信義, 氷室和彦, 川上泰史, 玉村直之, 佐々木雅之	呼吸同期PET/CTによる定量性改善の検討	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成20年11月1-2日, 宮崎市
坂口裕一, 光元達哉, 大屋信義, 氷室和彦, 川上泰史, 玉村直之, 佐々木雅之	PET/CT再構成画像にCTデータが与える影響～呼吸移動ファントムを用いた検討～	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成20年11月1-2日, 宮崎市
馬場真吾, 阿部光一郎, 金子恒一郎, 田邊祥孝, 佐々木雅之, 本田浩	舌癌FDG-PET/CT検査での開口位撮像の有用性について	第44回日本核医学会九州地方会, 平成21年2月14日, 佐賀市

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
阿部光一郎, 馬場眞吾, 金子恒一郎, 田邊祥孝, 氷室和彦, 佐々木雅之, 本田浩	深吸気息止め下PET/CTにおけるSUVmax 値の解析	第44回日本核医学会九州地方会, 平成21年 2月14日, 佐賀市
田邊祥孝, 阿部光一郎, 馬場眞吾, 金子恒一郎, 佐々木雅之, 本田浩	FDG-PETが診断に有用であった甲状腺癌 に合併した肺癌の一例	第44回日本核医学会九州地方会, 平成21年 2月14日, 佐賀市
磯田拓郎, 阿部光一郎, 馬場眞吾, 金子恒一郎, 佐々木雅之, 本田浩	FDG-PET食道癌リンパ節転移の診断能	第48回日本核医学会総会, 平成20年10月24- 26日, 千葉市
金子恒一郎, 阿部光一郎, 馬場眞吾, 磯田拓郎, 佐々木雅之, 本田浩	FDG-PETを用いた甲状腺癌ヨード治療患 者における残存リンパ節病変の検出	第48回日本核医学会総会, 平成20年10月24- 26日, 千葉市
馬場眞吾, 阿部光一郎, 金子恒一郎, 磯田拓郎, 佐々木雅之, 本田浩	頭頸部悪性腫瘍の初回病期診断、再発診断 における腹部骨盤領域のPET/CT所見の 臨床的意義	第48回日本核医学会総会, 平成20年10月24- 26日, 千葉市
溝口範子, 泉川明日香, 亀田卓典, 大屋信義, 氷室和彦, 光元達哉, 坂口裕一, 佐々木雅之	PET/CTにおける部分容積効果の評価お よび補正法の検討	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1-2日, 宮崎市
泉川明日香, 亀田卓典, 溝口範子, 大屋信義, 光元達哉, 坂口裕一, 佐々木雅之	PET/CTにおける呼吸性移動による集積 低下の検討	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1-2日, 宮崎市
亀田卓典, 泉川明日香, 溝口範子, 大屋信義, 光元達哉, 坂口裕一, 川上泰史, 玉村直之, 佐々木雅之	呼吸性移動がPET/CTにおける自動輪郭 抽出におよぼす影響	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1-2日, 宮崎市
田中延和, 中健太郎, 畠中央朗, 日和佐剛, 杜下淳次, 東田善治	汎用ディスプレイを利用したGSDF表示の 有用性に関する研究	第36回日本放射線技術学会秋季学術大会, 平成20年10月23(木)-25(土), 軽井沢町
田中延和, 中健太郎, 東田善治, 熊澤誠志	拡大デジタルマンモグラフィの研究	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1(土)-2(日), 宮崎市
田中延和, 中健太郎, 松本政雄, 東田善治	小拡大デジタルマンモグラフィの画像特性	厚生労働省がん研究助成金による「乳がん 検診の精度及び効率の向上に関する研究」, 平成20年度2回班会議, 平成20年11月5 (水), 東京
田中延和, 中健太郎, 東田善治, 熊澤誠志	拡大デジタルマンモグラフィの研究	第18回日本乳癌検学会総会, 平成20年12月 5(金)~6(土), 名古屋市
中健太郎, 田中延和, 東田善治, 熊澤誠志, 豊福不可依, 大喜雅文, 杜下淳次, 有村秀孝, 畔柳弘之	デジタルシステムにおける最適撮影法の 研究ー最適グリッドの適応研究ー	第36回日本放射線技術学会秋季学術大会, 平成20年10月23(木)-25(土), 軽井沢町
中健太郎, 田中延和, 東田善治, 熊澤誠志	デジタルシステムにおける最適グリッド 選択の指標の検討	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1(土)-2(日), 宮崎市
末岡正輝, 杜下淳次, 日和佐剛, 畠中央朗, 田中延和, 中健太郎	液晶ディスプレイの最高輝度が検出能に及 ぼす影響	第64回日本放射線技術学会総会学術大会, 平成20年4月4(金)-6(土), 横浜市
川本光紗, 森永由紀江, 田中延和, 中健太郎, 東田善治, 熊澤誠志, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における低コントラスト物質の検出 ーシャウカステンの輝度と検出能ー	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1(土)-2(日), 宮崎市
森永由紀江, 川本光紗, 田中延和, 中健太郎, 東田善治, 熊澤誠志, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における模擬石灰化や腫瘍の検出能 ー部屋の明るさと周辺光の影響ー	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1(土)-2(日), 宮崎市
甘舛慎史, 中健太郎, 田中延和, 豊福不可依, 東田善治	デジタルX線画像の物理特性に対する線 質の影響	第3回九州放射線医療技術学術大会, 平成 20年11月1(土)-2(日), 宮崎市

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
川本光紗, 森永由紀江, 東田善治, 田中延和, 中健太郎, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における低コントラスト物質の検出 ーシャウカステンの輝度と検出能ー	第18回日本乳癌検学会総会, 平成20年12月 5(金)-6(土), 名古屋市
森永由紀江, 川本光紗, 東田善治, 田中延和, 中健太郎, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における模擬石灰化や腫瘍の検出能 ー部屋の明るさと周辺光の影響ー	第18回日本乳癌検学会総会, 平成20年12月 5(金)-6(土), 名古屋市
田中延和, 中健太郎, 東田善治, 熊澤誠志	拡大デジタルマンモグラフィの研究	第3回九州放射線医療技術学術大会
川本光紗, 森永由紀江, 東田善治, 熊澤誠志, 田中延和, 中健太郎, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における低コントラスト物質の検出 ーシャウカステンの輝度と検出能ー	第3回九州放射線医療技術学術大会
森永由紀江, 川本光紗, 東田善治, 熊澤誠志, 田中延和, 中健太郎, 田中勇, 畑田俊和	乳房画像における模擬石灰化や腫瘍の検出能 ー部屋の明るさと周辺光の影響ー	第3回九州放射線医療技術学術大会
中健太郎, 田中延和, 東田善治, 熊澤誠志, 畔柳宏之	デジタルシステムにおける最適グリッド 選択の指標の検討	第3回九州放射線医療技術学術大会
中健太郎, 田中延和, 熊澤誠志, 豊福不可依, 大喜雅文, 杜下淳次, 有村秀孝, 畔柳宏之	デジタルシステムにおける最適撮影法の 研究 ー最適グリッドの適用研究ー	第36回日本放射線技術学会秋季学術大会
坂井修二	教育講演 知っておくと便利な感染症の画像診断; 肺 寄生虫症の画像診断	第67回日本医学放射線学会総会, 2008年4 月4-6日, 横浜市
坂井修二	シンポジウム1『呼吸器疾患の画像診断』 肺癌の画像診断: 各種検査機器の有効各様 と将来性	第61回日本呼吸器学会・日本結核病学会九 州支部秋季学術講演会, 2008年11月6-7 日, 宜野湾市
太田知世, 張鉄橋, 矢ヶ部真理, 利根裕史, 畔柳宏之, 輿石知宏, 坂井修二	1 Shot Phantomを用いたデジタルマンモ グラフィの品質管理: FCRとREGIUS での使用経験	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008 年11月1-2日, 宮崎市
張鉄橋, 太田知世, 矢加部真理, 利根裕史, 輿石知宏, 畔柳宏之, 杜下淳次, 坂井修二	乳腺撮影用computed radiography (CR) イメージングプレート3種の物理特性の比 較	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008 年11月1-2日, 宮崎市
利根裕史, 東純平, 矢ヶ部真理, 太田知世, 張鉄橋, 増田雅史, 輿石知宏, 坂井修二	Computed Radiography (CR) による臥 位ポータブル撮影での両側性胸水の検出	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008 年11月1-2日, 宮崎市
矢ヶ部真理, 坂井修二, 藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 長真由美, 増田雅史	Computed radiographyによるマンモグラ フィの低線量撮影における模擬石灰化診断 能への影響	第18回日本乳癌画像研究会, 平成21年2月 7日-8日, 長崎市
坂井修二, 藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 高山浩一, 前山隆茂, 本田浩	間質性肺炎合併肺癌: 経過観察CTによる 初期像の検討	第48回日本肺癌学会九州支部会, 2008年7 月19日, 別府市
坂井修二, 藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 本田浩, 高山浩一, 前山隆茂	間質性肺炎合併肺癌: 初期CT像と倍加時間	第49回日本肺癌学会総会, 2008年11月14日, 北九州市
轟木渉, 藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 畠中正光, 本田浩, 坂井修二, 小川栄一, 居石克夫	両肺に多発結節、コンソリデーションを示 したAIDS合併Kaposi肉腫の1例	第22回胸部放射線研究会, 2008年10月23日, 郡山市
権藤寿喜, 千葉貴仁, 内博史, 高原正和, 師井洋一, 古江増隆, 吉武忠正, 藪内英剛, 坂井修二, 本田浩	大腿部外傷瘢痕に生じた巨大有棘細胞癌の 1例	第24回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会, 2008年7月4-5日, 岐阜市

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
菊地一史, 松尾芳雄, 藪内英剛, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 末次彩子, 高山浩一, 坂井修二, 小田義直	縦隔浸潤、多発骨転移を伴った肺炎症性筋線維芽細胞腫の1例	第167回日本医学放射線学会九州地方会, 2008年6月21-22日, 北九州市
松尾芳雄, 藪内英剛, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 畠中正光, 本田浩, 坂井修二, 向井靖, 的場哲哉	大動脈解離症例の経過観察CTで認められたpseudoaneurysmの検討	第67回日本医学放射線学会総会, 2008年4月4-6日, 横浜市
藪内英剛, 松尾芳雄, 神谷武志, 瀬戸口太郎, 畠中正光, 坂井修二, 塚本浩, 長藤宏司, 原田実根, 本田浩	膠原病合併間質性肺炎に対する末梢血幹細胞移植 HRCT所見とKL-6、%VCの推移の関係	第67回日本医学放射線学会総会, 2008年4月4-6日, 横浜市
神谷武志, 藪内英剛, 松尾芳雄, 瀬戸口太郎, 坂井修二, 畠中正光, 藤田展宏, 本田浩	乳癌腋窩リンパ節転移の評価における拡散強調MRIの有用性の検討	第67回日本医学放射線学会総会, 2008年4月4-6日, 横浜市
Sakai S,	Invited Lecture Computed Radiography/Digital Radiography in Chest Radiology:Review	The 4th Joint Meeting of Japanese-Korean Societies of Thoracic Radiology, Jun 27-28, 2008. Seoul
Sakai S, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, Nambu T, Ashizawa K, Kudo S, Fujimoto K, Akamine T, Oshiro Y, Honda H.	Helminthic Diseases with Pulmonary Involvement:Imaging Findings of Lung and Other Organs Lesions	RSNA2008, 94th Scientific Assembly and Annual Meeting 2008年11月30日 Chicago
Kamitani T, Yabuuchi H, Matsuo Y, Setoguchi T, Sakai S, Hatakenaka M, Honda H.	Diffusion-weighted MR Imaging of Axillary Lymph Nodes in Patients with Breast Cancer	RSNA2008, 94th Scientific Assembly and Annual Meeting 2008年11月30日 Chicago
Sakai S, Yabuuchi H, Matsuo Y, Kamitani T, Setoguchi T, and Honda H	Disease-Modifying Antirheumatic Drugs (DMARDs)-induced Lung Disease in Patients with Rheumatoid Arthritis: Chest Radiographic and High-Resolution CT Findings	European Congress of Radiology (ECR 2009) 2009年3月6-10日 Wien
平田秀紀	放射線療法	平成20年度がん看護エキスパートナース研修, 2008.6.19
平田秀紀	調和医療における温熱・化学・放射線療法の位置づけ	第5回調和医療研究会, 2008.11.1
平田秀紀	エキスパート・トーク～骨・軟部腫瘍	第10回放射線腫瘍学夏季セミナー, 2008.8.2
平田秀紀	僕の放射線科昭和・平成史～アナログ世代のアナクロ発言	平成20年度福岡県放射線科医会総会, 2008.9.27
平田秀紀	研修医・レジデントのための子宮頸癌放射線治療の実際	第320回福岡婦人科癌懇話会, 2008.8.18
平田秀紀	婦人科腫瘍に対する温熱化学放射線療法	第57回福岡がん化学療法研究会, 2009.3.4
平田秀紀	九州大学における医学物理教育の試みと連携	第2回阪大医学物理セミナー, 2008.12.13
佐々木智成, 大浦弘樹, 平田秀紀, 斎藤俊章	九州がんセンターにおける子宮頸癌治療成績	第67回日本医学放射線学会総会, 2008.4.4
磯山知子, 塩山善之, 野元諭, 大賀才路, 野々下豪, 大西かよ子, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 本田浩, 平田秀紀	CBDCA + VP16を用いた化学放射線療法が奏功した食道小細胞癌の3例	第167回日本医学放射線学会九州地方会, 2008.6.21
野元諭, 塩山善之, 大賀才路, 野々下豪, 大西かよ子, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 本田浩, 中村和正, 平田秀紀	頭頸部腺様嚢胞癌にタイするサイバーナイフ低分割照射の応用	第18回日本高精度放射線外部照射研究会, 2008.7.26

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
塩山善之, 野元諭, 大賀才路, 野々下豪, 吉武忠正, 大西かよ子, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 本田浩, 平田秀紀	I 期非小細胞肺癌に対する定位放射線治療成績	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008.10.16
大賀才路, 塩山善之, 野元諭, 野々下豪, 大西かよ子, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 平田秀紀, 本田浩	限局性前立腺癌に対する密封小線源療法後の尿路系障害の検討	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008.10.16
野元諭, 塩山善之, 大賀才路, 野々下豪, 大西かよ子, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 磯山知子, 平田秀紀, 本田浩	頭頸部放射線抵抗性腫瘍に対するサイバーナイフ低分割照射の応用	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008.10.16
大西かよ子, 塩山善之, 野元諭, 大賀才路, 野々下豪, 吉武忠正, 渥美和重, 寺嶋弘太郎, 平田秀紀, 本田浩	中咽頭癌の放射線治療成績－治療成績と局所制御因子の解析	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008.10.16
久野浩平, 有村秀孝, 塩山善之, 穴井重男, 吉留郷志, 野元聡, 本田浩, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀	肺定位放射線治療における腫瘍領域と位置の推定方法の開発	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008.10.16
寺嶋弘太郎, 塩山善之, 野元諭, 大賀才路, 野々下豪, 大西かよ子, 渥美和重, 藪内英剛, 本田浩, 平田秀紀	定位放射線治療に局所再発と鑑別が困難な腫瘍様consolidationを認めた放射線肺臓炎の一例	第168回日本医学放射線学会九州地方会, 2009.2.14
杜下淳次	医用X線画像の画質評価とコンピュータによる画像解析	日本放射線技術学会, 第64回総会学術大会宿題報告, 2008年4月
末岡正輝, 杜下淳次, 日和佐剛, 島中史朗, 田中延和, 中健太郎	液晶ディスプレイの最高輝度が検出能に及ぼす影響	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年4月
椎葉卓郎, 田上直文, 杜下淳次, 立岡進次, 前田昌二	望遠型輝度計を用いた液晶ディスプレイの輝度測定における環境輝度補正の効果	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年4月
光元達哉, 大屋信義, 小早川由美, 西川史華, 阿部光一郎, 杜下淳次, 佐々木雅之	発症年齢別アルツハイマー型認知症の脳血流SPECTによる診断 (I)	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年4月
光元達哉, 大屋信義, 坂口祐一, 清田綾, 阿部光一郎, 杜下淳次, 佐々木雅之	発症年齢別アルツハイマー型認知症の脳血流SPECTによる診断 (II)	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年4月
松尾悟, 杉山淳子, 杜下淳次, 片渕哲朗, 藤田広志	位相コントラストイメージングにおけるエッジ強調画像と後処理によるエッジ強調画像の比較	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年5月
島中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008年6月
島中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 外園栄作, 東田善治	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本超音波医学会第81回学術集会, 2008年5月
杜下淳次	シンポジウム フィルムレスの必需品モニタを考える: モニタのいろいろな特性に関する話題	日本放射線技術学会九州部会医療情報セミナー, 2008年9月
杜下淳次	シンポジウム これからの病院の方向性と今私たちがすべきこと: 医療技術に貢献する学生を育てるために	日本放射線技術学会第36回秋季学術大会, 2008年10月
山口貴弘, 杜下淳次, 日和佐剛, 島中史朗, 高橋慶多, 橋本義人, ユンヨンス	マモグラムの乳腺実質濃度と分布量に基づく自動分類法の開発	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008年11月

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
橋本義人, 杜下淳次, 日和佐剛, 畠中史朗, 高橋慶多, 山口貴弘, ユンヨンス	デジタルカメラを用いた簡易的な輝度測定の可能性と画像表示装置の品質管理への応用	第3回九州放射線医療技術学会大会, 2008年11月
高橋慶多, 杜下淳次, ユンヨンス, 末岡正輝, 日和佐剛, 畠中史朗, 山口貴弘, 橋本義人	LCDモニタの輝度の違いが胸部腫瘍陰影の検出能に与える影響	第3回九州放射線医療技術学会大会, 2008年11月
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における環境照度と画像表示モニタの輝度比との関係	第3回九州放射線医療技術学会大会, 2008年11月
Morishita J, Katsuragawa S, Sasaki Y, Hiwasa T, Doi K	Development of an automated search method to find lost images in PACS environment by use of biological fingerprints and image-matching technique	Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), June 2008, Barcelona, Spain.
Matsuo S, Fujita H, Morishita J, Katafuchi T, Honda C, Sugiyama J	Preliminary evaluation of a phase contrast imaging with digital mammography	International Workshop on Digital Mammography, July 2008, Tucson, Arizona, USA.
Hatanaka S, Morishita J, Higashida Y, Hiwasa T	Comparison of viewing angle performance and observer performance of different types of liquid crystal displays	50th American Association of Physicists in Medicine annual meeting, July 2008, Houston, Texas, USA.
Hiwasa T, Morishita J, Higashida Y, Hatanaka S	Need for liquid crystal displays having the capability of rendering higher than 8 bits in grayscale	51st American Association of Physicists in Medicine annual meeting, July 2008, Houston, Texas, USA.
Morishita J, Katsuragawa S, Sasaki Y, Hiwasa T, Doi K	Development of a search method to find lost chest radiographs in PACS server	52nd American Association of Physicists in Medicine annual meeting, July 2008, Houston, Texas, USA
Morishita J, Hiwasa T, Katsuragawa S, Sasaki Y, Sukenobu Y, Doi K	A solution to find lost chest radiograph in PACS server	21st European Congress of Radiology, March 2009, Wien, Austria
Arimura H, Yoshiura T, Kumazawa S, Mihara F, Honda H, Tanaka K, Koga H, Sakai S, Toyofuku F, Higashida Y.	Computerized method for classification of patients with Alzheimer's disease based on segmentation of cerebral cortical regions including hippocampal regions.	CARS, 2008.6.26.
Li F, Kumazawa S, Shiraishi J, Engelmann R, MacMahon H, Doi K	Subjective Similarity of Pairs of Images with Various Patterns of Diffuse Interstitial Lung Disease on Thin-Section CT	Radiological Society of North America (RSNA), 2008.11.30.
Li F, Kumazawa S, Shiraishi J, Caligiuri P, MacMahon H, Doi K.	Investigation of Subjective Similarity for Pairs of Images with Various Patterns of Diffuse Lung Disease on Thin-Section CT : Observer Performance Study	Radiological Society of North America (RSNA), 2008.11.30.

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
小坂克子	学部講義：5教科	人体の構造と機能ⅡA (30時間), 人体の構造と機能ⅡB (30時間), 解剖学実習 (45時間), 組織化学検査 (15), 医用画像特論 (15)
	大学院講義：3教科	分子機能基礎画像科学論 (30), 組織画像検査学論 (15), 分子機能画像科学演習 (4)

教 員	講 義	資料・備考
佐々木雅之	学部講義：全学教育	コアゼミ放射線医学入門（8時間）
	学部講義：医学部保健学科	放射化学・実験（45時間），放射化学実験（30時間），核医学検査学（60時間），核医学検査学実習（45時間），臨地実習，卒業研究
	学部講義：薬学部	臨床検査学Ⅱ（2時間）
	大学院講義：医学系学府保健学専攻	分子機能画像科学論（15時間），分子機能画像科学演習（10時間），医用量子線科学特別研究
	大学院講義：薬学府	病態分子認識化学特論（4時間）
東田善治	学部講義：5教科	放射線画像技術学（60時間），医用法律学（30時間），写真工学（30時間），放射線画像技術学実験（45時間），写真工学実験（30時間）
	大学院講義：1教科	保健学におけるチーム医療（30時間）
平田秀紀	学部講義：6教科	放射線生物学B2（30時間），放射線衛生学B2（15時間），放射線治療技術学B3（60時間），放射線治療技術実習B3（30時間），放射線治療特論B4（15時間），医学概論～腫瘍学B1（2時間），検査科RI講義と実習B2（6時間），コアゼミナールB1（6時間）
	大学院講義：2教科	がん支援論M1（8時間），臨床量子線治療科学論M1（30時間）
坂井修二	学部講義：8教科	画像解剖学（30時間），MR超音波画像技術学（30時間），放射線診断学特論（15時間），コアゼミナール（8時間），コンピュータ支援診断学（2時間），医学総論（2時間），超音波検査学（2時間），放射性同位元素学（2時間）
	大学院講義：1教科	分子機能画像科学論（15時間）
杜下淳次	学部講義：5教科+3実験実習	医用画像評価学，医用画像評価学演習，放射性同位元素検査機器，品質管理論（分担），コンピュータ支援診断学，診療画像技術学実験，放射線診断機器学実験，臨地実習
	大学院講義：2教科	保健学研究論，医用画像科学論
赤坂勉	学部講義：2教科	写真工学（15時間），放射線管理学（30時間）×2（2、3年次）
	学部実験実習：3教科	放射線写真学実験（45時間），放射線管理学実験（45時間），放射線治療技術学実習（45時間）
熊沢誠志	学部講義：5教科	医用画像処理学演習（30時間），コンピュータ支援診断学（6時間），コアゼミ放射線医学入門（4時間），放射化学実験（30時間），放射線画像技術学実験（45時間）

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

教 員	研究テーマ	資料・備考
小坂克子	マウス脳組織に存在する特殊な自家蛍光物質の解明 分布を中心とした組織学的解析	20年度卒業研究 今藤麻貴
	マウス脳組織に存在する特殊な自家蛍光物質の解明 免疫組織化学法による解析と考察	20年度卒業研究 亀井彩子
佐々木雅之	PET/CTにおける呼吸性移動による集積低下の検討	20年度卒業研究 泉川明日香
	PET/CTにおける自動輪郭抽出に呼吸性移動が及ぼす影響	20年度卒業研究 亀田卓典
	PET/CTにおける部分容積効果の評価および補正法の検討	20年度卒業研究 溝口範子
	核医学検査の精度向上に関する研究	20年度修士課程特別研究 坂口裕一
	Computed radiographyによるマンモグラフィの低線量撮影における模擬石灰化診断能への影響 Effect of dose reduction on the ability of digital mammography to detect simulated microcalcifications	20年度修士課程特別研究 矢ヶ部真理
	統計画像解析と脳血流SPECTを用いた認知症診断に関する研究 A study on the diagnosis of the dementia using a statistical image analysis and brain perfusion SPECT	20年度修士課程特別研究 光元達哉
東田善治	デジタルX線画像の物理特性に対する線質の影響	20年度卒業研究 甘舛慎史
	乳房画像における低コントラスト物質の検出ーシャウカステンの輝度と検出能ー	20年度卒業研究 川本光紗
	乳房画像における模擬石灰化や腫瘍の検出能ー部屋の明るさと周辺光の影響ー	20年度卒業研究 森永由紀
	デジタルシステムにおける最適撮影法の研究 ー最適グリッドの適応研究ー	平成20年度修士課程特別研究 中健太郎
	拡大デジタルマンモグラフィの研究	平成20年度修士課程特別研究 田中延和
平田秀紀	HDR-RALSにおける直腸線量の計算値と実測地の乖離について	20年度卒業研究 鮎川修平
坂井修二	CRマンモグラフィ用イメージングプレート3種の解像特性の比較	20年度卒業研究 太田知世
	CRマンモグラフィ用イメージングプレート3種の粒状性の比較	20年度卒業研究 張鉄橋
	臥位胸部ポータブル撮影による胸水描出：CR2機種での胸水量変化による検討	20年度卒業研究 利根裕史
	Computed radiographyによるマンモグラフィの低線量撮影における模擬石灰化診断能への影響	20年度修士課程特別研究 矢ヶ部真理
杜下淳次	デジタルカメラによる輝度測定と画像表示装置の品質管理への応用	20年度卒業研究 橋本義人
	液晶ディスプレイモニタの最高輝度の違いが胸部腫瘍陰影の検出能に与える影響	20年度卒業研究 高橋慶太
	マンモグラムの乳腺実質濃度と分布量に基づく自動分類法の開発	20年度卒業研究 山口貴弘
	医用画像表示装置の視野角特性と環境照度に関する研究 Study on viewing angle performance and ambient light in the medical-grade monitors	20年度修士課程特別研究 畠中央朗
	医用画像の表示システムと胸部X線画像の生体指紋情報に関する研究 Studies on medical-images display systems and biological fingerprint in chest radiographs	20年度修士課程特別研究 日和佐剛

教 員	研究テーマ	資料・備考
赤坂勉	FGDによる対内被ばく測定－体内実効エネルギーの測定	20年度卒業研究 一番ヶ瀬優輝
	FGDによる対内被ばく測定－被ばく分布の測定	20年度卒業研究 藤田一彰
熊沢誠志	アフィン変換と滑降シンプレックス法を用いた画像間の移動パラメータの推定	20年度卒業研究 横山雄一

7. 社会貢献

教 員	活 動 内 容	資料・備考
小坂克子	九州大学出前授業	1 からだのしくみ 鳥飼小学校 2008/12/18
	九州大学出前授業	1 からだのしくみ 若久小学校 2009/2/19
佐々木雅之	日本医学放射線学会	代議員
	日本核医学会	評議員
	日本核医学会	PET核医学委員会委員
	大阪大学大学院薬学研究科，創薬推進教育プログラム	外部評価委員
	日本医学放射線学会九州地方会	世話人
	日本核医学会九州地方会	世話人
東田善治	九州乳房画像研究会	世話人（平成11年～現在）
	Radiological Physics and Technology	Associate Editor
	日本放射線技術学会	評議員
	日本乳ガン検診学会	評議員
平田秀紀	日本放射線腫瘍学会	教育委員（平成20年4月から）
	九州肺癌研究機構LOGIK	プロトコール委員
	西日本がん研究機構WJOG	安全評価委員
坂井修二	日本肺癌	評議委員，肺癌取扱い規約委員，画像診断分類委員，集団検診委員，肺癌集団検診デジタル撮影条件検討のための小委員，財務委員
杜下淳次	日本放射線技術学会	画像分科会長・学術委員会委員・スーパーテクノロジスト認定制度委員会委員・九州部会理事
	医用画像情報学会	理事
	Radiological Physics and Technology	Associate Editor
	NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会	デジタルマンモグラフィ精度管理マニュアル作成ワーキンググループ委員
	放射線治療品質管理機構	評議員
	厚生労働省がん研究助成金「デジタルマンモグラフィによる乳がん検診の効率及び精度向上・評価に関する研究」	平成20年度 研究協力者
赤坂勉	九州大学医学部保健学科放射線技術科学専攻同窓会（透光会）	総務事務局、就職担当

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
小坂克子	H20（2008）年度，科研費，基盤研究(C)，代表，20年-22年，嗅球系球体近傍ニューロン群の体系的解析：2タイプの傍系球体細胞を中心として
	H20（2008）年度，特定領域研究：分担，20年-21年，嗅覚一次中枢嗅球における情報処理の構造的基盤解明

教 員	資 料 ・ 備 考
杜下淳次	文部科学省科学研究費補助金, 平成18年度-20年度, 基盤研究(C), 代表, 患者固有の画像情報を利用した画像検索システムの開発
熊沢誠志	文部科学省科学研究費補助金, 平成20年度-22年度, 若手研究(B), 代表, MR画像による脳白質神経線維束推定に基づいた脳機能領野同定および可視化手法の開発

医用量子線科分野

《基礎放射線》

2. 原著論文

【国外雑誌】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Eida S, <u>Ohki M</u> , Sumi M, Yamada T, Nakamura T	MR factor analysis : Improved technology for the assessment of 2D dynamic structures of benign and malignant salivary gland tumors	Journal of Magnetic Resonance Imaging, Vol.27, pp.1256-1262, 2008.
Hiwasa T, Morishita J, Hatanaka S, <u>Higashida Y</u> , <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u>	Need for liquid-crystal display monitors having the capability of rendering higher than 8 bits in display-bit depth	Radiological Physics and Technology, Vol.2 No.1, pp.104-111, 2009.
Endo S, Tanaka K, Fujikawa K, Horiguchi T, Itoh T, <u>Onizuka Y</u> , Hoshi M, Murataka A, Kojima Y, Shizuma1 K	Microdosimetry on a Mini-Reactor UTR-KINKI for Educational Uses and Biological Researches	The Journal of Radiation Research, 50, 83-87 (2009)
Yamashita K, Yoshiura T, <u>Arimura H</u> , Yamashita Y, Mihara F, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, <u>Kumazawa S</u> , <u>Higashida Y</u> , Honda. H.	Performance evaluation of radiologists with artificial neural network for differential diagnosis of intra-axial cerebral tumors on MR images	American Journal of Neuroradiology, 29[6], 1153-1158, 2008.4.
Yamashita Y, <u>Arimura H</u> , Tsuchiya K	Computer-aided Detection of Ischemic Lesions related to Subcortical Vascular Dementia on Magnetic Resonance Images	Academic Radiology, 15 : 978-985, 2008.6.
<u>Arimura H</u> , Egashira Y, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshidome S, Anai S, Nomoto S, Honda H, <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , <u>Onizuka Y</u> , <u>Terashima H</u> ,	Computerized method for estimation of the location of a lung tumor on EPID cine images without implanted markers in stereotactic body radiotherapy	Physics in Medicine and Biology, 54, 665- 677, 2009.2.
Yoshiura T, Noguchi T, Hiwatashi A, Togao O, Yamashita K, Nakao T, Nagao E, <u>Kumazawa S</u> , <u>Arimura H</u> , Honda H.	Age-Related Microstructural Changes in Subcortical White Matter During Postadolescent Periods in Men Revealed by Diffusion-Weighted MR Imaging	Human Brain Mapping, 2009, in press
Takahashi A, Tamaru K, Nakamura D, Akiyama T, Okada T	Comparative Study on EUV and Debris Emission from CO2 and Nd:YAG Laser- Produced Tin Plasmas	Journal of Physics, Conference Series, Vol.112, p.042059, (5. 2008)
Takahashi A, Nakamura D, Tamaru K, Akiyama T, Okada T	Emission Characteristics of Debris from CO2 and Nd:YAG Laser-Produced Tin Plasmas for Extreme Ultraviolet Lithography Light Source	Applied Physics B, Vol.92, No.1, pp.73- 77, (7. 2008)
Nakamura D, Tamaru K,b Akiyama T, <u>Takahashi A</u> , Okada T	Investigation of Debris Dynamics from Laser-Produced Tin Plasma for EUV Lithography Light Source	Applied Physics A, Vol.92, No.4, pp.767- 772, (9. 2008)
Nakamura D, Akiyama T, <u>Takahashi A</u> , Okada T	Imaging Diagnostics of Debris from Laser-Produced Tin Plasma with Droplet Target for EUV Light Source	Journal of Laser Micro/Nanoengineering, Vol.3, No.3, pp. 196-200, (10. 2008)

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Nakamura D, Akiyama T, Okazaki K (M1), <u>Takahashi A</u> , Okada T	Ablation Dynamics of Tin Micro-Droplet Irradiated by Double Pulse Laser used for Extreme Ultraviolet Lithography Source	Lithography Source Journal of Physics D : Applied Physics, Vol.41, p.245210, (12, 2008)
Okazaki K (M1), Nakamura D, Akiyama T, Toya K, <u>Takahashi A</u> , Okada T,	Dynamics of debris from laser-irradiated Sn droplet for EUV lithography light source	SPIE Photonics West 2009, 72010T (1, 2009)
Nakamura D, Akiyama T, Okazaki K (M1), <u>Takahashi A</u> , Okada T	Ablation Dynamics of Tin Micro-Droplet Irradiated by Double Pulse Laser used for Extreme Ultraviolet Lithography Source	Lithography Source Journal of Physics D : Applied Physics, Vol.41, p.245210, (12, 2008)
Okazaki K (M1), Nakamura D, Akiyama T, Toya K, <u>Takahashi A</u> , Okada T,	Dynamics of debris from laser-irradiated Sn droplet for EUV lithography light source	SPIE Photonics West 2009, 72010T (1, 2009)

【国内雑誌】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
遠藤暁, 高田真志, 田中浩基, 鬼塚昌彦, 田中憲, 宮原信幸, 星正治, 石川正純, 木村真三, 静間清	粒子識別型組織等価ガス比例計数管の開発	放射線医学総合研究所重粒子線がん治療装置等共同利用研究報告書, NIRS-M-203
中村大輔, 秋山智哉, <u>高橋昭彦</u> , 岡田龍雄	錫ターゲットを用いたレーザー生成プラズマEUV光源からのデブリ放出特性	レーザー研究, Vol.36, No.11, pp.721-725, (11. 2008)

3. 総説・その他

【総説】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
有村秀孝	神経放射線領域におけるコンピューター支援診断システムの研究開発	医学物理, 28, Sup. No.1, 2008.4

【国際会議論文】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Ogushi J, Oishi A, Terashima H, <u>Onizuka Y</u>	Physical Characteristics of Beamlets of tomotherapy	The 5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, Volume 3, YI-R2-4, 1-4, 2008, Jeju, Korea
Oishi A, Ogushi J, Anai S, Tachibana M, Shioyama Y, Minami K, Terashima H, <u>Onizuka Y</u>	Monte Carlo calculation of crystalline lens dose from Megavoltage computed tomography imaging	The 5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, Volume 3, SS2-R1-10, 1-4, 2008, Jeju, Korea
Y. Kawaji, T. Ideguchi, A. Narazaki, <u>Y. Higashida</u> , <u>F. Toyofuku</u>	Validation of MTF measurements by Edge Method in CR-Mammography	Proc. Of the 5th Korea-Japan Joint Meeting on Medical Physics, 34-38, 2008.
Arimura H, Yoshiura T, Kumazawa S, Mihara F, Honda H, Tanaka K, Koga H, <u>Sakai S</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y.</u> ,	Computerized method for classification of patients with Alzheimer's disease based on segmentation of cerebral cortical regions including hippocampal regions	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Vol.3 (Suppl 1), S201-202, 2008.7.
Yamamoto D, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Magome T, Yamashita Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Computer-aided detection of multiple sclerosis lesions based on three types of brain MR images	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Vol.3(Suppl 1), S202-203, 2008.7.

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Yoshidome S, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Korogi Y, Tsuchiia K, Katsuragawa S, Doi K	Performance evaluation of a CAD scheme for detection of intracranial aneurysms in MRA images based on a cross-validation test with four different databases	International Journal of Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS), Vol.3 (Suppl 1), S203-204, 2008.7.
<u>Arimura H</u> , Egashira Y, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshidome S, Anai S, Nomoto S, Honda H, <u>Higashida Y</u> , <u>Onizuka Y</u> , <u>Terashima H</u> ,	Automated Estimation of a Tumor Region and Its Displacement On EPID Cine Images Without Implanted Markers in Lung Stereotactic Body Radiotherapy	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p. 2688, 2008.7.
Anai S, <u>Arimura H</u> , Araki F, Tachibana M, Shioyama Y, Nakamura K, <u>Onizuka Y</u> , <u>Terashima H</u>	Modeling of Beam Profiles Based On Three Gaussian Functions in Lung Stereotactic Body Radiotherapy for Acceptance Test of Radiotherapy Planning System	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p. 2784, 2008.7.
Magome T, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Yamamoto D, Kawata Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , <u>Korogi Y</u> .,	Automated Extraction of White Matter Regions in Multiple Sclerosis Based On High Resolution Magnetic Resonance Imaging	AAPM, Medical Physics, Vol.35, No.6, p. 2664, 2008.7.
Yamamoto D, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Magome T, Yamashita Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Computerized detection of multiple sclerosis lesions based on 3.0 T two- dimensional magnetic resonance images	IEICE Technical Report (信学技報), MI 2008-171, P505-506, 2009.1.
Kawata Y, <u>Arimura H</u> , Yamashita Y, Magome T, <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida H</u> , <u>Ohki M</u> , Tsuchiya K	Computerized Detection of White Matter Hyperintensity Related to Subcortical Vascular Dementia Based on Automated and Semiautomated Segmentation	IEICE Technical Report (信学技報), MI 2008-113, P253-254, 2009.1.
Magome T, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Yamamoto D, Kawata Y, Yamashita Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Automated method for segmentation of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis in 3T MR images	IEICE Technical Report (信学技報), MI 2008-58, P9-10, 2009.1.
Akiyama T, Okazaki K (M1), Nakamura D, <u>Takahashi A</u> , Okada T	Imaging Diagnostics of Debris from Double Pulse Laser-Produced Tin Plasma for EUV Light Source	Proc. International Congress on Plasma Physics,, (9, 2008)
Nakamura D, Tamaru K, Akiyama T, <u>Takahashi A</u> , Okada T	Ablation Dynamics of Tin Micro-Droplet Target used in LPP-Based EUV Light Source	International Workshop on EUV Lithography, (6, 2008)

4. 学会発表

【国際会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Hiwasa T, Morishita J, Hatanaka S, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> .	Need for liquid crystal display monitors having the capability of rendering higher than 8-bits in grayscale	50th AAPM annual meeting, Houston, Texas, July27-31, 2008
Ogushi J, Oishi A, <u>Terashima H</u> , <u>Onizuka Y</u>	Physical Characteristics of Beamlets of tomotherapy	The 5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, Volume 3 Number 3, September 11-12, 2008, Jeju, Korea
Oishi A, Ogushi J, Anai S, Tachibana M, Shioyama Y, Minami K, <u>Terashima H</u> , <u>Onizuka Y</u>	Monte Carlo calculation of crystalline lens dose from Megavoltage computed tomography imaging	The 5th KOREA-JAPAN Joint Meeting on Medical Physics, Volume 3 Number 3, September 11-12, 2008, Jeju, Korea

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Kawaji Y, Ideguchi T, Narazaki A, <u>Higashida Y</u> , <u>Toyofuku F</u>	Validation of MTF measurements by Edge Method in CR-Mammography	The 5th KOREA_Japan Joint Meeting on Medical Physics in conjunction with 37th Meeting of Korean Society of Medical Physics and 96th Meeting of Japan Society of Medical Physics
Arimura H, Yoshiura T, Kumazawa S, Mihara F, Honda H, Tanaka K, Koga H, <u>Sakai S</u> , <u>Toyofuku F</u> , and <u>Higashida Y</u>	Computerized method for classification of patients with Alzheimer's disease based on segmentation of cerebral cortical regions including hippocampal regions.	CARS, 2008.6.26.
Yamamoto D (M2), <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Magome T(M1), Yamashita Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Computer-aided detection of multiple sclerosis lesions based on three types of brain MR images.,	CARS, 2008.6.26.
Yoshidome S, <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Korogi Y, Tsuchiura K, Katsuragawa S, Doi K	Performance evaluation of a CAD scheme for detection of intracranial aneurysms in MRA images based on a cross-validation test with four different databases.	CARS, 2008.6.26
<u>Arimura H</u> , Egashira Y, Shioyama Y, Nakamura K, Yoshidome S, Anai S, Nomoto S, Honda H, <u>Higashida Y</u> , <u>Onizuka H</u> , Terashima	Automated Estimation of a Tumor Region and Its Displacement On EPID Cine Images Without Implanted Markers in Lung Stereotactic Body Radiotherapy.,	AAPM, 2008.7.28.
Anai S, <u>Arimura H</u> , Araki F, Tachibana M, Shioyama Y, Nakamura K, <u>Onizuka Y</u> , <u>Terashima H</u>	Modeling of Beam Profiles Based On Three Gaussian Functions in Lung Stereotactic Body Radiotherapy for Acceptance Test of Radiotherapy Planning System	AAPM, 2008.7.28.
Magome T (M1), <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Yamamoto D (M2), Kawata Y (M2), <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Automated Extraction of White Matter Regions in Multiple Sclerosis Based On High Resolution Magnetic Resonance Imaging	AAPM, 2008.7.28.
<u>Arimura H</u> , Yoshiura T, Uesugi M, Monji A, Mihara F, Honda H, <u>Sakai S</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u>	Development of Computer-aided Classification System for Patients with Dementia of Alzheimer Type Based on 3-D MR Atrophic image Features	Radiological Society of North America (RSNA), 2008.11.30.
Kawata Y (M2), <u>Arimura H</u> , Yamashita Y, Magome T (M1), <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida H</u> , <u>Ohki M</u> , Tsuchiya K,	Computerized Evaluation for White-matter Hyperintensities Related to Cognitive Dysfunction Based on Automated Detection and Semi-Automated Resegmentation	Radiological Society of North America (RSNA), 2008.11.30.
Kawata Y (M2), <u>Arimura H</u> , Yamashita Y, Magome T (M1), <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida H</u> , <u>Ohki M</u> , Tsuchiya K,	Computerized Detection of White Matter Hyperintensity Related to Subcortical Vascular Dementia Based on Automated and Semiautomated Segmentation	International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 2009.1.19.
Yamamoto D (M2), <u>Arimura H</u> , Kakeda S, Magome T (M1), Yamashita Y, <u>Ohki M</u> , <u>Toyofuku F</u> , <u>Higashida Y</u> , Korogi Y	Computerized detection of multiple sclerosis lesions based on 3.0T two-dimensional magnetic resonance images	International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 2009.1.19.

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Magome T (M1), Arimura H, Kakeda S, Yamamoto D, Kawata Y (M2), Yamashita Y, Ohki M, Toyofuku F, Higashida Y, Korogi Y.,	Automated method for segmentation of white matter and gray matter regions with multiple sclerosis in 3T MR images.,	International Forum on Medical Imaging in Asia (IFMIA), 2009.1.19.
Akiyama T, Okazaki K (M1), Nakamura D, Takahashi A, Okada T	Imaging Diagnostics of Debris from Double Pulse Laser-Produced Tin Plasma for EUV Light Source	14th International Congress on Plasma Physics, (9. 2008)
Nakamura D, Akiyama T, Takahashi A, Okada T	Imaging Diagnostics of Debris from Laser-Produced Tin Plasma with Droplet Target for EUV Light Source	9th International Symposium on Laser Precision Microfabrication, (6. 2008)

【国内会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
神宮綾多郎, 大久保文浩, 日置一仁, 大喜雅文	CDファントム用自動評価プログラムの作成とその有用性の検討	第3回九州放射線医療技術学会大会, 2008年11月1日-2日, 宮崎市
中健太郎, 田中延和, 東田善治, 熊澤誠志, 豊福不可依, 大喜雅文, 杜下淳次, 有村秀孝, 畔柳弘之	デジタルシステムにおける最適撮影法の研究 -最適グリッドの適応研究-	第36回日本放射線技術学会秋季学術大会, (2008年10月23(木)-25(土), 軽井沢町)
玉城真大, 渡辺寿美子, 田宮貞, 加来恒壽, 仲正喜, 神宮綾多郎, 菊池友紀, 大喜雅文, 和氣徳夫, 大久保文彦, 山元英崇, 杉島節夫	画像解析によるクロマチン分布判定の客観化	第24回日本臨床細胞学会福岡県支部総会, 2008年12月
大串潤也, 大石歩, 寺嶋廣美, 鬼塚昌彦	モンテカルロ計算を用いたtomotherapy beamletの線量学的評価 The dosimetric evaluations of tomotherapy beamlet by using the Monte Carlo simulation	第17回日本高精度放射線外部照射研究会, 2008年3月8日(土), 東京都, 日本教育会館, 一ツ橋ホール
大石歩, 大串潤也, 塩山善之, 穴井重男, 橋昌幸, 南一幸, 寺嶋廣美, 鬼塚昌彦	モンテカルロ法を用いたMVCT撮影時の水晶体線量の検討 Evaluation of the crystalline lens dose from MVCT by Monte Carlo simulation	第17回日本高精度放射線外部照射研究会, 2008年3月8日(土), 東京都, 日本教育会館, 一ツ橋ホール
小野博志, 大倉順, 川田秀道, 福留良文, 早淵尚文, 大石歩, 大串潤也, 馬場大海, 鬼塚昌彦	放射線治療線量の品質管理	日本放射線腫瘍学会第21回学術大会, 2008年10月16日-18日, 札幌パークホテル
徳森謙二, 豊福不可依, 東田善治, 吉田彰, 兵藤一行, 安藤正海, 吉浦一紀	微小焦点蛍光X線現を用いた位相コントラストイメージング	日本医学物理学会 (JSMP), 2008.4
川路康之, 井手口忠光, 檜崎亜希子, 東田善治, 豊福不可依	デジタルMammography装置におけるエッジを用いたMTFの測定 (測定結果に影響を及ぼす因子に関する検討)	日本放射線技術学会 (JSRT), 2008.4
檜崎亜希子, 井手口忠光, 川路康之, 東田善治, 豊福不可依	対エッジを用いたMTF測定の新しい方法 -エッジの配置方法と操作方向による検討-	日本放射線技術学会 (JSRT), 2008.4
河田康雄 (M2), 有村秀孝, 山下泰生, 馬込大貴 (M1), 豊福不可依, 東田善治, 大喜雅文, 土屋一洋	MR画像における脳血管性認知症の虚血病変領域の検出法の開発	日本医学物理学会 (JSMP), 2008.4
吉留郷志, 有村秀孝, 掛田伸吾, 興侶征典, 桂川茂彦, 土井邦雄	頭部MRA画像における脳動脈瘤検出のためのCADシステムの開発	日本医学物理学会 (JSMP), 2008.4.
江頭祐亮, 有村秀孝, 塩山善之, 穴井重男, 吉留郷志, 中村和正, 本田浩, 東田善治, 鬼塚昌彦, 寺嶋廣美	肺定位放射線治療における標的位置と位置ずれ量の推定方法の開発	日本医学物理学会 (JSMP), 2008.4.

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
馬込大貴 (M1), 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔, 豊福不可依, 東田善治, 興梠征典	多発性硬化症における脳領域抽出方法の開発	日本放射線技術学会 (JSRT), 2008.4
山本大輔 (M2), 有村秀孝, 掛田伸吾, 山下泰生, 大喜雅文, 豊福不可依, 東田善治, 興梠征典	多発性硬化症病変部の検出方法の開発	日本放射線技術学会 (JSRT), 2008.4
久野浩平 (B1), 有村秀孝, 塩山善之, 穴井重男, 吉留郷志, 野元諭, 本田浩, 豊福不可依, 鬼塚昌彦, 平田秀紀	肺定位放射線治療における腫瘍領域と位置 の推定方法の開発	日本放射線腫瘍学会 (JASTRO), 2008.10. 17.
馬込大貴 (M1), 有村秀孝, 掛田伸吾, 山本大輔 (M2), 河田康雄 (M2), 大喜雅文, 豊福不可依, 東田善治, 興梠征典	多発性硬化症における大脳白質・灰白質領 域の自動抽出方法の開発	医用画像情報学会, 2008.10.4.
中村大輔, 秋山智哉, 高橋昭彦, 岡田龍雄	スズターゲットからのイオン・中性原子デ ブリダイナミクス計測	文部科学省リーディングプロジェクト「極 端紫外 (EUV) 光源開発等の先進半導体 製造技術の実用化」最終研究成果報告会 (5. 2008)
中村大輔, 秋山智哉, 岡崎巧太 (M1), 高橋昭彦, 岡田龍雄	スズドロップレットを用いたレーザー生成 プラズマ EUV 光源のデブリ挙動計測	西日本放電懇談会 (8. 2008)
秋山智哉, 岡崎功太 (M1), 中村大輔, 高橋昭彦, 岡田龍雄	スズドロップレットを用いたレーザー生成 EUV光源のデブリ挙動	第61回電気関係学会九州支部連合大会 (9. 2008)
中村大輔, 秋山智哉, 岡崎功太 (M1), 高橋昭彦, 岡田龍雄	ダブルパルス照射におけるスズドロップレ ットターゲットのアブレーション挙動計測	秋季第69回応用物理学会学術講演会 (9. 2008)
中村大輔, 秋山智哉, 遠矢和勇騎, 岡崎功太 (M1), 高橋昭彦, 岡田龍雄	スズドロップレットを用いたレーザー生成 プラズマEUV光源からのデブリ放出特性 イメージング	平成20年度応用物理学会九州支部学術講演 会 (11. 2008)
高橋昭彦, 鳥居周一, 牧村哲也, 新納弘之, 村上浩一, 岡崎功太 (M1), 秋山智哉, 中村大輔, 岡田龍雄	CO2レーザー生成プラズマEUV光を用い た透明材料の加工	レーザー学会研究会 (12. 2008)
高橋昭彦, 鳥居周一, 牧村哲也, 新納弘之, 村上浩一, 岡崎功太 (M1), 秋山智哉, 中村大輔, 岡田龍雄	CO2レーザー生成プラズマEUV光による 透明材料の微細加工	レーザー学会学術講演会 (1. 2009)
鳥居周一, 牧村哲也, 村上浩一, 新納弘之, 岡崎功太, 高橋昭彦, 秋山智哉, 中村大輔, 岡田龍雄	レーザープラズマ軟X線による透明材料の 微細加工法の探索	電気学会研究会 (3. 2009)

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
大喜雅文	全学教育：6 教科	線形代数×2 (60時間), 情報処理演習I× 3 (90時間), 医療統計学 (30時間)
	学部講義：3 教科	医用画像ネットワーク論 (30時間), 医用 情報解析学 (15時間), 基礎医療統計 (15 時間)
	大学院講義：2 教科	保健・医療とIT (10時間), 医用画像情報 科学論 (15時間)

教 員	講 義	資料・備考
鬼塚昌彦	学部講義：8教科	放射線計測学（30時間）、放射線治療物理学（15時間）、放射線治療機器学（15時間）、品質管理論（1時間）、現代物理学（6時間）、放射性同位元素検査学実習（10時間）、放射線計測学実験Ⅰ（45時間）、放射線計測学実験Ⅱ（45時間）
	大学院講義：3教科	基礎量子線治療科学論、量子線治療科学演習、医用量子線科学特別研究
豊福不可依	学部講義：6教科	放射線物理学（15時間）、放射線診断物理学（30時間）、放射線診断機器学（30時間）、画像再構成学演習（30時間）、加速器概論（15時間）、放射線機器学実験（90時間）
	大学院講義：3教科	医用量子線基礎理工学論（15時間）、先端医用量子線理工学論（30時間）、量子線医療応用（15時間－工学府）
有村秀孝	学部講義：6教科	医用画像処理学Ⅰ（30時間）、医用画像処理学演習（30時間）、特殊医用画像機器（30時間）、品質管理論（2時間）、コンピュータ支援診断学（6時間）、医用情報解析学（15時間）
	大学院講義：3教科	保健・医療とIT（8時間）、医用画像情報科学論（12）、医用画像情報科学論演習（12）
高橋昭彦	学部講義：5教科	医用電気電子工学Ⅰ（30時間）、同Ⅱ（30時間）、医用電気電子工学実験Ⅰ（30時間）、同Ⅱ（30時間）、医用光学（15時間）
	全学教育：1教科	電磁気学（30時間×2）
	大学院講義	医用量子線基礎理工学論（15時間）
小段謙一	学部講義実験：8教科	放射線医学入門（2時間）、医用電子工学実験（45時間）、放射線計測学実験Ⅰ（45時間）、放射線診断機器学（4時間）、放射線機器学実験（90時間）、画像再構成学・演習（30時間）、卒業研究Ⅰ（135時間）、卒業研究Ⅱ（135時間）
鬼塚昌彦	医学物理士試験合格	20年度修士指導学生 大串潤也
	医学物理士試験合格	20年度修士指導学生 大石歩

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
大喜雅文	細胞診における画像解析法の開発ー核内クロマチン分布の定量化ー	20年度卒業研究 菊地友紀
	CDファントム像の自動評価に関する研究Ⅰ. 自動解析プログラムの開発	20年度卒業研究 大久保文浩
	CDファントム像の自動評価に関する研究Ⅱ. 観察者による評価との比較	20年度卒業研究 日置一仁
鬼塚昌彦	モンテカルロコードPHITSを用いた東京大学弥生炉の中性子スペクトルの解析	20年度卒業研究 中尾稔
	腫瘍制御確率TCPモデルの文献的考察	20年度卒業研究 深堀麻衣
	正常組織障害発生確率NTCPモデルの文献的考察	20年度卒業研究 森中絵梨
	モンテカルロ法による中性子場のマイクロドジメトリー	20年度修士課程特別研究 馬場大海
	Tomotherapyのビームレットの物理特性 Physical characteristics of beamlet of tomotherapy	20年度修士課程特別研究 大串潤也
	モンテカルロ法を用いたMVCT撮影による水晶体被ばく線量の検討	20年度修士課程特別研究 大石歩

指導教員	研究テーマ	資料・備考
豊福不可依	マンモグラフィにおける照射野内の線質変化	20年度卒業研究 宇野善徳
	マンモグラフィX線スペクトルのレイリー・コンプトン散乱補正による再構築	20年度卒業研究 川口聡一郎
	放射光励起によるモリブデン蛍光X線の散乱線スペクトルの解析	20年度卒業研究 山口義樹
	対エッジ法を用いたMTFの新しい測定方法に関する研究 A new method for measuring the MTF by using a pair of edges)	20年度修士課程特別研究 榎崎亜希子
	CRマンモグラフィにおけるエッジ法を使用したMTF測定に関する研究 Evaluation of the edge method for measuring the MTF in CR-mammography	20年度修士課程特別研究 川路康之
有村秀孝	肺定位放射線治療における腫瘍位置の追跡方法の開発	20年度卒業研究 板野航
	ガウシアン球強調フィルタを用いた脳転移腫瘍の検出方法の開発	20年度卒業研究 中村浩太
	肺定位放射線治療における腫瘍位置の追跡方法の開発	20年度卒業研究 久野浩平
	多発性硬化症におけるレベルセット法を用いた脳の領域抽出方法の開発	20年度修士課程特別研究 馬込大貴
	脳皮質下血管性認知症における大脳白質病変のコンピュータ支援評価法の開発 Computer-aided evaluation of white matter hyperintensities related to subcortical vascular dementia	20年度修士課程特別研究 河田康雄
	3 TMR画像を用いた多発性硬化症病変部検出方法の開発 Computer-aided detection of multiple sclerosis regions in 3.0 Tesla magnetic resonance images	20年度修士課程特別研究 山本大輔
高橋昭彦	2 波長同時計測による眼底血管酸素飽和度の測定	20年度卒業研究 大淵秀幸
	CO ₂ レーザー生成プラズマからの極端紫外(EUV) 光を用いた透明材料の微細加工	20年度卒業研究 主税絵理子
	スズをターゲットに用いた PLD 法による薄膜の生成	20年度卒業研究 毛利祥大
	レーザー生成プラズマEUV光に関する研究	20年度修士課程特別研究 岡崎功太
	眼底組織の光計測に関する研究	20年度修士課程特別研究 尾形学
小段謙一	マイクロデンシトメータを用いたスリット法によるMTF測定システムの開発	20年度卒業研究 原良介

7. 社会貢献

【国外】

教員	活動内容	資料・備考
鬼塚昌彦	The Journal of Radiation Research	Editor
有村秀孝	Computerized Medical Imaging and Graphics	Associate Editor (編集委員) (平成20年4月から)

【国内】

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
大喜雅文	日本歯科放射線学会	代議員
鬼塚昌彦	日本医学物理学会	理事
	放射線医学総合研究所	HIMAC共同利用運営委員
	放射線医学総合研究所	HIMAC共同利用研究課題採択・評価部会長
	久留米大学医学部	客員教授
	医学物理士認定機構	理事、認定委員長
	日本医学放射線学会	評議員、医学物理士認定委員会委員
豊福不可依	医学物理学会	教育委員
有村秀孝	医学物理（日本医学物理学会機関誌）	編集委員（平成16年4月から現在に至る）
	医用画像情報学会、編集委員	編集委員（平成20年4月から）
高橋昭彦	レーザー励起X線とその応用研究会	現地世話人（2008.12）

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
大喜雅文	平成20年度文部科学省「質の高い大学教育推進プログラム」支援事業「医療現場との情報双方向性を持つ保健学教育」取組推進責任者
豊福不可依	文部科学省科学研究費補助金，平成18年度～20年度，萌芽研究，代表，2焦点マイクロフォーカス蛍光X線による高分解能立体撮影システムの開発
有村秀孝	文部科学省科学研究費補助金，平成19年度～21年度，基盤研究(C)，代表，脳機能形態MR画像に基づくアルツハイマー型認知症の高精度検出システムの開発

3 - 3. 教員の活動（検査技術科学分野）

検査技術科学分野

《生体情報学》

1. 著書

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
編者：大西英文, 狩野元成, <u>大澤進</u>	臨床検査学実習書シリーズ 臨床化学検査学 実習書 VIII 酵素 1. アルカリホスファターゼのKm値測定	医歯薬出版, p94-98, 2008年 9月
編者：芝紀代子, <u>大澤進</u>	臨床検査技師ポケット・レビュー帳 上巻 Review-Point 3. 検査総合管理学	メジカルビュー社, 2009年 2月
編者：藤本秀士 分担執筆：藤本秀士, 目野郁子, <u>小島夫美子</u>	編集：全般、執筆：第1～3章 (p1-p88)、第5～7章 (p126-p324)	病原体・感染・免疫, 南山堂, 病原体・感染・免疫 (南山堂) 第1版, 2008年 3月

2. 原著論文

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Ota H, Tamezane H, Sasano Y, <u>Hokazono E</u> , Yasuda Y, Sakasegawa S, Imamura S, Tamura T, and <u>Osawa S</u>	Enzymatic chracterization of an amino oxidase from Arthrobacter sp. Used to measure phospatidylethanolamine	Biosci. Biotechmol. Biochem., (10), 2732-2738, 2008.
Nishii, K., Morimoto, S., <u>Minakami, R.</u> , Miyano, Y., Hashizume, K., Ohta, M., Zhan, D-Y., Lu, Q-W., Shibata Y.	Targeted disruption of the cardiac troponin T gene causes sarcomere disassembly and defects in heartbeat within the early mouse embryo.	Developmental Biology, 322(1), 65-73, 2008
笹野善愛, <u>外園栄作</u> , <u>大澤進</u>	尿中微量蛋白定量の新しい色素法の開発	生物試料分析, 31, 5, 361-368, 2008.
堀田正敏, 杉本晋, <u>外園栄作</u> , <u>大澤進</u>	自己採血による即時血漿分離輸送システムの構築 -採血量の異なる試料への内部標準による希釈率算定法-	臨床病理, 56, 7, 577-583, 2008.
<u>小島夫美子</u> , 藤本秀士, 土岐学司	糞便内虫卵の検出・鑑別における染色法の応用	日本臨床寄生虫学会誌, 19巻 1号, p163-165, 2009
<u>小島夫美子</u> , 藤本秀士, 縄田美穂子	国産加工食品 (チャンジャ) より生きた状態で見出されたアニサキス亜科幼虫	日本臨床寄生虫学会誌, 19巻 1号, p160-162, 2009
Kounoue E, Izumi K, Ogawa S, Kondo S, Katsuta H, Akashi T, Niho Y, Harada M, Tamiya S, Kurisaki H, Nagafuchi S	The significance of T cell, B cells, antibodies and macrophages against encephalomyocarditis(EMC)-D virus-induced diabetes in mice.	Arch Virol 153:1223-1231, 2008

3. 総説・その他

【総説】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
大澤進	臨床科学検査法の開発と発想法	臨床検査学教育, 1, No.1, 2009.3
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・1 臨床化学に必要な応用技術総論	検査と技術, 36, 11, 1221-1225, 2008.
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・2 分析理論ツール その1: 発色検出系	検査と技術, 36, 12, 1317-1323, 2008.
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・3 分析理論ツール その2: 酵素・POD・NADH 検出系	検査と技術, 36, 13, 1407-1412, 2008.
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・4 分析理論ツール その3: 蛍光・化学発光検出系	検査と技術, 37, 1, 17-23, 2009.
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・5 期待される検出試薬と検出機器	検査と技術, 37, 2, 115-121, 2009.
大澤進	技術講座 生化学 臨床化学応用技術シリーズ・6 生化学試薬の改良と開発	検査と技術, 37, 3, 245-251, 2009.
精度管理調査評価法検討・試料検討ワーキンググループ 委員長, 大澤進	臨床検査精度管理調査の定量検査評価法と試料に関する日臨技指針	医学検査, 57, 1, 109-117, 2008
精度管理調査評価法検討・試料検討ワーキンググループ 委員	臨床検査精度管理調査フォトサーベイ評価法に関する日臨技指針	医学検査, 57, 1, 118-122, 2008
大澤進	われらが研究室 独創性と新しい検査法の開発・研究	Medical Technology, 36, 8, 870-871, 2008
永淵正法, 大澤進, 和泉賢一, 小川秀一郎, 栗崎宏憲, 高上悦志	1型糖尿病の成因(3)環境因子	Diabetes Frontier 19(2): 180-184, 2008.
田野保雄, 瓶井資弘, 生野恭司, 辻川元一, 坂口裕和, 西田健太郎, 方肖雲, 杜兆江, 謝平, 不二門尚, 日下俊次, 森本壮, 中内一揚, 別所建一郎, 下條裕史, 大川賀孝, 北口善之, 福田淳, 澤井元, 三好智満, 八木哲也, 小山内実, 宋文杰, 三宅養三, 近藤峰生, 子安俊行, 坂井隆夫, 栗本幸英, 平形明人, 大路正人, Quiroz-MercadoHugo, Ustariz-GonzalezOrlando, Cecilia-GonzalezCarmen, 太田淳, 徳田崇, 小澤素生, 古野間邦彦, 鐘堂健三, 大澤孝治, 中谷正義, 米澤栄二, 寺澤靖雄, 齊藤徹, 神田寛行, 上原昭宏, 篠原祥二, 吉田雅和, 田代洋行, 吉峰俊樹, 平田雅之, 齊藤洋一, 谷直樹, 黒田麻紗子, DelbekeJea	人工視覚システムの臨床応用を目指して	日本眼科学会雑誌113(3): 315-343, 2009

4. 学会発表

【国内会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
為實秀人, 秋本卓, 湯村旭代, 笹野善愛, 外園栄作, 大澤進	血液中ホスファチジルエタノールアミンの 酵素的速度分析法の確立 第二報	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 2008.8.20.
秋本卓, 為實秀人, 湯村旭代, 笹野善愛, 外園栄作, 大澤進	尿中Tamm-Horsfall蛋白の高感度色素測 定法の開発	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 2008.8.20.
笹野善愛, 外園栄作, 大澤進	糖尿病腎症早期検出を目的とした尿中微量 蛋白測定法の開発	第48回日本臨床化学会年次学術集会, 2008. 8.29.
大澤進, 埴田直美, 外園栄作	小型自動分析装置S40を用いたアンモニア 測定系の基礎的検討	日本臨床検査自動化学会第40回大会, 2008. 10.09.
外園栄作, 埴田直美, 大澤進	過ヨウ素酸ナトリウムを用いたICG検査法 の自動分析装置への試み	日本臨床検査自動化学会第40回大会, 2008. 10.09.
大澤進, 上野智美, 外園栄作	日立クリニカルアナライザS40を用いたカル シウム測定法の基礎的検討	日本臨床検査自動化学会第40回大会, 2008. 10.09.
為實秀人, 外園栄作, 大澤進	酵素的測定法による血液中ホスファチジル エタノールアミン測定系の確立	第19回生物試料分析科学学会大会, 2009.2.21.
小島夫美子, 新田良太郎, 土岐学司, 藤本秀士	糞便内虫卵の検出・鑑別における染色法の 応用	日本寄生虫学会, 2008.4
栗崎宏憲, 松尾友仁, 進藤美恵子, 小川秀一郎, 藤本秀士, 光山正雄, 永淵正法	Aire欠損マウスを用いた自己免疫性多腺 性内分泌不全症・カンジダ症の感染防御障 害機構の解析	日本感染症学会総会, 2008.4
Sumimoto, H., Miyano, K., Minakami, R.	Molecular mechanism for reactive oxygen-producing NADPH oxidases	第81回日本薬理学会年会, 2008年3月
森本幸生, 盧群偉, 只野尚登, 杜成坤, 戦冬雲, 西井清雅, 水上令子, 大田美香, 望月美里, 王媛媛, 大槻磐男, 笹栗俊之	ピモベンダンはトロポニン変異による拡張 型心筋症ノックインマウスモデルにおける 心拡大と突然死を抑制する	第81回日本薬理学会年会, 2008年3月
住本英樹, 宮野佳, 水上令子, 武谷立	感染防御に重要な活性酸素生成型NADPH オキシダーゼ (Nox) の調節機構	第61回日本細菌学会九州支部総会, 第45回 日本ウイルス学会九州支部総会, 2008年10 月
住本英樹, 宮野佳, 武谷立, 水上令子	低分子量Gタンパク質による活性酸素生成 型NADPHオキシダーゼの調節機構	第30回薬学会九州支部コロキウム, 2008年 10月
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本放射線技術学会第64回総会学術大会, 2008.4
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫, 外園栄作, 東田善治	超音波検査室における適切な環境照度の検討	日本超音波医学会第81回学術集会, 2008.5.
畠中史朗, 杜下淳次, 田代洋行, 樗木晶子, 野口ゆかり, 島ノ江信芳, 中村邦夫	超音波検査室における環境照度と画像表示 モニタの輝度比との関係	第3回九州放射線医療技術学術大会, 2008. 11.2.
田代洋行, 寺澤靖雄, 田口真理子, 大澤孝治, 鈴木千智, 中谷正義, 小澤素生, 太田淳	人工視覚システム安定性評価系による網膜 電気刺激応答の記録	第46回日本人工臓器学会大会, 2008.11.29.
寺澤靖雄, 小澤素生, 田代洋行, 太田淳, 田野保雄	人工視覚システムにおけるバルク材料を用 いた高信頼性刺激電極の開発	第46回日本人工臓器学会大会, 2008.11.28.
原田知明, 外園栄作, 大澤進	血清ホスホジエステラーゼ酵素的活性測定 法の開発と臨床的意義	生物試料分析科学学会, 2009.2.22

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
大澤進	学部講義：6教科	臨床化学Ⅰ（30時間）、臨床化学Ⅱ（24時間）、臨床化学実習（96時間）、検査管理総論（30時間）、検査情報管理学（30時間）、検査情報管理学演習（30時間）、医用分析装置（30時間）、精度管理特論（15時間）、遺伝子実習（6時間）、医用外国語（4時間）、医療法律学特論（2時間）
	大学院講義：1教科	臨床化学分析学論（30時間）
藤本秀士	学部講義：11教科	病原体学（30時間）、病原体学特論（15時間）、臨床微生物学（30時間）、臨床微生物学特論（15時間）、病原体学実習（45時間）、臨床微生物学実習（45時間）、臨床ウイルス学（15時間）、医療の歴史（6時間）、コアゼミナール（2時間）、臨床医学総論（2時間）、感染看護学（4時間・実習）
	大学院講義：3教科	国際社会と健康（6時間）、病原情報解析学（30時間）、病原情報解析学演習（30時間）
水上令子	学部講義：5教科	自然科学総合実験（120時間）、コアセミナー（8時間）、遺伝子検査学（8時間）、遺伝子検査学実習（27時間）、卒業研究
	大学院講義：2教科	分子生物化学検査学論（30時間）、臨床化学分析学論（2時間）
田代洋行	学部講義：17教科	医療情報システム（15時間）、生体医工学（15時間）、医療安全管理学特論（15時間）、臨床生理学Ⅰ（60時間）、医用工学・情報概論（30時間）、医用工学・情報概論実習（45時間）、生理機能検査学総論Ⅰ（30時間）、生体情報計測学（30時間）、生理機能検査学総論Ⅱ（30時間）、医療安全管理学（30時間）、医用工学実習（45時間）、検査機器管理総論（60時間）、超音波検査学（30時間）、生理学実習（45時間）、臨床生理学実習（45時間）、臨床生理学Ⅱ（30時間）、臨床実習・超音波検査実習（315時間）
外園栄作	学部実習：5教科	公衆衛生学実習（45時間）、臨床検査総論実習（45時間）、医用工学・情報概論実習（90時間）、臨床化学実習（180時間）、生理機能検査学実習（90時間）
小島夫美子	学部講義：8教科	人体の構造と機能（60時間のうち14時間）、コアセミナー（30時間のうち4時間）、医療法律学（15時間のうち1時間）、臨床検査総論（30時間）、臨床検査総論実習（45時間）、国際感染症学（30時間）、国際感染症学実習（45時間）、卒業研究（135時間）

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
大澤進	小型自動分析装置S40によるアンモニア測定系の基礎的検討	20年度卒業研究 埜田直美 (B4)
	小型自動分析装置を用いた血清金属測定系の基礎的検討	20年度卒業研究 上野智美 (B4)
	血清ホスホジエステラーゼの測定法の確立とその臨床的意義の検討	20年度卒業研究 原田知明 (B4)
	EDTA塩の血液検体への影響	20年度卒業研究 渡辺康成 (B4)
	ICP発光装置を用いた刺激白金電極の耐久性評価	20年度卒業研究 阿部志保 (B4)
	血清及び尿中の酵素的測定法開発とHPLCによる検証	20年度修士課程特別研究 為實秀人 (M1)
	血清及び全血中のコリン酵素的測定法の開発と虚血性心疾患への応用	20年度修士課程特別研究 湯村旭代 (M1)
	酵素サイクリング法の免疫学的測定法への応用	20年度修士課程特別研究 秋本卓 (M1)
	尿中微量蛋白定量の新しい色素法の開発	20年度修士課程特別研究 笹野善愛 (M2)
	mtDNAの転写・複製におけるp53の役割	20年度修士課程特別研究 波多江日成子 (M2)
藤本秀士	鞭毛フック遺伝子flgEを用いた <i>Campylobacter</i> 属の分子生物学的鑑別	20年度卒業研究 村上ゆり香 (B4)
	鞭毛蛋白遺伝子による <i>Campylobacter</i> 属の分子生物学的鑑別	20年度卒業研究 大富芽依 (B4)
	cytolethal distending toxin (<i>cdt</i>) A遺伝子を利用した <i>Campylobacter</i> 属の鑑別・同定法の検討	20年度卒業研究 福村瞳 (B4)
	<i>Campylobacter</i> における <i>Fla C</i> の分子生物学的特徴 (CLUSTALW を用いた分析)	20年度卒業研究 石垣卓也 (B4)
	アニサキス科線虫の分子生物学的鑑別法	20年度修士課程特別研究 新田良太郎 (M1)
藤本秀士	自然尿細胞診における膀胱癌治療効果判定ークロマチン分布、Pair cellの経時的变化ー	20年度修士課程特別研究 坂梨史典 (M2)
水上令子	ヒト好中球におけるPI(3, 4)P ₂ /PI(3, 4, 5)P ₃ の局在についての検討	20年度卒業研究 奥田香央里 (B4)
	p47 ^{phox} の好中球食胞膜への移行におけるPXドメインの役割	20年度卒業研究 後藤佳弥 (B4)
	食作用時のヒト好中球におけるホスファチジルセリンの局在	20年度卒業研究 吉居真由 (B4)
小島夫美子	寄生虫卵集卵法の改善	20年度卒業研究 大野裕紀 (B4)
	<i>Anisakis</i> 科線虫の形態学的・分子生物学的虫体鑑別法の関連性	20年度卒業研究 縄田美穂子 (B4)

7. 社会貢献

【海外】

教員	活動内容	資料・備考
大澤進	PLoS Journals	査読
小島夫美子	マヒドン大学との交流	
外園栄作	国立国際医療センター研究所、研究メンバー	アジア途上国の臨床検査の精度保証と標準化
大澤進	同上	同上

【国内】

教 員	活 動 内 容	資 料・備 考
大澤進	日本臨床検査自動化学会	編集委員（平成16年4月から）
	生物試料科学分析	編集委員（平成18年4月から）
	臨床検査用分析装置における自動校正システムの開発に関するフィージビリティスタディ	委員（平成20年度）
	日本臨床衛生検査技師会 臨床検査データ標準化事業	副委員長
	日本臨床検査同学院 緊急検査士認定試験九州地区試験委員	九州地区試験委員（平成18年1月～平成20年8月）
藤本秀志	日本感染症学会	評議員
小島夫美子	公開講座委員として企画・実施	
外園栄作	健康食品管理士会、九州支部幹事	事務局長（平成20年5月から）
	九州大学医学部保健学科	20年度市民公開講座（メタボリック症候群の征圧に向けて(2)）
	日本臨床検査同学院 緊急検査士認定試験九州地区試験委員	九州地区試験委員（平成18年1月～平成20年8月）

9. 研究資金の受け入れ

教 員	活 動 内 容
大澤進	国立国際医療センター国際医療協力研究委託事業 課題番号（20公-3），途上国における医療サービスおよび臨床研究の質の向上のための臨床検査関連システムの構築に関する研究，分担研究員
	株式会社セロテック研究委託，血清ビリルビン分画測定法の開発
	(株)日立製作所，パーソナル・ヘルスケアベンチャーカンパニー研究委託，小型臨床検査用自動分析装置の適用研究
水上令子	研究分担者，平成19年4月～平成21年3月，九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト「インストラクショナルデザインに基づいた高校『生物』未履修者対策自習プログラムの開発」，代表者・山岡章浩，研究分担者
田代洋行	共同研究，2008.4～2009.3，超音波検査室に於ける最適な照明環境の研究，ヤマギワ(株)、(株)コメディカル
田代洋行	共同研究，2008.4～2009.3，人工視覚システムの開発 in vivo動物実験による生体安全性の追求，(株)ニデック
外園栄作	福岡県臨床衛生検査技師会学術奨励基金，平成19年度～20年度，代表，キサントニン系色素を用いた新しい尿沈渣染色液・保存液の検討
	日本臨床衛生検査技師会奨励研，平成20年度～21年度，代表，急性冠症候群の新たなマーカーとしての血中コリンの酵素的測定法の検討

検査技術科学分野

《病態情報学》

2. 原著論文

【国外雑誌】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Nagayama J, Todaka T, Hirakawa H, Kajiwara J, Yoshimura T, Furue M	Evaluation on toxic contribution of PCDDs, PCDFs and dioxin-like PCBs determined in the preserved umbilical cords of Yusho patients	Organohalogen Compounds, 70, 410-413, 2008
Nagayama J, Hirakawa H, Kajiwara J, Todaka T, Shibata S, Tsuji H, Iwasaki T	Promotive excretion of polychlorinated dibenzofurans by FBRA in patients with Yusho	Organohalogen Compounds, 70, 1574-1577, 2008

【国内雑誌】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
眞寄志津佳, 大塚理恵, 安部康信, 梅村創	赤芽球系細胞におけるmicroRNA発現解析	臨床病理, 56, 12, 1086-1092, 2008
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加未恒壽, 古賀裕子, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	子宮頸部病変におけるN/C比の検討 特に上皮内癌について	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌 39巻 Page45-50 (2008.7)
金城満, 亀井敏昭, 是松元子, 杉島節夫, 及川洋江, 佐藤雅美, 岩崎常人, 市原清志	細胞検査士の視機能および身体的不定愁訴に関する疫学的検討 一経時的検討を含めて	日本臨床細胞学会雑誌. Vol.47(6) : 407-415, 2008.

3. 総説・その他

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
岡村建, 藤川潤, 萬代幸子	甲状腺機能亢進症	Medical Practice 26 : 12-20, 2009

4. 学会発表

【国際会議】

著者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
Okamura K, Bandai S, Fujikawa M, Sato K, Iida M	High prevalence of painless thyroiditis during the clinical course of Graves' hyperthyroidism	33rd European Thyroid Association, 2008. Sept, Chalkidiki, Greece
Nagayama J, Todaka T, Hirakawa H, Kajiwara J, Yoshimura T, Furue M	Evaluation on toxic contribution of PCDDs, PCDFs and dioxin-like PCBs determined in the preserved umbilical cords of Yusho patients	28th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs), 2008.8
Nagayama J, Hirakawa H, Kajiwara J, Todaka T, Shibata S, Tsuji H, Iwasaki T	Promotive excretion of polychlorinated dibenzofurans by FBRA in patients with Yusho	28th International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants (POPs), 2008.8
Nagayama J, Todaka T, Furue M, Hirakawa H, Kajiwara J, Hori T, Yoshimura T	Yusho -PCDF Poisoning-	International Symposium on Environmental Analysis, 2008.11

【国内会議】

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
眞寄志津佳, Saovaros Svasti, 安部康信, Suthat Fucharoen, 梅村創	サラセミアにおけるmicroRNA-451発現解析	第9回日本検査血液学会学術集会, 津, 平成20年7月26-27日
藤本文恵, 藤井智美, 安部康信, 梅村創	尿検体を用いた慢性骨髄性白血病molecular monitoringの基礎的検討	第9回日本検査血液学会学術集会, 津, 平成20年7月26-27日
眞寄志津佳, Saovaros Svasti, Pranee Fucharoen, Suthat Fucharoen, 安部康信, 梅村創	サラセミア早期赤芽球系造血におけるmicroRNA-451発現亢進	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 九州大学百年記念講堂, 福岡, 平成20年8月20-22日
澁田樹, 安部康信, 梅村創	TF-1株化細胞を用いた血球分化機構の解析	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 九州大学百年記念講堂, 福岡, 平成20年8月20-22日
藤本文恵, 藤井智美, 安部康信, 梅村創	尿検体を用いた慢性骨髄性白血病molecular monitoringの有用性 - 慢性骨髄性白血病における基礎的検討	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 九州大学百年記念講堂, 福岡, 平成20年8月20-22日
澁田樹, 安部康信, 梅村創	白血病細胞における接着因子誘導性薬剤耐性の解析	第55回日本臨床検査医学会総会, 名古屋, 平成20年11月27-30日
藤本文恵, 藤井智美, 白土基明, 安部康信, 梅村創	尿検体を用いた慢性骨髄性白血病のmolecular monitoring	第28回福岡造血器研究会, 福岡, 平成21年2月20日
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 坂梨史典, 岩坂剛, 杉島節夫	培養細胞の増殖曲線とPair cell生成頻度の関連	第23回日本臨床細胞学会福岡県支部総会, 平成20年12月7日, みやま市
玉城真太, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 仲正喜, 神宮綾多郎, 菊地友紀, 大喜雅文, 杉島節夫	画像解析によるクロマチン分布判定の客観化	第23回日本臨床細胞学会福岡県支部総会, 平成20年12月7日, みやま市
安田洋子, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 井戸垣都, 大久保文彦, 山元英崇, 杉島節夫	乳癌の病理組織標本における核異型の形態計測的評価	第23回日本臨床細胞学会福岡県支部総会, 平成20年12月7日, みやま市
杉島節夫	教育シンポジウム 大学院における臨床検査技師教育 九州が九んプロ養成プランと細胞検査士教育	第55回日本臨床検査学会学術集会 (名古屋), 平成20年11月28-30日
杉島節夫	病理細胞診領域シンポジウム 細胞診の将来と展望	第43回九州医学検査学会 (鹿児島), 平成20年10月10日-11日
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 宇藤満昭, 寺戸信芳, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	子宮頸部病変におけるPair cellの出現頻度の検討	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 平成20年8月20-22日, 福岡市
安田洋子, 田宮貞史, 渡邊寿美子, 井戸垣都, 大久保文彦, 山元英崇, 杉島節夫	乳癌の病理組織標本における核異型の形態計測的評価	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 平成20年8月20-22日, 福岡市
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 宇藤満昭, 寺戸信芳, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	子宮頸部細胞診におけるPair cellの意義	第24回日本臨床細胞学会九州連合会学会, 平成20年7月12-13日, 大分市
仲正喜, 渡辺寿美子, 田宮貞史, 加来恒壽, 古賀裕子, 大久保文彦, 小川伸二, 小林裕明, 和氣徳夫, 杉島節夫	長期経過観察が可能であった子宮頸部異形成症例の検討	第49回日本臨床細胞学会総会春期大会, 平成20年6月6-8日, 東京都
長山淳哉	保存臍帯に存在する油症原因物質の毒性および油症認定上の意義	平成20年度厚生労働省全国油症治療研究班会議, 2008.5
梶原淳睦, 戸高尊, 平川博仙, 堀就英, 中川礼子, 吉村健清, 岸礼子, 長山淳哉, 古江増隆	保存臍帯 (へその緒) と血液中ダイオキシン類濃度の比較	第10回環境ホルモン学会, 2008.12

著 者	論文タイトル	雑誌, 号, 頁, 年
栗崎宏憲, 松尾友仁, 進藤美恵子, 小川秀一郎, 藤本秀土, 光山正雄, 永淵正法	Aire欠損マウスを用いた自己免疫性多腺 性内分泌不全症・カンジダ症の感染防御機 構の解析	第82回日本感染症学会総会, 2008.4
松尾友仁, 進藤美恵子, 小川秀一郎, 栗崎宏憲, 永淵正法	自己免疫調節 (Autoimmune Regulator, AIRE) 遺伝子のEBV transformed B cell における発現制御機構とその意義	第82回日本感染症学会総会, 2008.4
小川秀一郎, 高上悦志, 和泉賢一, 近藤しおり, 松尾誠, 進藤美恵子, 吉田英子, 松尾友仁, 内野いつか, 梅井愛, 栗崎宏憲, 永淵正法	マウス脳心筋炎ウイルス (EMCV) 誘発 糖尿病における自然免疫および獲得免疫系 の役割	第51回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008. 5
松尾友仁, 吉田英子, 進藤美恵子, 浜田寛子, 河野弥季, 小川秀一郎, 内野由梨, 栗崎宏憲, 永淵正法	アフィニティイカラム精製抗AIRE抗体を 用いたAIRE蛋白の発現解析	第51回日本糖尿病学会年次学術集会, 2008. 5
小川秀一郎, 松尾友仁, 蔵藤利暢, 西林聖佳, 永尾幸大, 野口由樹子, 栗崎宏憲, 永淵正法	マウス脳心筋炎ウイルス (EMCV) 誘発 糖尿病におけるマクロファージの役割	第3回日本臨床検査学教育学会学術大会, 2008.8
永淵正法, 松尾友仁, 小川秀一郎, 栗崎宏憲	自己免疫調節遺伝子AIREのB細胞におけ る発現とその意義	第78回日本感染症学会西日本地方会学術集 会, 2008/12
渡辺寿美子, 加未恒壽, 田宮貞史, 杉島節夫, 野口光代, 小林裕明, 横山正俊, 岩坂剛	子宮頸部腺癌の細胞像 - 核小体とクロマ チン分布の意義- (シンポジウム)	第49回日本臨床細胞学会 (春期大会), 2008. 6.7
中附加奈子, 渡辺寿美子, 金城満, 鷺山和幸	細胞異型度の判定に苦慮した尿路上皮癌の 一例	第49回日本臨床細胞学会 (春期大会), 2008. 6.7

5. 教育上の業績

教 員	講 義	資料・備考
梅村創		血液検査学 (30時間)・同実習 (90時間), 輸血検査学 (15時間), 細胞工学 (30時間), 医学概論 (6時間), 保健学とチーム医療 (10時間), 血液機能検査学論 (15時間), 演習, 修士課程特別研究
	医学部保健学科第5回生 (2年生) のクラ ス担任	31名の修学相談、福利厚生への指導を行った。
岡村建	保健学科講義・実習 医学科臨床医学群講義 歯学部・医科学修士講義	生化学・生化学実習・臨床医学総論等 内分泌・代謝 (甲状腺) 甲状腺・副甲状腺
杉島節夫	学部講義	(1) 専攻教育講義科目 病理組織細胞学, 前期, 単位数: 1 コアセミナー (オムニバス) 医用英語 (オムニバス) 検査技術関係法規 (オムニバス) (2) 専攻教育実験・実習・演習科目 病理組織細胞学実習 I, 後期, 単位数: 1 (分担単位数: 0.5) 病理組織細胞学実習 II, 前期, 単位数: 1 (3) 全学教育講義科目 細胞生物学, 前期, 単位数: 2 × 2 クラス
	大学院講義	(1) 大学院講義科目 病理組織細胞学, 後期, 単位数: 1 (分担 単位数: 1) (3) 修士課程指導学生 学生数: 4

教 員	講 義	資料・備考
長山淳哉	学部講義：教科	公衆衛生学Ⅰ（30時間）、公衆衛生Ⅱ（30時間）、公衆衛生学実習（45時間）、環境保健学（30時間）、医療法律学Ⅱ（4時間）
	大学院講義：1教科	国際社会と健康（4時間）
田宮貞史	学部講義：2教科	病理学総論（30時間）、病理学各論（15時間）
	学部実習：3教科	病理学実習（45時間）、病理組織細胞学実習Ⅰ（45時間）、病理組織細胞学実習Ⅱ（45時間）
永淵正法	学部共通教育	生体防御学（15時間） 医学総論（6時間） 医用外国語学（6時間）
	学部専門教育	臨床免疫学（45時間）、臨床免疫学実習（45時間）、臨床病理学総論（30時間）、臨床病理学特論（30時間）、免疫細胞解析学（16時間）
	大学院講義	保健学研究論（10時間）
渡辺寿美子	学部実習：5教科	血液検査学実習（90時間）、病理学実習（90時間）、解剖学実習（45時間）、病理組織細胞学実習Ⅰ（90時間）、病理組織細胞学実習Ⅱ（45時間）
栗崎宏憲	学部実習：6教科	生化学実習（45時間）、遺伝子検査学実習（45時間）、病原体学実習（45時間）、臨床微生物学実習（45時間）、国際感染症学実習（45時間）、臨床免疫学実習（90時間）

6. 修士課程、卒業研究指導実績：学生氏名、研究タイトル

指導教員	研究テーマ	資料・備考
梅村創	白血球マーカーとしてのexosomeに関する基礎的検討	20年度卒業研究 塩津弘倫
	赤芽球系造血の分子機構に関する基礎的検討	20年度卒業研究 野村修平
	回復期造血における有核赤血球のフローサイトメトリー解析	20年度卒業研究 花村怜美
	赤血球内microRNAの解析	20年度卒業研究 藤崎恵
	「破碎赤血球の臨床的意義」九州大学病院における直接抗グロブリン試験陽性率とその陽性原因の検討	20年度卒業研究 東恵利（九州大学検査部、棚町啓之氏との共同指導）
	赤芽球系造血におけるmicroRNA解析	20年度修士課程特別研究 眞嵩志津佳
	「造血幹細胞のstemnessに関わる分子機構の解析」	20年度修士課程特別研究 澁田樹
	「尿中細胞を用いた白血病遺伝子診断法の開発」	20年度修士課程特別研究 藤本文恵
岡村建	バセドウ病の予後と妊娠による影響	20年度卒業研究 萩尾渚
	甲状腺乳頭癌の超音波・病理学的特徴	20年度卒業研究 中本菜美
	MR画像によるバセドウ眼症の評価	20年度卒業研究 久積祐太
	橋本病とバセドウ病の免疫学的・細胞学的検討	20年度卒業研究 上野宇茂
	質量分析による凝固・線溶マーカーの絶対定量の開発	20年度卒業研究 安井彩（九州大学検査部、青木義政氏との共同指導）
杉島節夫	子宮頸部における扁平上皮系病変でみられるfiber cellの比較・検討	20年度卒業研究 酒井瑠美子
	Bodyplethysmograph 健常人における測定条件や生理的影響の検討	20年度卒業研究 佐藤麻衣
	核小体の意義 - 子宮頸部腺系細胞を用いて -	20年度卒業研究 西村和徳

指導教員	研究テーマ	資料・備考
杉島節夫	乳腺疾患における細胞質内小腺腔 (ICL) の検討	20年度卒業研究 山崎博子
	非浸潤性乳管癌と浸潤性乳管癌の細胞学的特徴についての比較検討	20年度卒業研究 中嶋萌子
	子宮頸部扁平上皮系病変における細胞の数量的解析	20年度修士課程特別研究 仲正喜
	自然尿細胞診における膀胱癌治療効果判定ークロマチン分布、Pair cell の経時的変化ー	20年度修士課程特別研究 坂梨史典
長山淳哉	Accelerated Solvent Extraction法による血液からの脂肪抽出の検討および血中ダイオキシン類濃度の比較	20年度卒業研究 石田雅人
	エタノール・ヘキサン法による血液からの脂質抽出の検討および血中ダイオキシン類濃度の比較	20年度卒業研究 木部泰志
	アセトン・ヘキサン法による血液からの脂質抽出の検討及び血中ダイオキシン類濃度の比較	20年度卒業研究 脇幸子
田宮貞史	甲状腺乳頭癌の細胞診における分化度の推定	卒業研究 元永多恵
永淵正法	ウイルス誘発糖尿病の実験的病態解析	医学系学府保健学専攻修士課程と区別研究指導：小川秀一郎
	自己免疫調節遺伝子のヒト末梢血における発現	医学系学府保健学専攻修士課程と区別研究指導：松尾友仁
	ウイルス誘発糖尿病マウス感受性遺伝子の探索	医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年卒業研究指導：藏藤利暢
	ヒト T細胞における自己免疫調節遺伝子の発現	医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年卒業研究指導：野口由樹子
	Aire欠損マウスの臓器特異的自己免疫	医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年卒業研究指導：永尾幸大
	ヒト 1 型糖尿病感受性遺伝子の探索	医学部保健学科検査技術科学専攻 4 年卒業研究指導：西林聖佳

7. 社会貢献

教 員	活 動 内 容	資料・備考
梅村創	平成20年 7 月 1 日-平成21年 2 月28日 タイマヒドン大学医療技術学大学院博士課程 4 年生、Kanitta Srinoun氏を特別研究生として研究室へ迎えた。サラセミア、サラセミアマウスにおけるmicroRNA解析を行った。	「サラセミアにおけるmicroRNA解析」
	平成20年 8 月20日-24日 JSPSプロジェクト：「造血障害の研究・教育拠点の形成とアジア血液学の創出」(2006.4.1～2011.3.31、独立行政法人日本学術振興会アジア研究教育拠点事業、日本側世話人：原寿郎教授)、の研究打合せ	Dr. Suthat, Dr. Kulnaree, Dr. Sudarat, Dr. Phantip, Dr. Wijitがマヒドン大学より来訪。
	平成20年 8 月20日-24日 第 3 回日本臨床検査学教育学会へのタイ国研究者の招聘	Dr. Kulnaree, Dr. Sudarat, Dr. Phantip の特別講演、一般演題発表。
	2008.8.22 保健学教育講演会	Dr. Phantip, Dr. Wijitによる教育講演。DR. Phantipの座長を務めた。
岡村建	福岡内分秘イベント主催 平成20年 4 月～平成21年 3 月	隔月火曜日の午後 7 時～ 9 時00福岡市内及び北九州・久留米の一般開業医及び内分秘専門医を対象に臨床内分秘学の啓蒙のため研究会を企画・司会。(第311-316回)
杉島節夫	福岡県医師会細胞検査士養成研修会	平成20年 4 月～平成21年 3 月
	第23回日本臨床細胞学会福岡県支部総会	平成19年12月16日～現在 学術集会会長

教 員	活 動 内 容	資 料 ・ 備 考
杉島節夫	社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	平成18年4月～平成22年3月 副会長
	日本臨床細胞学会九州連合会雑誌編	平成18年4月～平成22年3月 集委員
	日本臨床細胞学学術委員会	平成19年4月～平成21年3月
長山淳哉	海外論文査読（3編）	
	市民団体への講演	止めよう！ダイオキシン汚染・関西ネットワーク 2008.6.
	市民団体への講演	ストップ温暖化、廃プラ焼却連絡会（準）2008.9

9. 研究資金の受け入れ

教 員	資 料 ・ 備 考
梅村創	JSPSコアプログラム、「アジア血液学」（代表者：原寿郎教授），平成20年4月～平成21年3月，1000万円，研究協力者
長山淳哉	厚生労働省科学研究費補助金，平成18～20年度，食品の安心・安全確保推進研究事業，分担，食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握と治療法の開発等に関する研究

4. 教員組織一覧および委員会一覧

教員組織一覽

教員人員及び教員配置表

保健学部門 H20.4.1

分野・領域	教授	准教授	講師	助教（准助教）	
看護学					
臨床健康支援看護学	大池美也子 北原 悦子 壬生 隆一 樗木 晶子 川本利恵子 原田 広枝 中尾 久子	長家 智子	丸山マサ美 中尾富士子	末次 典恵 道面千恵子 宮園 真美 金岡 麻希 木下由美子	
広域生涯発達看護学	平田 伸子 長弘 千恵 加来 恒壽 松崎 彰信 鳩野 洋子	新小田春美 濱田 裕子 平野 裕子	野口ゆかり 藤野 成美 寺岡 佐和	藤田 紋佳 末次 美子 仲道 由紀 木原 深雪 木村 一絵 ※前野有佳里	※印は准助教
医用量子線科学					
基礎放射線科学	大喜 雅文 豊福不可依 鬼塚 昌彦	高橋 昭彦 有村 秀孝		小段 謙一	
医用放射線科学	東田 善治 平田 秀紀 小坂 克子 佐々木雅之	杜下 淳次 坂井 修二		赤坂 勉 熊澤 誠志	
検査技術科学					
生体情報学	藤本 秀士 大澤 進	水上 令子	田代 洋行 小島夫美子	外園 栄作	
病態情報学	梅村 創 永淵 正法 岡村 建 杉島 節夫	田宮 貞史 長山 淳哉		栗崎 宏憲 渡邊壽美子	

委員会一覧

【部内委員会】

◎委員長

番号	委員会等名	新委員	始期	終期	構成
1	総務委員会	◎加来 ①平田、佐々木、 藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、 川本（施設・環境 委員長）、永淵（入 試委員長）、小坂 （広報委員長） ⑤東田（研究推進委 員長）、豊福（地域・ 国際連携推進委員 長）			◎部門長 ①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認め た者
1下	地域・国際連携推進委員会	◎豊福	H20.4.1	H22.3.31	◎総務委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②総務委員会が必要と認 めた者
		①中尾(富)、高橋、 田代 ②平野	H20.4.1	H22.3.31	
		①道面、大喜、梅村	H19.4.1	H21.3.31	
1下	セクシュアル・ハラスメント等防止委員会	◎原田	H20.4.1	H22.3.31	◎総務委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②総務委員会が必要と認 めた者 ※長家は前任の残任期間 (20.4.1～)
		①藤野、杜下、栗崎	H20.4.1	H22.3.31	
		①長家、小坂、小島	H19.4.1	H21.3.31	
1下	図書委員会	◎大喜	H20.3.1	H22.3.31	◎総務委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②医学分館図書委員 ③総務委員会が必要と認 めた者
		①寺岡、赤坂、渡辺	H20.4.1	H22.3.31	
		①木下、小段、外園	H19.4.1	H21.3.31	
2	将来計画委員会	◎加来 ①平田、佐々木、 藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、 川本（施設・環境 委員長）、永淵（入 試委員長）、小坂 （広報委員長） ⑤東田（研究推進委 員長）、豊福（地域・ 国際連携推進委員 長）			◎部門長 ①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認め た者

番号	委員会等名	新委員	始期	終期	構成
2下	中期計画委員会	◎梅村	H20.4.1	H22.3.31	◎将来計画委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②将来計画委員会が必要と認めた者
		①熊澤、長山	H20.4.1	H22.3.31	
		②濱田、有村、杉島	H19.4.1	H21.3.31	
3	自己点検・評価委員会	◎加来 ①平田、佐々木、藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、川本（施設・環境委員長）、永淵（入試委員長）、小坂（広報委員長） ⑤東田（研究推進委員長）、豊福（地域・国際連携推進委員長）			◎部門長 ①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認めた者
3	自己点検・評価委員会	◎加来 ①平田、佐々木、藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、川本（施設・環境委員長）、永淵（入試委員長）、小坂（広報委員長） ⑤東田（研究推進委員長）、豊福（地域・国際連携推進委員長）			◎部門長 ①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認めた者
4	情報公開・個人情報保護委員会	◎加来 ①平田、佐々木、藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、川本（施設・環境委員長）、永淵（入試委員長）、小坂（広報委員長） ⑤東田（研究推進委員長）、豊福（地域・国際連携推進委員長）			◎部門長 ①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認めた者
5	研究推進委員会	◎東田 *加来 ①平田、佐々木、藤本 ②④大池 ③大澤 ⑤梅村（副部門長）、川本（施設・環境委員長）、永淵（入試委員長）、小坂（広報委員長）、豊福（地域・国際連携推進委員長）			①各分野長 ②看護学分野教授 ③学生委員長 ④教務委員長 ⑤部門長が必要と認めた者

番号	委員会等名	新委員	始期	終期	構成
6	人事委員会	◎加来 ①平田、佐々木、 藤本			◎部門長 ①各分野長 ②各分野の教授のうちから1名 ③部門長が必要と認めた者
		②川本、永淵	H20.4.1	H22.3.31	
		②豊福	H19.4.1	H21.3.31	
7	広報委員会	◎樗木			①各分野の教授、准教授及び講師のうちから2名、ただし、各分野1名は教授 ②委員会が必要と認めた者
		①平野、豊福、田代	H18.4.1	H20.3.31	
		◎小坂	H19.4.1	H21.3.31	
		松崎（副委員長）、鳩野、平田（秀）、永淵	H20.4.1	H22.3.31	
		①野口、坂井、長山	H19.4.1	H21.3.31	
7下	公開講座実行委員会	◎小坂	H20.4.1	H21.3.31	◎広報委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②広報委員会が必要と認めた者（H19.4.1から）
		①川本、宮園、大喜、熊澤、永淵、小島	H20.4.1	H22.3.31	
7下	紀要編集委員会 ※平成20年度から廃止				◎広報委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②広報委員会が必要と認めた者
8	財務委員会	◎加来 ①平田（伸）、佐々木、 藤本 ②大澤 ③大池 ④大喜 ⑤川本			◎部門長 ①各分野主任 ②学生委員長 ③教務委員長 ④図書委員長 ⑤施設・環境委員長 ⑥部門長が必要と認めた者
8下	放射線安全委員会	◎加来 ①豊福 ②赤坂 ④医学部長 ⑤事務部長			◎部門長 ①放射線取扱主任者 ②放射線取扱副主任者 ③教授、准教授、講師のうちから4名 ④医学部長 ⑤事務部長
		③佐々木、杜下	H20.4.1	H22.3.31	
		③大喜、有村	H19.4.1	H21.3.31	
8下	施設・環境委員会	◎川本	H20.4.1	H21.3.31	◎財務委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②全学の情報基盤センター学内共同利用運営委員会委員 ③全学の環境保全委員 ④動物実験安全責任者 ⑤財務委員会が必要と認めた者
		①藤田、東田 ①④永淵 ②大喜 ③壬生 ⑤杉島（副委員長）	H20.4.1	H22.3.31	
		①新小田、有村、 田宮	H19.4.1	H21.3.31	

番号	委員会等名	新委員	始期	終期	構成
9	学生委員会	◎大澤	H19.4.1	H21.3.31	①各分野の教授、准教授及び講師のうちから2名、ただし、各分野1名は教授 ②委員会が必要と認めた者
		①平田(秀)、長山、北原(副委員長)	H20.4.1	H22.3.31	
		①壬生、杜下、水上	H19.4.1	H21.3.31	
9下	保健委員会	◎北原	H20.4.1	H21.3.31	◎学生委員会副委員長等 ①各分野のうちから2名 ②学生委員会が必要と認めた者
		①末次(典)、小段、外園	H20.4.1	H22.3.31	
		①前野、高橋、栗崎	H19.4.1	H21.3.31	
10	教務委員会	◎大池	H19.4.1	H21.3.31	①各分野の教授、准教授及び講師のうちから2名、ただし、各分野1名は教授 ②全学の全学教育企画委員 ③委員会が必要と認めた者
		①原田、鬼塚(副委員長)、田代	H20.4.1	H22.3.31	
		①佐々木、岡村、平野	H19.4.1	H21.3.31	
11	大学院委員会	◎鬼塚	H20.7.24	H21.3.31	
		中尾(久)(副委員長)	H20.7.24	H21.3.31	
		大池、川本、佐々木、梅村	H20.7.24	H21.3.31	
		豊福、岡村	H20.7.24	H21.3.31	

【医学研究院委員会】

番号	委員会名	現委員	始期	終期	委員資格・条件等
1	医学研究院情報公開委員会	加来	H20.4.1	H22.3.31	(官職指定) 教育研究評議委員
2	遺伝子治療臨床研究審査専門委員会	永淵	H19.4.1	H21.3.31	
3	ヒトES細胞の樹立及び使用に関する倫理審査委員会	平田(伸)	H20.4.1	H22.3.31	
4	大学院運営のあり方ワーキンググループ	(保健学部門) 東田・平田(伸)・ 佐々木・藤本			(保健学部門) 委員長+各分野長 (保健学部門)
5	医学研究院再任審査委員会	松崎	H20.4.1	H21.3.31	医学研究院(保健学部門を除く)及び医学部附属病院以外の九州大学教員及び当該再任審査に関する専門的知識を有する学外有識者のうち選出された者
6	医学研究院教員業績評価専門部会	※加来(部門長) 松崎			
7	基礎研究B棟管理運営委員会委員	※加来(部門長) 川本(施設委員長)・ 豊福(前施設委員長)	H20.6月		

【病院地区委員会】

番号	委員会名	現委員	始期	終期	委員資格・条件等
1	アイソトープ総合センター病院地区学生実習運営委員会	鬼塚	H20.4.1	H22.3.31	教授1名
2	アイソトープ病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線安全委員会	豊福	H20.4.1	H22.3.31	教授1名
3	アイソトープ病院地区実験及び病院地区学生実習室放射線取扱副主任者	佐々木			
4	附属図書館医学分館図書委員会		H17.4.1	H19.3.31	教授1名
5	附属図書館医学分館運営委員会	壬生	H19.4.1	H21.3.31	教授2名
		大喜	H20.4.1	H22.3.31	
6	職員等用駐車区域運営委員会幹事会	杉島、長山			教授1名、准教授以下1名
7	医療系統合教育研究センター副センター長	大池	H19.4.1	H21.3.31	保健学部門の教授1名
8	医療系統合教育研究センター委員会	大池・中尾(久)	H19.4.1	H21.3.31	保健学部門の教授及び准教授から1名
9	総合研究棟管理運営委員会	杉島、松崎	H18.8.1	H20.7.31	教授が望ましい
9	総合研究棟管理運営委員会	大喜、松崎	H20.8.1	H22.7.31	教授が望ましい
10	医学部附属病院サイクロトン生産放射性元素の医学的利用に関する委員会	佐々木・鬼塚			
11	病院地区特許・技術移転相談室協力教員	永淵			

【全学委員会】

番号	委員会名	現委員	始期	終期	委員資格・条件等
1	教育研究評議会評議員	加来	H20.4.1	H22.3.31	部局長
2	学生委員会	大澤、北原			オブザーバーとして参加のため任期無
3	教務委員会	大池	H20.4.1	H22.3.31	第6条(9)委員長が必要と認めた教授
4	学生生活・修学相談室相談員	北原	H20.4.1	H22.3.31	
		大澤	H19.4.1	H21.3.31	
5	入学試験実施委員会	永淵			オブザーバーとして参加のため任期無
6	入学者選抜研究委員会	田宮	H20.5.1	H22.4.30	入学者選抜研究委員会規程第3条第1項第10号(総長が必要と認めた者若干人)
7	特殊廃液処理施設運営委員会	壬生	H20.4.1	H22.3.31	処理施設を利用する部局(医学部保健学科)の教授及び准教授のうちから1名
8	環境保全管理委員会	壬生	H20.4.1	H22.3.31	環境保全管理委員会が必要と認めた者 ※医学とは別枠
9	放射線障害防止委員会	豊福			
10	21世紀プログラム専門委員会	小坂	H20.4.1	H22.3.31	各学部から選ばれた教授1名 ※医学として
11	情報基盤センター学内共同利用運営委員会	(病)	H20.4.1	H22.3.31	病院の診療科の科長及び副科長(講師又は助手である者を除く。)並びに医学部保健学科の教授及び助教授のうちから選ばれた者1人
12	研究用微生物安全管理委員会	藤本	H19.4.1	H21.3.31	研究用微生物を取扱う施設を置く部局の教授、准教授及び講師各1名
13	全学FD委員会	大池	H20.4.1	H22.3.31	第9条(9)委員長が必要と認めた教授
14	全学教育専門委員会	大池	H20.4.1	H22.3.31	第3条(7)委員長が必要と認めた教授又は准教授
15	全学教育運営会議	大池			その他運営会議が必要と認めた者
16	全学教育推進部門会議	杉島			
17	高等教育開発推進センター委員会委員	長弘	H20.4.1	H22.3.31	各学部から教授1名 ※医学として
18	全学教育に関する情報処理改訂ワーキンググループ	大喜			
19	情報通信基盤連絡会議	大喜			教員1名
20	動物実験委員会	永淵	H20.4.1	H22.3.31	その他委員会が必要と認めた者(第3条第1項第7号)
21	セクシュアル・ハラスメント等対策委員会	(医・薬)	H20.4.1	H22.3.31	医歯薬生病の教授、助教授及び講師から2名(少なくとも1名は女性)

番号	委員会名	現委員	始期	終期	委員資格・条件等
22	セクシュアル・ハラスメント等相談員	原田・(薬)	H20.4.1	H22.3.31	医歯薬生病の教授、准教授及び講師から若干名(実際には2名選出)(少なくとも1名は女性) ※医学として
23	九州大学男女共同参画室員	平田(伸)			総長指名
24	全学教育広報誌「radix」編集委員会	(歯)	H19.4.1	H20.3.31	病院地区学部(医・歯・薬)の教員1名
25	百周年記念事業専門委員会	岡村	H20.1.1	H21.12.31	各研究院及び医学部から選出された教授各1名
26	キャンパス計画及び施設管理委員会	(歯)	H20.4.1	H22.3.31	医歯薬生の教授から1名
27	キャンパス計画専門委員	(医)→H20.11.9～ (歯)	H20.11.9	H22.11.8	医歯生病のうちから選ばれた1名
28	九州大学アジア総合政策センター協力教員	平野			
29	AO入学試験実施委員会合同連絡会	永淵、平田(伸)、 藤本			

平成20年度

年 報



発 行 日：平成21年10月

発行責任者：年報委員会委員長
梅村 創

発 行：九州大学大学院医学研究院保健学部門
〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
TEL：092-642-6683

印 刷：陽文社印刷株式会社
TEL：092-522-0081